

令和4年度
貝塚市市民意識調査
結果報告書

令和5年3月
貝塚市

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
ご自身のことについて.....	2
貝塚市の取組みについて.....	20
子育てしやすいまちづくりについて.....	30
貝塚ならではのまちづくりについて.....	35
にぎわいのあるまちづくりについて.....	38
いつまでも元気で、安全安心に暮らせるまちづくりについて.....	41
市からの情報について.....	50
貝塚市のまちづくりの方向性について.....	54
自由意見・提言.....	62
III 調査結果の信頼度と標本誤差.....	73

資料 令和4年度 貝塚市市民意識調査ご協力のお願ひ（アンケート用紙）

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

貝塚市をより住みやすく魅力的なまちにするため、本市の政策やまちづくりについて、市民のみなさまからご意見をうかがい、今後のまちづくりの参考とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	令和4年度貝塚市市民意識調査
調査対象者	市内在住で15歳以上の方 2,000人（無作為抽出） 15～19歳 129人・20歳代 233人・30歳代 217人・40歳代 313人 50歳代 356人・60歳代 263人・70歳代 282人・80歳以上 207人
調査期間	令和4年12月22日（木）～令和5年1月10日（火） 督促状・お礼状送付にて、令和5年1月16日（月）まで期間延長の案内
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式（Web回答可）

3 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000件	906件 [内訳：郵送 772件 Web 134件]	45.3%

4 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中の「N (Number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「無回答」を除き、回答数（率）の高いもの**第1位**と**第2位**に網掛けをしています。
- ◇回答者の年齢分布において、約半数以上（無回答除く）が60歳代以上で、かつそのうち約65%が70歳代以上となっており、高齢者に偏ったものとなっています。そのため、本調査の結果は、実際よりも高齢者の意見・意向の比重が高いものとなっています。

Ⅱ アンケート調査結果

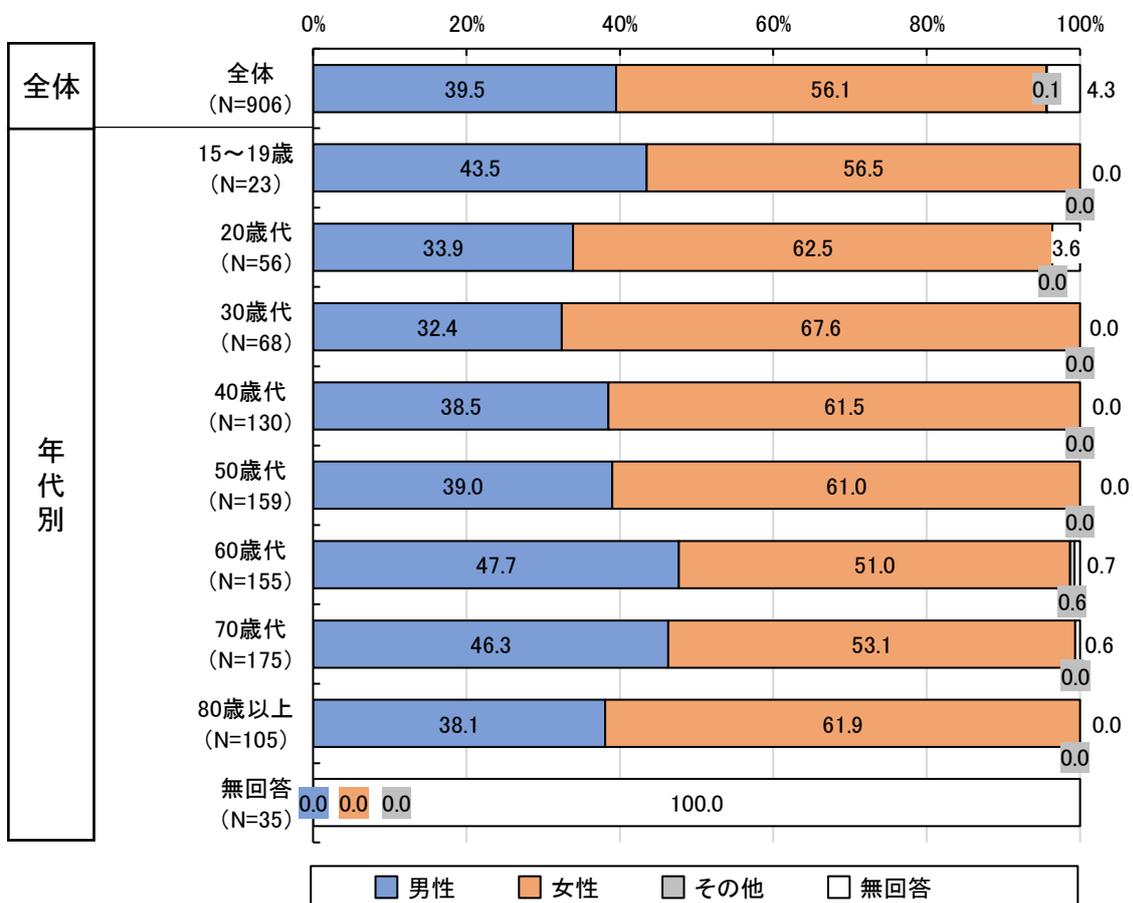
ご自身のことについて

回答者は「女性」が56.1%と「男性」の39.5%よりも16.6%高い割合となっています。年代別で見ると、「70歳代」がおよそ2割と高い割合となっています。

回答者の居住地区は、「南小学校区」「西小学校区」「中央小学校区」「東小学校区」「木島小学校区」がそれぞれ1割台となっています。

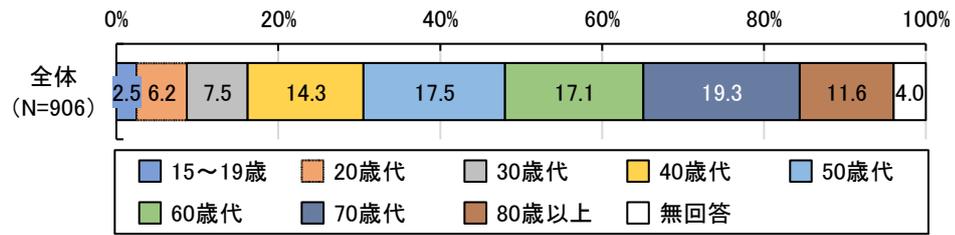
Q1 性別(単数回答)

「男性」が39.5%、「女性」が56.1%、「その他」が0.1%となっています。



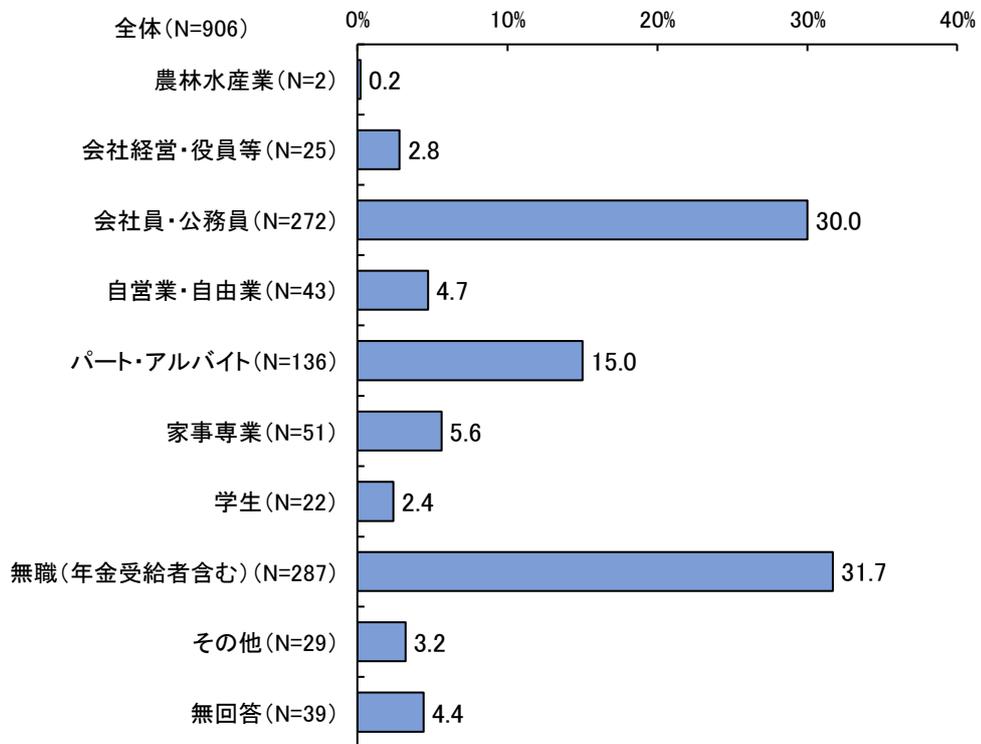
Q2 年齢(単数回答)※令和4年12月1日時点

「70歳代」が19.3%と最も高く、次いで「50歳代」が17.5%、「60歳代」が17.1%となっています。



Q3 職業(単数回答)

「無職(年金受給者含む)」が31.7%と最も高く、次いで「会社員・公務員」が30.0%、「パート・アルバイト」が15.0%となっています。



無職(年金受給者含む)が多いのは、本調査の回答者の約半数以上が60歳代以上のためです。

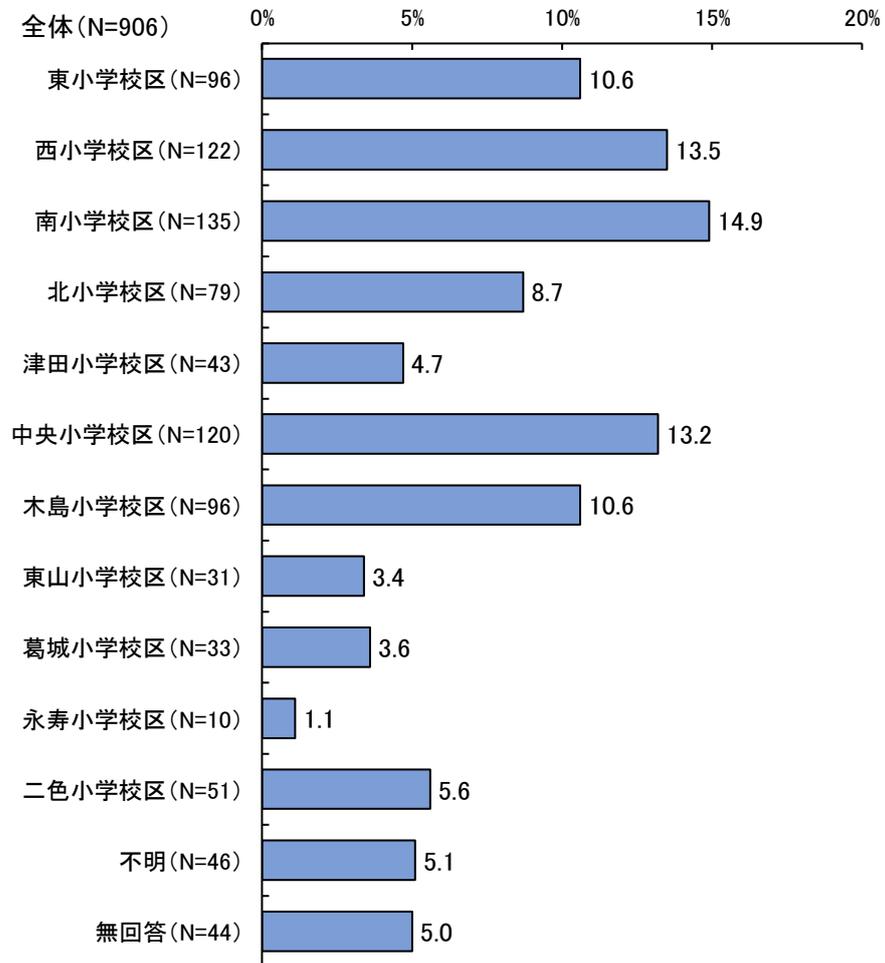
■年代別

全体(N=906)	農林水産業	会社経営・役員等	会社員・公務員	自営業・自由業	パート・アルバイト	家事専業	学生
15～19歳(N=23)	0.0	0.0	8.7	0.0	8.7	0.0	82.6
20歳代(N=56)	0.0	0.0	51.8	0.0	21.4	10.7	5.4
30歳代(N=68)	0.0	0.0	61.8	1.5	25.0	5.9	0.0
40歳代(N=130)	0.0	3.8	54.6	6.2	20.8	6.2	0.0
50歳代(N=159)	0.0	5.7	49.1	5.7	21.4	5.7	0.0
60歳代(N=155)	0.0	2.6	28.4	9.0	17.4	5.2	0.0
70歳代(N=175)	1.1	1.7	2.9	3.4	8.6	6.9	0.0
80歳以上(N=105)	0.0	3.8	1.0	4.8	1.9	3.8	0.0
無回答(N=35)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

全体(N=906)	無職(年金受給者含む)	その他	無回答
15～19歳(N=23)	0.0	0.0	0.0
20歳代(N=56)	3.6	7.1	0.0
30歳代(N=68)	1.5	4.3	0.0
40歳代(N=130)	3.8	3.1	1.5
50歳代(N=159)	8.8	3.6	0.0
60歳代(N=155)	31.6	5.2	0.6
70歳代(N=175)	73.7	1.1	0.6
80歳以上(N=105)	82.9	1.8	0.0
無回答(N=35)	0.0	0.0	100.0

Q4 住まわれている校区(単数回答)

「南小学校区」が14.9%と最も高く、次いで「西小学校区」が13.5%、「中央小学校区」が13.2%となっています。



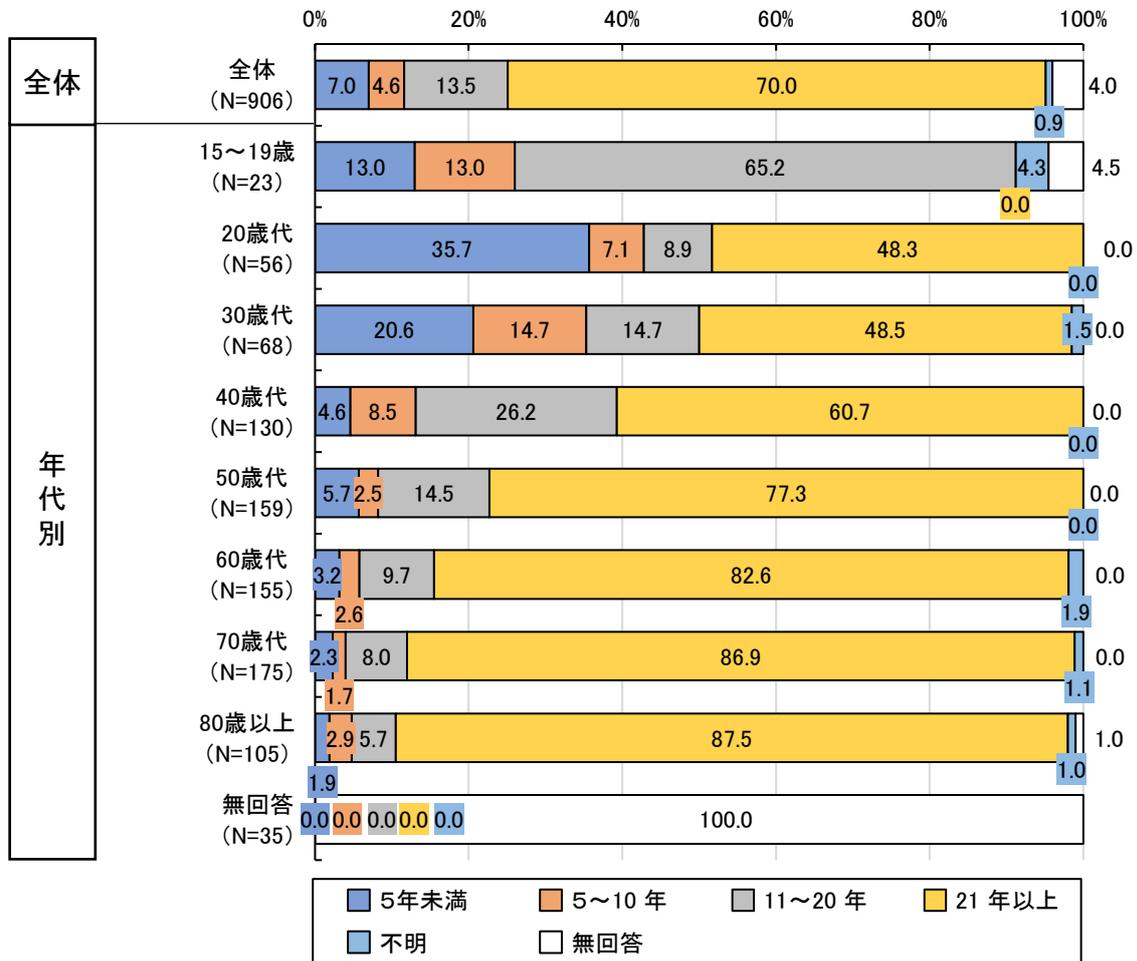
(参考)各小学校区の人数

校区	人口	割合	校区	人口	割合
東	10,814人	13.0%	西	13,502人	16.1%
南	12,128人	14.6%	北	6,326人	7.6%
津田	3,593人	4.3%	中央	13,787人	16.6%
木島	9,809人	11.8%	東山	4,311人	5.2%
葛城	3,287人	3.9%	永寿	1,764人	2.1%
二色	3,968人	4.8%	合計	83,289人	100.0%

調査対象者抽出時点 (令和4年11月)

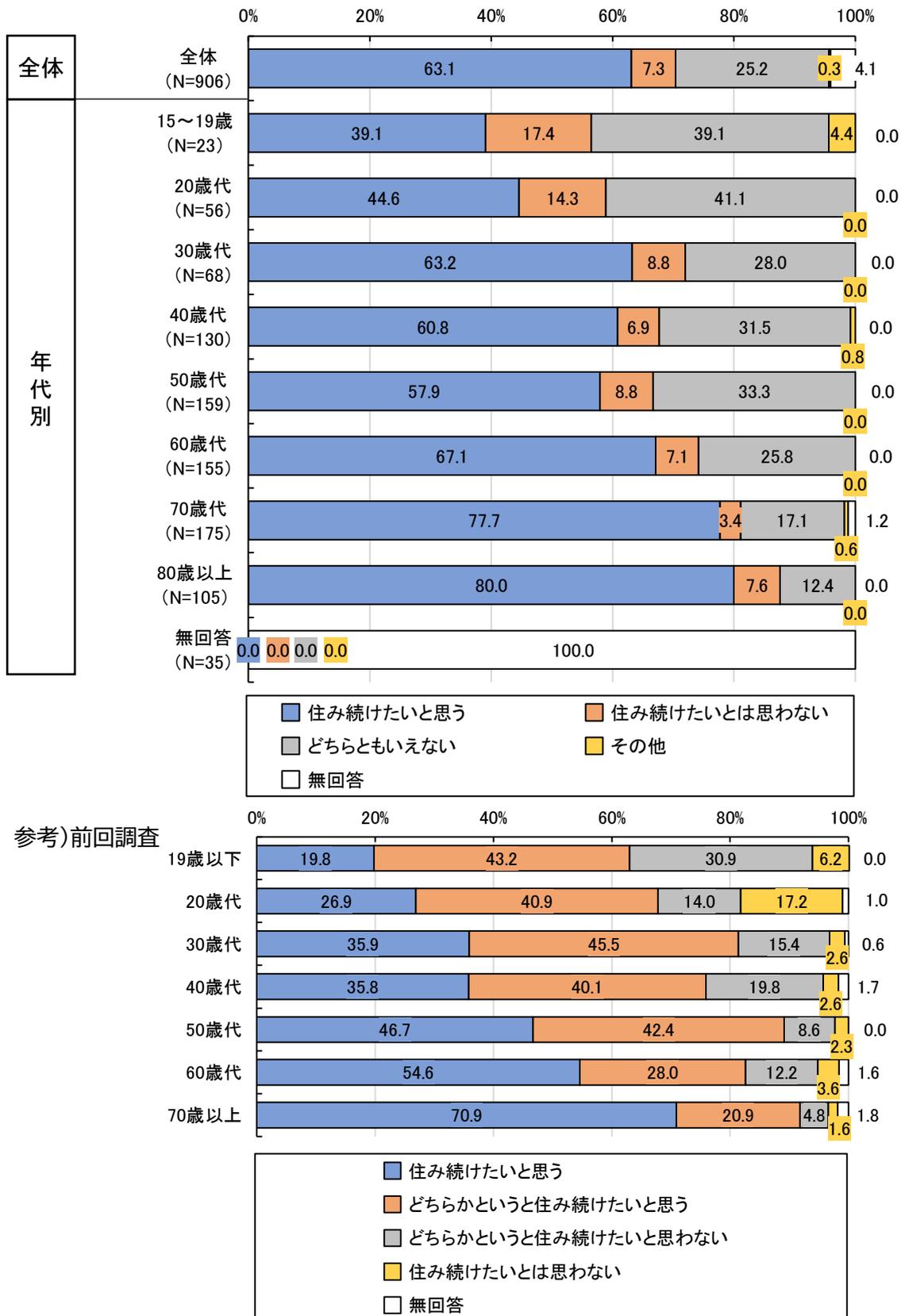
Q5 貝塚市に何年住んでおられますか(単数回答)

全体では「21年以上」が70.0%と最も高く、次いで「11~20年」が13.5%、「5年未満」が7.0%となっています。



Q6 将来にわたり貝塚市に住み続けたい（定住意向）と思いますか(単数回答)

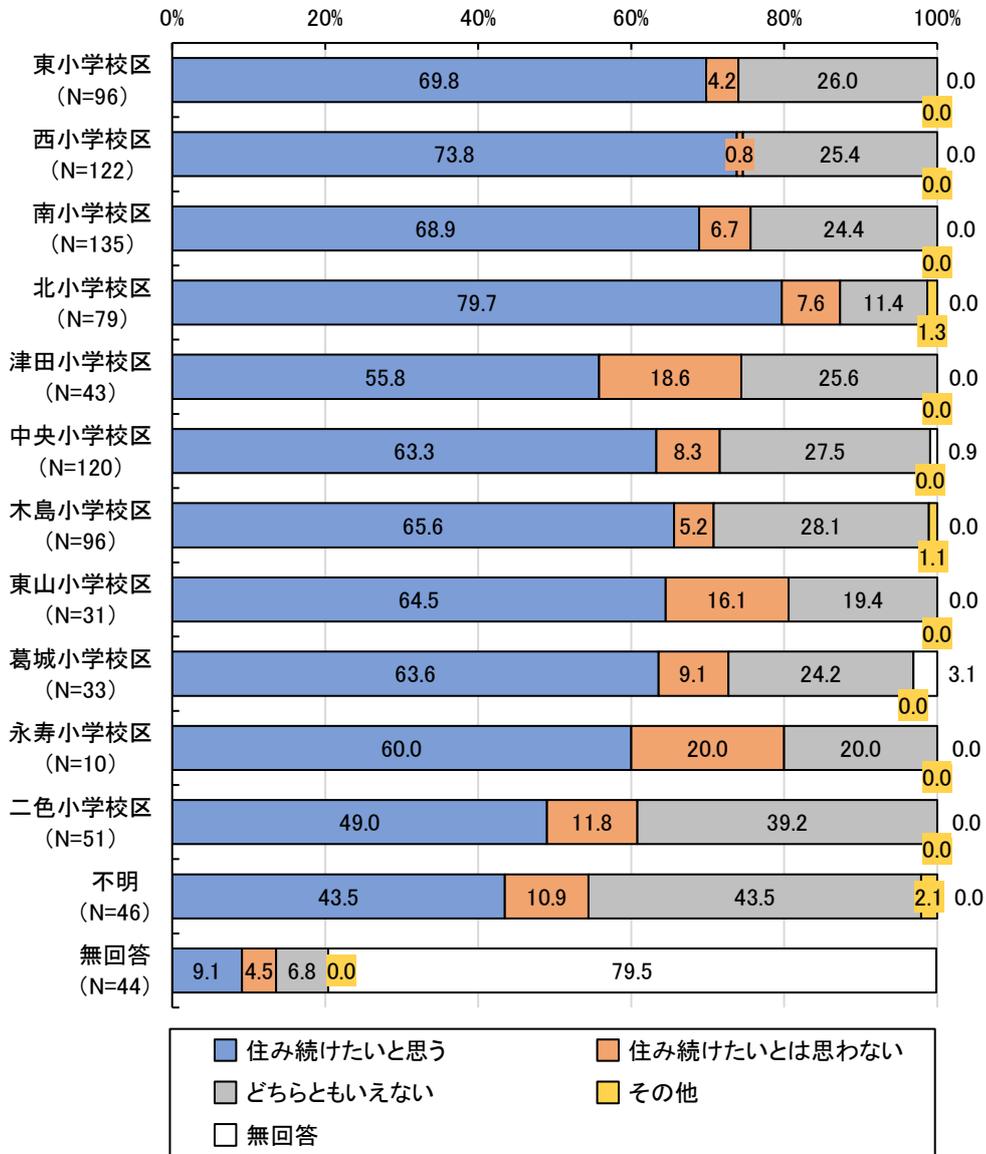
全体では「住み続けたいと思う」が63.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.2%、「住み続けたいとは思わない」が7.3%となっています。年代別にみると15～19歳、20歳代においては50%以下となっており、「住み続けたいとは思わない」が1割台となっています。



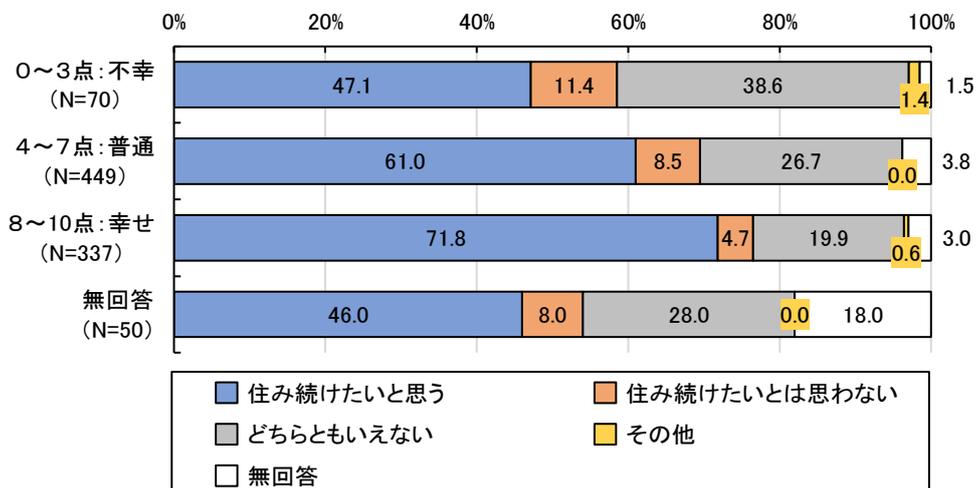
資料：第2回貝塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のための市民アンケート（令和2年2月）

■定住意向(校区別割合)

校区別でみると、東小学校区、西小学校区、南小学校区、北小学校区、中央小学校区、木島小学校区、東山小学校区、葛城小学校区において、全体よりも「住み続けたいと思う」の割合が高くなっています。また、幸福度別でみると、幸福度が高くなるにつれて定住意向も高くなる傾向がみられます。



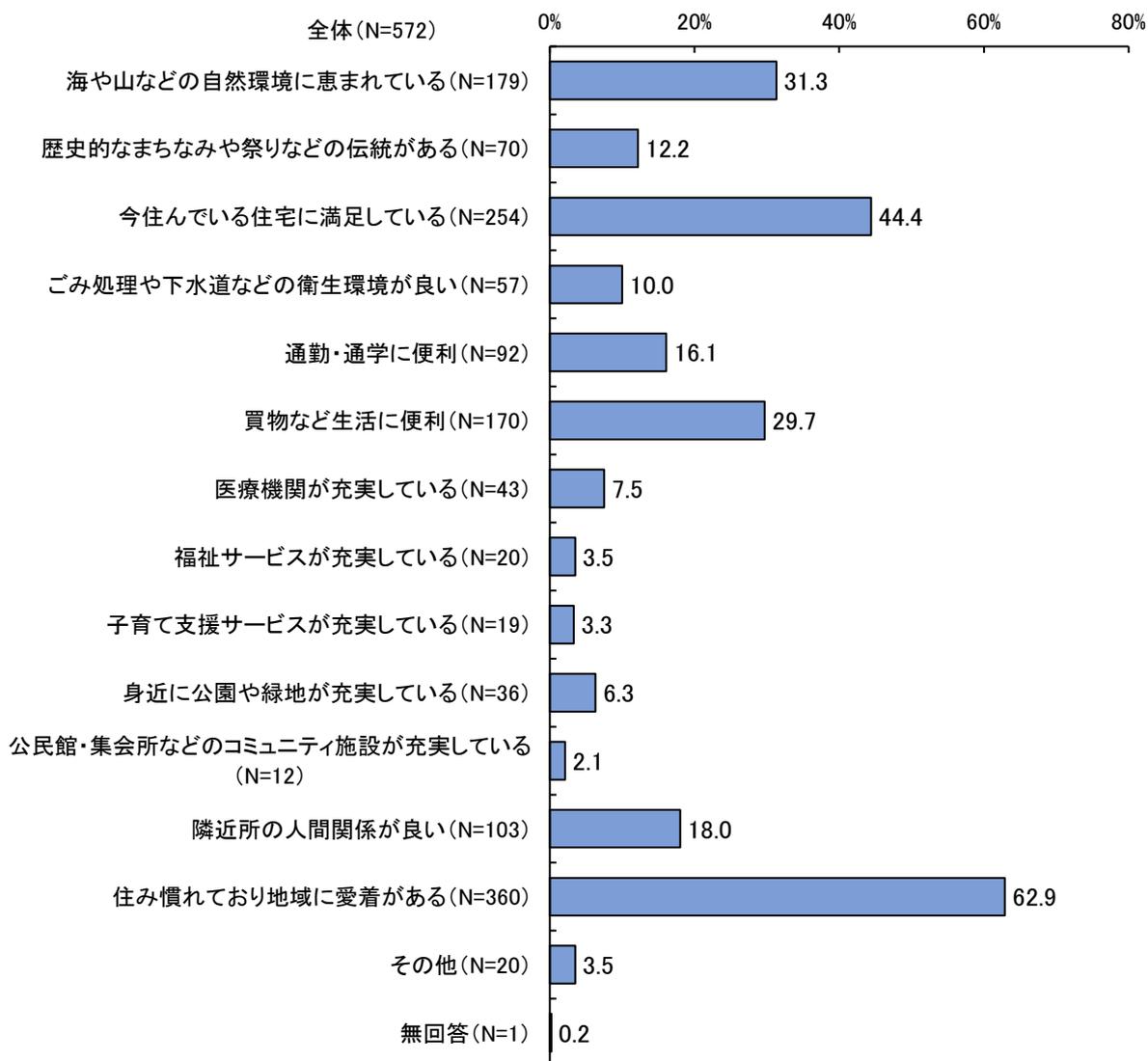
■定住意向(幸福度別割合)



Q6で「1 住み続けたいと思う」とお答えの方にお聞きします。

Q6-1 住み続けたいと思う主な理由は何ですか(3つまで選択可能)

「住み慣れており地域に愛着がある」が62.9%と最も高く、次いで「今住んでいる住宅に満足している」が44.4%、「海や山などの自然環境に恵まれている」が31.3%となっています。年代別でみると、15～19歳では「海や山などの自然環境に恵まれている」、20歳代以上では「住み慣れており地域に愛着がある」がそれぞれ最も高い割合となっています。



■住み続けたいと思う理由(年代別割合)

全体(N=572)	海や山などの自然環境に恵まれている	歴史的なまちなみや祭りなどの伝統がある	今住んでいる住宅に満足している	ごみ処理や下水道などの衛生環境が良い	通勤・通学に便利	買物など生活に便利	医療機関が充実している
15～19歳(N=9)	55.6	22.2	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0
20歳代(N=25)	32.0	12.0	32.0	4.0	16.0	24.0	12.0
30歳代(N=43)	37.2	9.3	25.6	9.3	37.2	32.6	2.3
40歳代(N=79)	44.3	16.5	48.1	6.3	25.3	22.8	2.5
50歳代(N=92)	28.3	14.1	44.6	2.2	26.1	31.5	3.3
60歳代(N=104)	31.7	15.4	51.0	7.7	17.3	34.6	4.8
70歳代(N=136)	31.6	7.4	41.2	16.9	4.4	30.9	12.5
80歳以上(N=84)	15.5	10.7	51.2	16.7	2.4	29.8	14.3

全体(N=572)	福祉サービスが充実している	子育て支援サービスが充実している	身近に公園や緑地が充実している	公民館・集会所などのコミュニティ施設が充実している	隣近所の人間関係が良い	住み慣れており地域に愛着がある	その他	無回答
15～19歳(N=9)	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0
20歳代(N=25)	4.0	4.0	12.0	0.0	12.0	48.0	12.0	0.0
30歳代(N=43)	4.7	23.3	4.7	2.3	14.0	53.5	9.3	0.0
40歳代(N=79)	2.5	5.1	7.6	1.3	13.9	53.2	2.5	0.0
50歳代(N=92)	3.3	2.2	1.1	1.1	16.3	62.0	3.3	0.0
60歳代(N=104)	0.0	1.9	7.7	3.8	16.3	73.1	1.0	0.0
70歳代(N=136)	2.9	0.0	10.3	2.9	19.9	66.2	4.4	0.7
80歳以上(N=84)	8.3	0.0	2.4	1.2	26.2	69.0	1.2	0.0

■住み続けたいと思う理由(校区別割合)

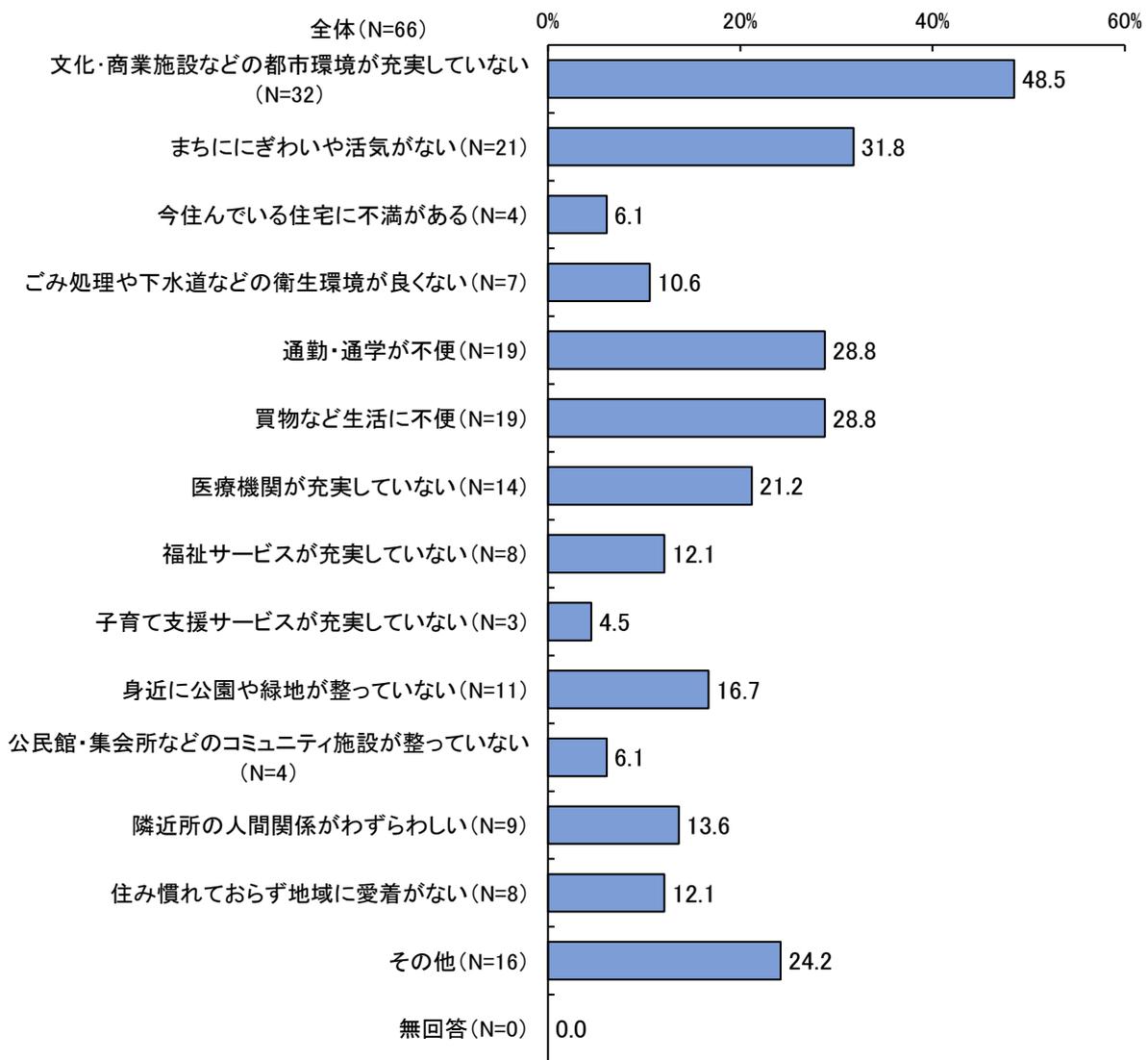
全体(N=572)	海や山などの自然環境に恵まれている	歴史的なまちなみや祭りなどの伝統がある	今住んでいる住宅に満足している	ごみ処理や下水道などの衛生環境が良い	通勤・通学に便利	買物など生活に便利	医療機関が充実している
東小学校区(N=67)	14.9	13.4	41.8	14.9	19.4	41.8	13.4
西小学校区(N=90)	36.7	3.3	48.9	8.9	23.3	34.4	3.3
南小学校区(N=93)	37.6	16.1	41.9	6.5	14.0	33.3	4.3
北小学校区(N=63)	17.5	27.0	52.4	6.3	14.3	50.8	15.9
津田小学校区(N=24)	25.0	4.2	50.0	0.0	25.0	33.3	8.3
中央小学校区(N=76)	22.4	6.6	42.1	11.8	17.1	31.6	7.9
木島小学校区(N=63)	36.5	19.0	42.9	7.9	11.1	14.3	6.3
東山小学校区(N=20)	35.0	15.0	50.0	10.0	10.0	5.0	0.0
葛城小学校区(N=21)	52.4	14.3	42.9	9.5	0.0	0.0	0.0
永寿小学校区(N=6)	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0
二色小学校区(N=25)	64.0	4.0	32.0	24.0	12.0	8.0	8.0
不明(N=20)	35.0	5.0	35.0	15.0	25.0	15.0	15.0
無回答(N=4)	75.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0

全体(N=572)	福祉サービスが充実している	子育て支援サービスが充実している	身近に公園や緑地が充実している	公民館・集会所などのコミュニティ施設が充実している	隣近所の人間関係が良い	住み慣れており地域に愛着がある	その他	無回答
東小学校区(N=67)	0.0	3.0	4.5	0.0	14.9	59.7	4.5	0.0
西小学校区(N=90)	2.2	2.2	7.8	3.3	21.1	67.8	1.1	0.0
南小学校区(N=93)	3.2	3.2	2.2	2.2	14.0	69.9	4.3	0.0
北小学校区(N=63)	4.8	1.6	1.6	3.2	25.4	63.5	1.6	0.0
津田小学校区(N=24)	4.2	4.2	8.3	0.0	20.8	62.5	4.2	0.0
中央小学校区(N=76)	3.9	3.9	2.6	2.6	15.8	53.9	6.6	0.0
木島小学校区(N=63)	7.9	6.3	4.8	1.6	15.9	73.0	3.2	0.0
東山小学校区(N=20)	5.0	5.0	20.0	0.0	20.0	45.0	0.0	5.0
葛城小学校区(N=21)	0.0	4.8	0.0	4.8	33.3	85.7	0.0	0.0
永寿小学校区(N=6)	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0
二色小学校区(N=25)	0.0	4.0	44.0	4.0	12.0	56.0	8.0	0.0
不明(N=20)	5.0	0.0	5.0	0.0	20.0	25.0	0.0	0.0
無回答(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

Q6で「2 住み続けたいとは思わない」とお答えの方にお聞きします。

Q6-2 住み続けたいとは思わない主な理由は何ですか(3つまで選択可能)

「文化・商業施設などの都市環境が充実していない」が48.5%と最も高く、次いで「まちににぎわいや活気がない」が31.8%、「通勤・通学が不便」「買物など生活に不便」がともに28.8%となっています。



■住み続けたいと思わない理由(年代別割合)

年代別で見ると、50歳代以下で「文化・商業施設などの都市環境が充実していない」の割合が高くなっています。

全体(N=66)	文化・商業施設などの都市環境が充実していない	まちにぎわいや活気がない	今住んでいる住宅に不満がある	ごみ処理や下水道などの衛生環境が良くない	通勤・通学が不便	買物など生活に不便	医療機関が充実していない
15～19歳(N=4)	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
20歳代(N=8)	62.5	0.0	0.0	12.5	62.5	12.5	12.5
30歳代(N=6)	66.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0
40歳代(N=9)	55.6	22.2	0.0	0.0	44.4	22.2	44.4
50歳代(N=14)	57.1	35.7	14.3	14.3	42.9	35.7	21.4
60歳代(N=11)	36.4	45.5	9.1	18.2	9.1	27.3	18.2
70歳代(N=6)	50.0	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3
80歳以上(N=8)	12.5	50.0	0.0	12.5	12.5	62.5	25.0

全体(N=66)	福祉サービスが充実していない	子育て支援サービスが充実していない	身近に公園や緑地が整っていない	公民館・集会所などのコミュニティ施設が整っていない	隣近所の人間関係がわずらわしい	住み慣れておらず地域に愛着がない	その他	無回答
15～19歳(N=4)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代(N=8)	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	0.0
30歳代(N=6)	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
40歳代(N=9)	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
50歳代(N=14)	0.0	0.0	7.1	0.0	21.4	14.3	28.6	0.0
60歳代(N=11)	36.4	0.0	36.4	18.2	18.2	0.0	27.3	0.0
70歳代(N=6)	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0
80歳以上(N=8)	37.5	0.0	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	0.0

■住み続けたいと思わない理由(校區別割合)

全体(N=66)	文化・商業施設などの都市環境が充実していない	まちなにぎわいや活気がない	今住んでいる住宅に不満がある	ごみ処理や下水道などの衛生環境が良くない	通勤・通学が不便	買物など生活に不便	医療機関が充実していない
東小学校区(N=4)	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
西小学校区(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南小学校区(N=9)	44.4	44.4	0.0	11.1	33.3	22.2	11.1
北小学校区(N=6)	50.0	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7
津田小学校区(N=8)	50.0	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	25.0
中央小学校区(N=10)	60.0	50.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0
木島小学校区(N=5)	40.0	20.0	20.0	0.0	40.0	40.0	40.0
東山小学校区(N=5)	100.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0
葛城小学校区(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0
永寿小学校区(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0
二色小学校区(N=6)	66.7	16.7	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7
不明(N=5)	40.0	20.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
無回答(N=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0

全体(N=66)	福祉サービスが充実していない	子育て支援サービスが充実していない	身近に公園や緑地が整っていない	公民館・集会所などのコミュニティ施設が整っていない	隣近所の間人間関係がわずらわしい	住み慣れておらず地域に愛着がない	その他	無回答
東小学校区(N=4)	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
西小学校区(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
南小学校区(N=9)	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0
北小学校区(N=6)	16.7	0.0	50.0	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0
津田小学校区(N=8)	12.5	25.0	12.5	0.0	25.0	12.5	37.5	0.0
中央小学校区(N=10)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	40.0	0.0
木島小学校区(N=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
東山小学校区(N=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
葛城小学校区(N=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
永寿小学校区(N=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
二色小学校区(N=6)	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
不明(N=5)	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
無回答(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■住み続けたいと思わない理由(幸福度別割合)

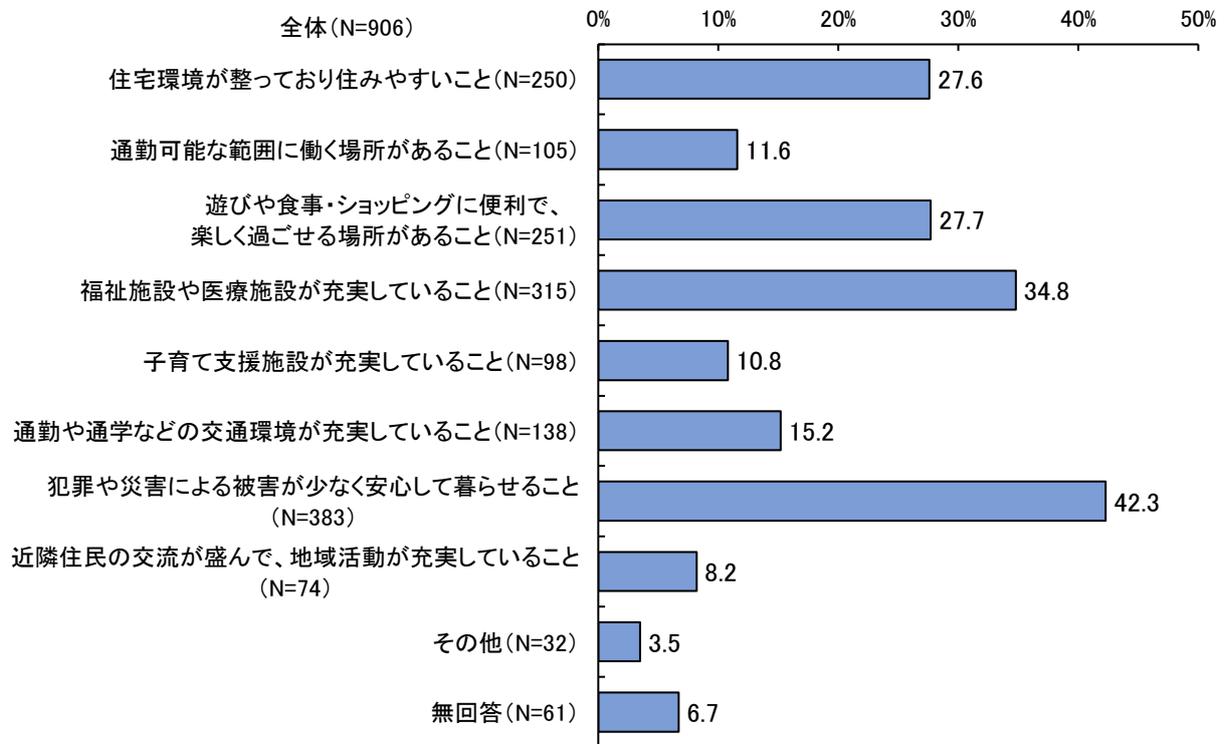
幸福度別でみると、不幸（0～3点）では「医療機関が充実していない」の割合が高くなっています。

全体(N=66)	文化・商業施設などの都市環境が充実していない	まちににぎわいや活気がない	今住んでいる住宅に不満がある	ごみ処理や下水道などの衛生環境が良くない	通勤・通学が不便	買物など生活に不便	医療機関が充実していない
0～3点:不幸(N=8)	25.0	12.5	0.0	12.5	25.0	37.5	50.0
4～7点:普通(N=38)	57.9	36.8	7.9	10.5	31.6	28.9	21.1
8～10点:幸せ(N=16)	37.5	31.3	6.3	6.3	18.8	25.0	12.5
無回答(N=4)	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0

全体(N=66)	福祉サービスが充実していない	子育て支援サービスが充実していない	身近に公園や緑地が整っていない	公民館・集会所などのコミュニティ施設が整っていない	隣近所の間関係がわずらわしい	住み慣れておらず地域に愛着がない	その他	無回答
0～3点:不幸(N=8)	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0
4～7点:普通(N=38)	10.5	2.6	26.3	10.5	10.5	13.2	23.7	0.0
8～10点:幸せ(N=16)	6.3	12.5	0.0	0.0	18.8	12.5	31.3	0.0
無回答(N=4)	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

Q7 貝塚市に住み続けるために必要なことは何だと思いますか(2つまで選択可能)

「犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること」が42.3%と最も高く、次いで「福祉施設や医療施設が充実していること」が34.8%、「遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること」が27.7%となっています。



■住み続けるために必要なこと(年代別割合)

年代別で見ると、20歳代以下では「遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること」の割合が高く、30歳代以上では「犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること」の割合が高くなっています。

全体(N=906)	住宅環境が整っており住みやすいこと	通勤可能な範囲に働く場所があること	遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること	福祉施設や医療施設が充実していること	子育て支援施設が充実していること
15～19歳(N=23)	39.1	21.7	52.2	13.0	13.0
20歳代(N=56)	21.4	26.8	51.8	21.4	33.9
30歳代(N=68)	30.9	13.2	23.5	23.5	33.8
40歳代(N=130)	28.5	14.6	26.9	36.2	21.5
50歳代(N=159)	30.2	12.6	32.7	41.5	3.1
60歳代(N=155)	30.3	14.2	24.5	46.5	5.8
70歳代(N=175)	27.4	2.9	25.7	36.6	5.1
80歳以上(N=105)	26.7	9.5	22.9	33.3	1.9
無回答(N=35)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

全体(N=906)	通勤や通学などの交通環境が充実していること	犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること	近隣住民の交流が盛んで、地域活動が充実していること	その他	無回答
15～19歳(N=23)	21.7	21.7	13.0	4.3	0.0
20歳代(N=56)	17.9	21.4	0.0	3.6	1.8
30歳代(N=68)	26.5	45.6	2.9	1.5	0.0
40歳代(N=130)	28.5	39.2	3.1	3.8	2.3
50歳代(N=159)	17.6	46.5	5.0	4.4	1.3
60歳代(N=155)	11.0	47.1	11.6	3.9	3.2
70歳代(N=175)	10.3	49.7	10.3	4.6	5.1
80歳以上(N=105)	4.8	47.6	20.0	1.9	5.7
無回答(N=35)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

■住み続けるために必要なこと(校区別割合)

全体(N=906)	住宅環境が整っており住みやすいこと	通勤可能な範囲に働く場所があること	遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること	福祉施設や医療施設が充実していること	子育て支援施設が充実していること
東小学校区(N=96)	25.0	12.5	31.3	35.4	9.4
西小学校区(N=122)	27.0	7.4	34.4	28.7	11.5
南小学校区(N=135)	23.0	15.6	26.7	38.5	11.1
北小学校区(N=79)	38.0	6.3	32.9	41.8	11.4
津田小学校区(N=43)	39.5	7.0	27.9	37.2	9.3
中央小学校区(N=120)	25.8	12.5	25.0	37.5	9.2
木島小学校区(N=96)	34.4	12.5	21.9	40.6	16.7
東山小学校区(N=31)	22.6	9.7	35.5	48.4	19.4
葛城小学校区(N=33)	30.3	3.0	24.2	24.2	9.1
永寿小学校区(N=10)	20.0	10.0	20.0	30.0	0.0
二色小学校区(N=51)	27.5	21.6	29.4	39.2	9.8
不明(N=46)	30.4	21.7	34.8	23.9	13.0
無回答(N=44)	9.1	4.5	4.5	9.1	0.0

全体(N=906)	通勤や通学などの交通環境が充実していること	犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること	近隣住民の交流が盛んで、地域活動が充実していること	その他	無回答
東小学校区(N=96)	12.5	42.7	9.4	4.2	4.2
西小学校区(N=122)	13.9	55.7	11.5	1.6	3.3
南小学校区(N=135)	17.0	43.0	8.1	3.0	3.7
北小学校区(N=79)	7.6	45.6	8.9	3.8	3.8
津田小学校区(N=43)	16.3	48.8	9.3	2.3	2.3
中央小学校区(N=120)	15.0	41.7	8.3	5.0	0.0
木島小学校区(N=96)	20.8	39.6	12.5	4.2	4.2
東山小学校区(N=31)	41.9	16.1	0.0	3.2	3.2
葛城小学校区(N=33)	18.2	42.4	6.1	9.1	6.1
永寿小学校区(N=10)	10.0	30.0	10.0	10.0	20.0
二色小学校区(N=51)	7.8	52.9	5.9	3.9	0.0
不明(N=46)	21.7	41.3	2.2	2.2	0.0
無回答(N=44)	2.3	6.8	0.0	0.0	79.5

■住み続けるために必要なこと(幸福度別割合)

全体(N=906)	住宅環境が整っており住みやすいこと	通勤可能な範囲に働く場所があること	遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること	福祉施設や医療施設が充実していること	子育て支援施設が充実していること
0～3点:不幸(N=70)	25.7	14.3	31.4	32.9	7.1
4～7点:普通(N=449)	29.2	10.2	29.6	37.9	9.8
8～10点:幸せ(N=337)	27.6	11.3	25.2	31.2	13.1
無回答(N=50)	16.0	22.0	22.0	34.0	10.0

全体(N=906)	通勤や通学などの交通環境が充実していること	犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること	近隣住民の交流が盛んで、地域活動が充実していること	その他	無回答
0～3点:不幸(N=70)	21.4	31.4	10.0	8.6	2.9
4～7点:普通(N=449)	14.7	42.5	6.9	3.1	6.5
8～10点:幸せ(N=337)	14.8	45.1	9.8	3.3	5.6
無回答(N=50)	14.0	36.0	6.0	2.0	22.0

貝塚市の取組みについて

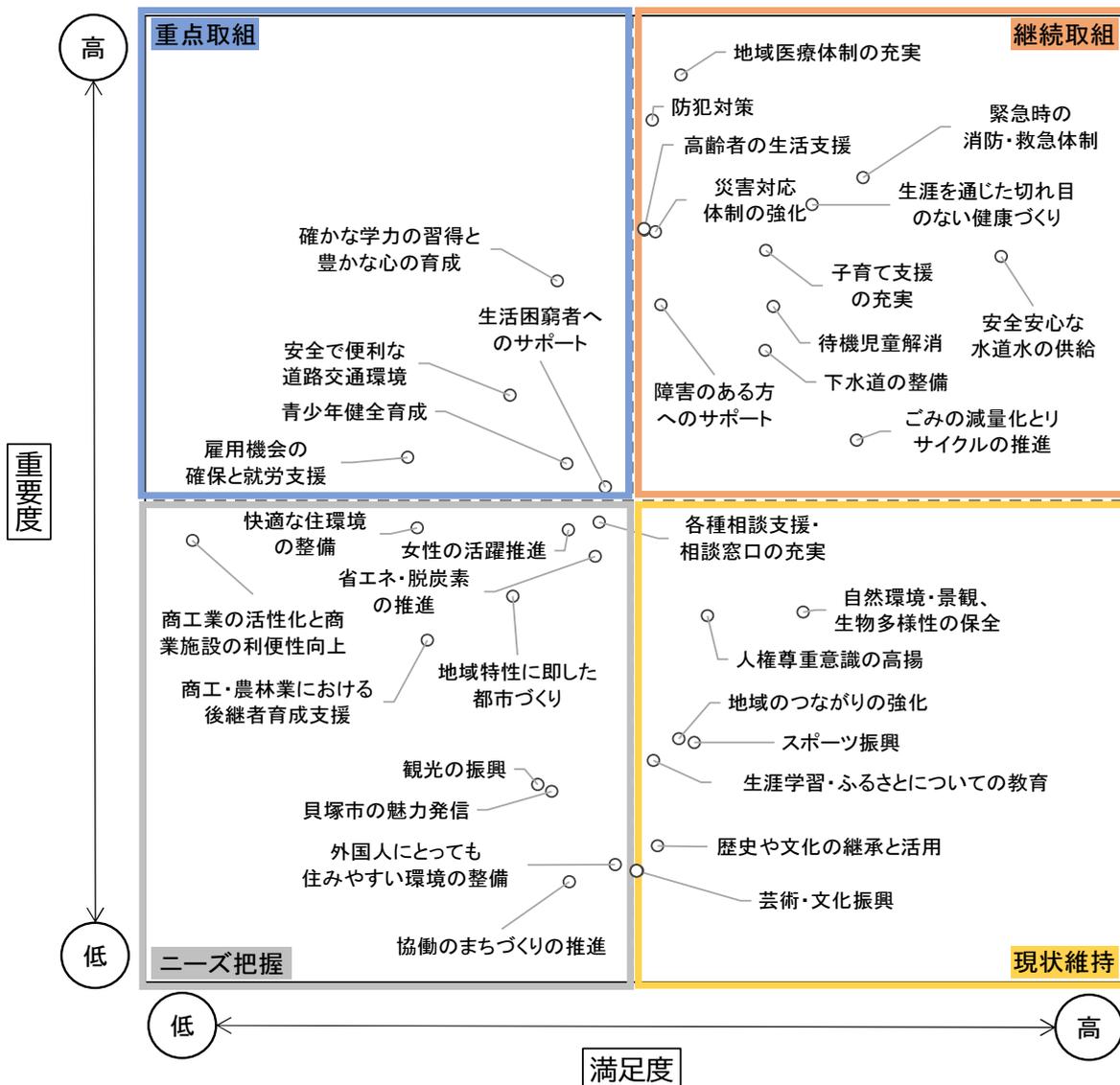
Q8 満足度・重要度（満足度：5段階評価、重要度：3段階評価）

満足度を「不満」「やや不満」「普通」「やや満足」「満足」で評価すると、満足度は、【安全安心な水道水の供給】【緊急時の消防・救急体制】【ごみの減量化とリサイクルの推進】の順で高くなっています。一方、満足度が低いのは【商工業の活性化と商業施設の利便性向上】【雇用機会の確保と就労支援】【快適な住環境の整備】の順となっています。

重要度については、「低い」「中」「高い」で評価すると、重要度が高いのは【地域医療体制の充実】【防犯対策】【緊急時の消防・救急体制】の順となっています。一方、重要度が低いのは【協働のまちづくりの推移】【芸術・文化振興】【外国人にとっても住みやすい環境の整備】の順となっています。

また、幸福度とクロス集計をすると、幸福度が高くなるにつれて満足度も高い傾向となっていますが、次の項目は、幸せ（8～10点）な人よりも、不幸（0～3点）の人で重要視されていました。

【生活困窮者へのサポート、安全で便利な道路交通環境、雇用機会の確保と就労支援、生涯を通じた切れ目のない健康づくり、地域医療体制の充実、災害対応体制の強化、各種相談支援・相談窓口の充実、快適な住環境の整備、商工・農林業における後継者育成支援、貝塚市の魅力発信】



	内容
重点取組	満足度が低く、重要度が高い。 今後重要施策として検討が必要な項目
継続取組	満足度、重要度がともに高い。 施策の継続実施が必要な項目
現状維持	満足度が高く、重要度が低い。 住民の満足度が高く、今後のさらなる充足には検討すべき項目
ニーズ把握	満足度、重要度がともに低い。 市民ニーズを確認し、施策を検討すべき項目

■全体

重点取組	継続取組	現状維持	ニーズ把握
雇用機会の確保と就労支援	安全安心な水道水の供給	自然環境・景観、生物多様性の保全	商工業の活性化と商業施設の利便性向上
安全で便利な道路交通環境	緊急時の消防・救急体制	人権尊重意識の高揚	快適な住環境の整備
確かな学力の習得と豊かな心の育成	ごみの減量化とリサイクルの推進	スポーツ振興	商工・農林業における後継者育成支援
青少年健全育成	生涯を通じた切れ目のない健康づくり	地域のつながりの強化	地域特性に即した都市づくり
生活困窮者へのサポート	待機児童解消	歴史や文化の継承と活用	観光の振興
	子育て支援の充実	生涯学習・ふるさとについての教育	貝塚市の魅力発信
	下水道の整備	芸術・文化振興	協働のまちづくりの推進
	地域医療体制の充実		女性の活躍推進
	防犯対策		省エネ・脱炭素の推進
	障害のある方へのサポート		各種相談支援・相談窓口の充実
	災害対応体制の強化		外国人にとっても住みやすい環境の整備
	高齢者の生活支援		

■年代別の重要度・満足度4区分

重点取組、継続取組、現状維持、ニーズ把握について、年代別で主な3項目を抜粋

◆15～19歳

生活困窮者へのサポート 子育て支援の充実 待機児童解消	緊急時の消防・救急体制 各種相談支援・相談窓口の充実 障害のある方へのサポート
商工業の活性化と商業施設の利便性向上 快適な住環境の整備 確かな学力の習得と豊かな心の育成	安全安心な水道水の供給 下水道の整備 外国人にとっても住みやすい環境の整備

◆20歳代

生活困窮者へのサポート 子育て支援の充実 待機児童解消	緊急時の消防・救急体制 各種相談支援・相談窓口の充実 障害のある方へのサポート
商工業の活性化と商業施設の利便性向上 快適な住環境の整備 確かな学力の習得と豊かな心の育成	安全安心な水道水の供給 下水道の整備 外国人にとっても住みやすい環境の整備

重点取組、継続取組、現状維持、二一ズ把握について、年代別で主な3項目を抜粋

◆30 歳代

快適な住環境の整備 地域特性に即した都市づくり 女性の活躍推進	安全安心な水道水の供給 待機児童解消 生涯を通じた切れ目のない健康づくり
商工業の活性化と商業施設の利便性向上 雇用機会の確保と就労支援 商工・農林業における後継者育成支援	ごみの減量化とリサイクルの推進 地域のつながりの強化 自然環境・景観、生物多様性の保全

◆40 歳代

商工業の活性化と商業施設の利便性向上 雇用機会の確保と就労支援 安全で便利な道路交通環境	待機児童解消 安全安心な水道水の供給 子育て支援の充実
商工・農林業における後継者育成支援 快適な住環境の整備 貝塚市の魅力発信	自然環境・景観、生物多様性の保全 ごみの減量化とリサイクルの推進 省エネ・脱炭素の推進

◆50 歳代

商工業の活性化と商業施設の利便性向上 雇用機会の確保と就労支援 商工・農林業における後継者育成支援	下水道の整備 青少年健全育成 障害のある方へのサポート
快適な住環境の整備 観光の振興 地域特性に即した都市づくり	歴史や文化の継承と活用 芸術・文化振興 地域のつながりの強化

◆60 歳代

雇用機会の確保と就労支援 確かな学力の習得と豊かな心の育成 青少年健全育成	安全安心な水道水の供給 下水道の整備 災害対応体制の強化
商工業の活性化と商業施設の利便性向上 快適な住環境の整備 商工・農林業における後継者育成支援	省エネ・脱炭素の推進 スポーツ振興 生活困窮者へのサポート

◆70 歳代

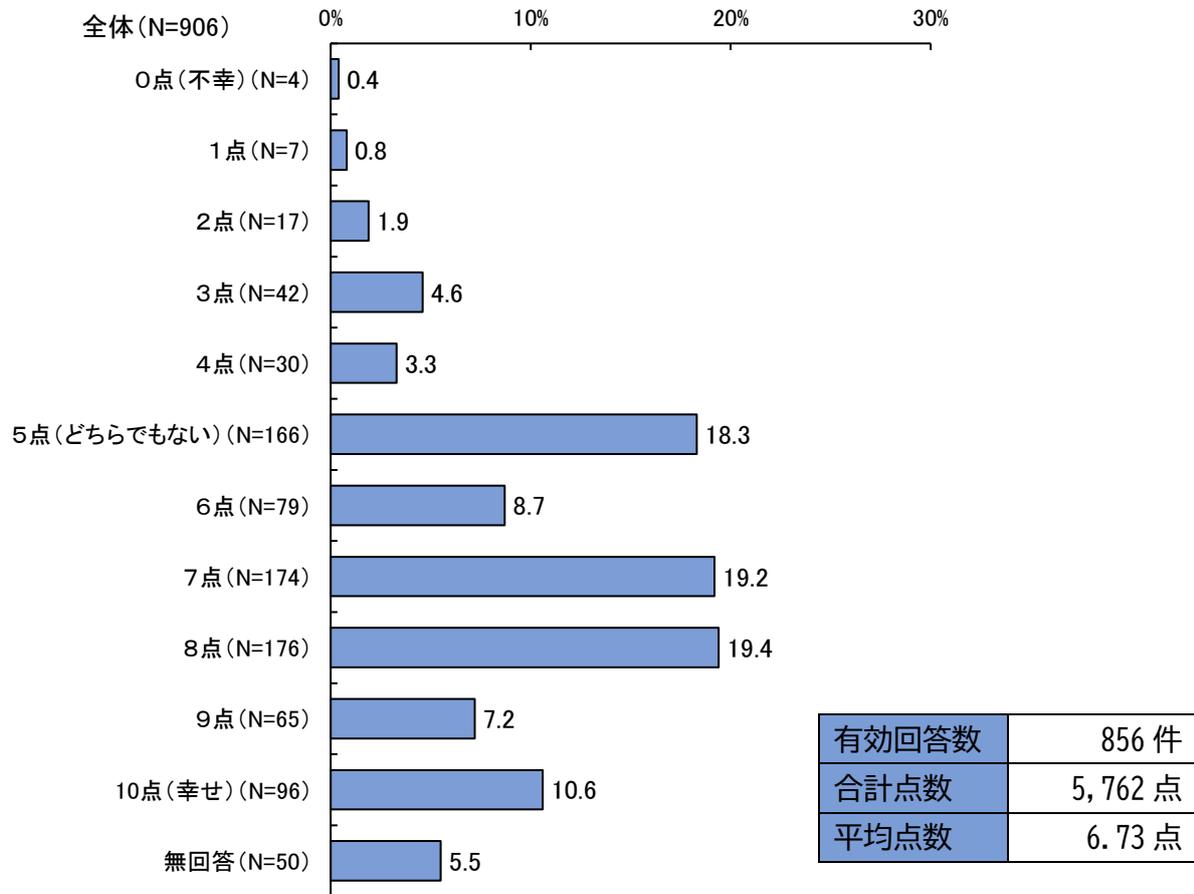
雇用機会の確保と就労支援 省エネ・脱炭素の推進 青少年健全育成	安全安心な水道水の供給 緊急時の消防・救急体制 ごみの減量化とリサイクルの推進
商工業の活性化と商業施設の利便性向上 商工・農林業における後継者育成支援 快適な住環境の整備	芸術・文化振興 人権尊重意識の高揚 スポーツ振興

◆80 歳以上

雇用機会の確保と就労支援 青少年健全育成 確かな学力の習得と豊かな心の育成	安全安心な水道水の供給 ごみの減量化とリサイクルの推進 緊急時の消防・救急体制
商工業の活性化と商業施設の利便性向上 商工・農林業における後継者育成支援 地域特性に即した都市づくり	人権尊重意識の高揚 自然環境・景観、生物多様性の保全 各種相談支援・相談窓口の充実

Q9 普段の生活の中に幸せを感じますか（10段階評価）

「8点」が19.4%と最も高く、次いで「7点」が19.2%、「5点」が18.3%となっています。



※有効回答数は全体の906件から不明・無回答を除く

計算式

合計点数=0点×4人+1点×7人+2点×17人+3点×42人+4点×30人+5点×166人+6点×79人
+7点×174人+8点×176人+9点×65人+10点×96人

■幸福度(年代別人数)

全体(N=906)	0点(不幸)	1点	2点	3点	4点	5点(どちらでもない)	6点
15～19歳(N=23)	0	0	1	2	2	3	1
20歳代(N=56)	0	0	1	6	2	12	2
30歳代(N=68)	0	2	1	2	2	8	8
40歳代(N=130)	0	0	4	9	5	19	6
50歳代(N=159)	1	1	4	8	5	21	19
60歳代(N=155)	1	2	3	5	3	37	18
70歳代(N=175)	0	0	3	7	6	39	14
80歳以上(N=105)	2	1	0	3	3	23	5
無回答(N=35)	0	1	0	0	2	4	6

全体(N=906)	7点	8点	9点	10点(幸せ)	無回答
15～19歳(N=23)	4	2	2	5	1
20歳代(N=56)	9	11	4	6	3
30歳代(N=68)	11	15	6	10	3
40歳代(N=130)	33	23	14	9	8
50歳代(N=159)	33	36	9	19	3
60歳代(N=155)	29	24	14	13	6
70歳代(N=175)	35	39	8	14	10
80歳以上(N=105)	15	19	7	19	8
無回答(N=35)	5	7	1	1	8

	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
有効回答数	22件	53件	65件	122件	156件
合計点数	149点	347点	457点	817点	1,062点
平均点数	6.77点	6.55点	7.03点	6.70点	6.81点

	60歳代	70歳代	80歳以上
有効回答数	149件	165件	97件
合計点数	979点	1,099点	677点
平均点数	6.57点	6.66点	6.98点

■幸福度(校区別人数)

全体(N=906)	0点(不幸)	1点	2点	3点	4点	5点(どちらでもない)	6点
東小学校区(N=96)	1	1	6	5	4	18	7
西小学校区(N=122)	1	0	1	8	5	20	11
南小学校区(N=135)	0	0	1	4	1	25	14
北小学校区(N=79)	0	0	2	3	3	13	6
津田小学校区(N=43)	1	0	0	2	2	8	4
中央小学校区(N=120)	0	2	6	4	3	22	7
木島小学校区(N=96)	1	0	0	8	5	21	8
東山小学校区(N=31)	0	0	0	2	2	2	2
葛城小学校区(N=33)	0	2	0	1	0	4	1
永寿小学校区(N=10)	0	0	0	1	0	4	0
二色小学校区(N=51)	0	0	1	2	2	9	5
不明(N=46)	0	1	0	2	1	13	8
無回答(N=44)	0	1	0	0	2	7	6

全体(N=906)	7点	8点	9点	10点(幸せ)	無回答
東小学校区(N=96)	20	16	8	8	2
西小学校区(N=122)	26	25	9	9	7
南小学校区(N=135)	25	23	16	20	6
北小学校区(N=79)	19	17	7	5	4
津田小学校区(N=43)	8	4	0	12	2
中央小学校区(N=120)	25	25	3	19	4
木島小学校区(N=96)	17	14	8	9	5
東山小学校区(N=31)	9	8	2	1	3
葛城小学校区(N=33)	6	12	4	0	3
永寿小学校区(N=10)	0	1	0	3	1
二色小学校区(N=51)	7	12	3	7	3
不明(N=46)	6	8	4	2	1
無回答(N=44)	6	11	1	1	9

	東小学校区	西小学校区	南小学校区	北小学校区	津田小学校区	中央小学校区
有効回答数	94件	115件	129件	75件	41件	116件
合計点数	596点	765点	930点	508点	286点	782点
平均点数	6.34点	6.65点	7.21点	6.77点	6.98点	6.74点

	木島小学校区	東山小学校区	葛城小学校区	永寿小学校区	二色小学校区
有効回答数	91件	28件	30件	9件	48件
合計点数	590点	191点	205点	61点	333点
平均点数	6.48点	6.82点	6.83点	6.78点	6.94点

■幸福度(定住意向別人数)

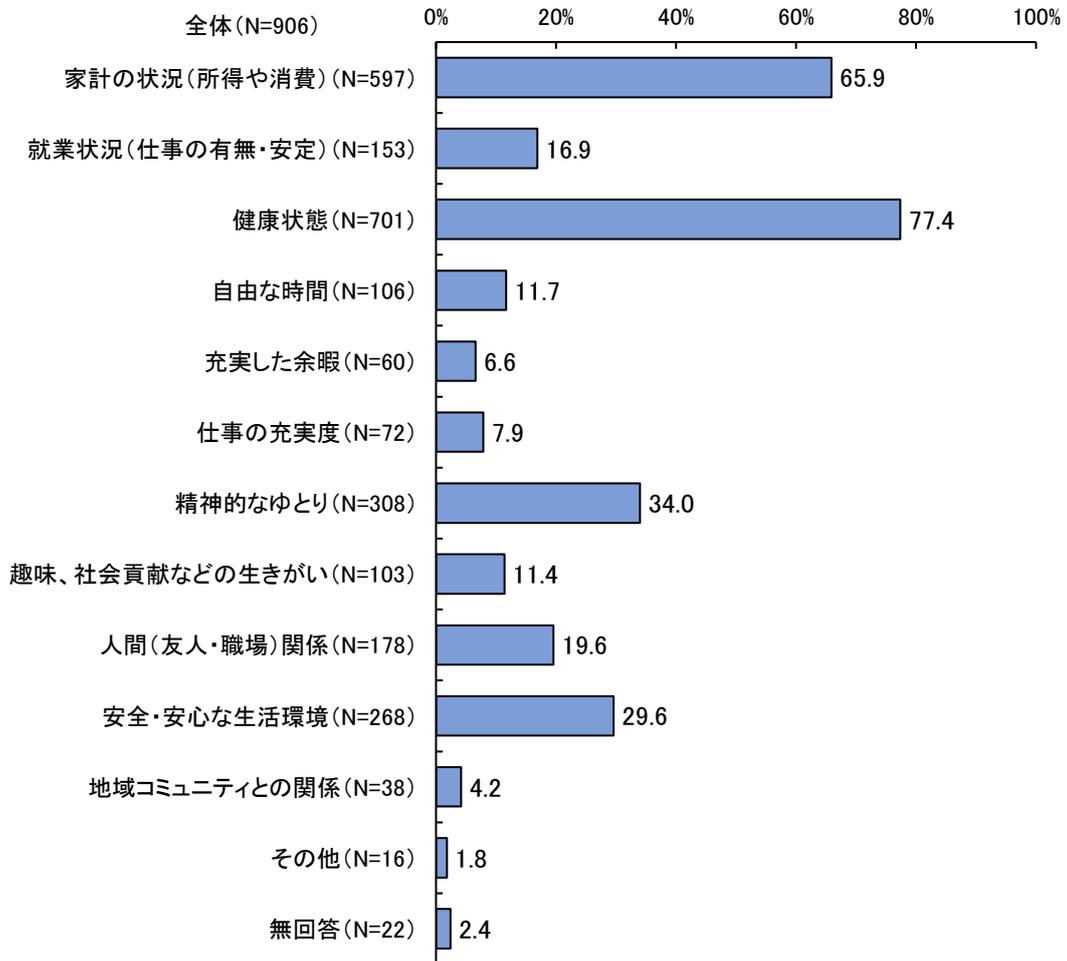
全体(N=906)	0点(不幸)	1点	2点	3点	4点	5点(どちらでもない)	6点
住み続けたいと思う(N=572)	3	3	10	17	14	97	46
住み続けたいとは思わない(N=66)	0	3	0	5	4	14	9
どちらともいえない(N=228)	1	0	7	19	10	51	18
その他(N=3)	0	0	0	1	0	0	0
無回答(N=37)	0	1	0	0	2	4	6

全体(N=906)	7点	8点	9点	10点(幸せ)	無回答
住み続けたいと思う(N=572)	117	121	48	73	23
住み続けたいとは思わない(N=66)	11	11	1	4	4
どちらともいえない(N=228)	41	37	14	16	14
その他(N=3)	0	0	1	1	0
無回答(N=37)	5	7	1	2	9

	住み続けたいと思う	住み続けたいとは思わない	どちらともいえない
有効回答数	549件	62件	214件
合計点数	3,840点	372点	1,343点
平均点数	6.99点	6.00点	6.28点

Q10 幸せであるために重要だと思うことは何ですか(3つまで選択可能)

「健康状態」が77.4%と最も高く、次いで「家計の状況(所得や消費)」が65.9%、「精神的なゆとり」が34.0%となっています。



■幸せであるために重要だと思うこと(年代別割合)

年代別にみると、15～19歳では「人間（友人・職場）関係」が最も高く、次いで「精神的なゆとり」が高くなっています。20歳代以上では「家計の状況（所得や消費）」「健康状態」の割合が高くなっています。特に「健康状態」については、50歳代にかけて年齢が高くなるにつれて高い割合となっています。

全体(N=906)	家計の状況 (所得や消費)	就業状況(仕事 の有無・安定)	健康状態	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり
15～19歳 (N=23)	34.8	8.7	30.4	21.7	8.7	13.0	47.8
20歳代(N=56)	78.6	23.2	62.5	30.4	12.5	10.7	41.1
30歳代(N=68)	76.5	27.9	66.2	20.6	4.4	16.2	41.2
40歳代(N=130)	76.2	24.6	73.1	10.0	11.5	13.1	30.0
50歳代(N=159)	79.9	27.0	83.6	5.0	4.4	7.5	36.5
60歳代(N=155)	67.1	16.8	81.3	5.2	3.9	3.9	32.9
70歳代(N=175)	57.7	4.0	88.0	9.7	7.4	5.1	29.1
80歳以上 (N=105)	41.0	4.8	81.9	17.1	5.7	3.8	30.5
無回答(N=35)	54.3	17.1	57.1	17.1	2.9	11.4	42.9

全体(N=906)	趣味、社会貢 献などの生き がい	人間(友人・職 場)関係	安全・安心な 生活環境	地域コミュニ ティとの関係	その他	無回答
15～19歳 (N=23)	34.8	60.9	26.1	0.0	0.0	0.0
20歳代(N=56)	16.1	19.6	7.1	0.0	1.8	0.0
30歳代(N=68)	7.4	20.6	22.1	1.5	1.5	0.0
40歳代(N=130)	7.7	21.5	25.4	0.8	2.3	2.3
50歳代(N=159)	11.9	18.2	21.4	2.5	1.9	0.6
60歳代(N=155)	9.0	18.1	29.7	5.8	1.3	2.6
70歳代(N=175)	11.4	14.3	42.3	8.0	1.1	1.7
80歳以上 (N=105)	12.4	23.8	46.7	7.6	2.9	2.9
無回答(N=35)	14.3	11.4	20.0	2.9	2.9	22.9

■幸せであるために重要だと思うこと(定住意向別割合)

全体(N=906)	家計の状況 (所得や消費)	就業状況(仕事 の有無・安定)	健康状態	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり
住み続けたいと思う(N=572)	67.1	15.7	80.1	10.7	5.9	7.0	30.8
住み続けたいとは思わない(N=66)	62.1	21.2	69.7	12.1	16.7	9.1	39.4
どちらともいえない(N=228)	65.8	18.0	75.4	13.6	6.1	9.6	39.9
その他(N=3)	66.7	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答(N=37)	54.1	18.9	59.5	16.2	2.7	10.8	40.5

全体(N=906)	趣味、社会貢献などの生きがい	人間(友人・職場)関係	安全・安心な生活環境	地域コミュニティとの関係	その他	無回答
住み続けたいと思う(N=572)	11.4	20.8	32.5	4.9	1.0	1.4
住み続けたいとは思わない(N=66)	15.2	22.7	30.3	7.6	6.1	0.0
どちらともいえない(N=228)	9.6	17.1	23.7	1.8	1.8	2.6
その他(N=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
無回答(N=37)	13.5	10.8	21.6	2.7	2.7	21.6

■幸せであるために重要だと思うこと(幸福度別割合)

幸福度別でみると、不幸では「家計の状況(所得や消費)」の割合が7割台後半で、普通や幸せよりも高い水準となっています。

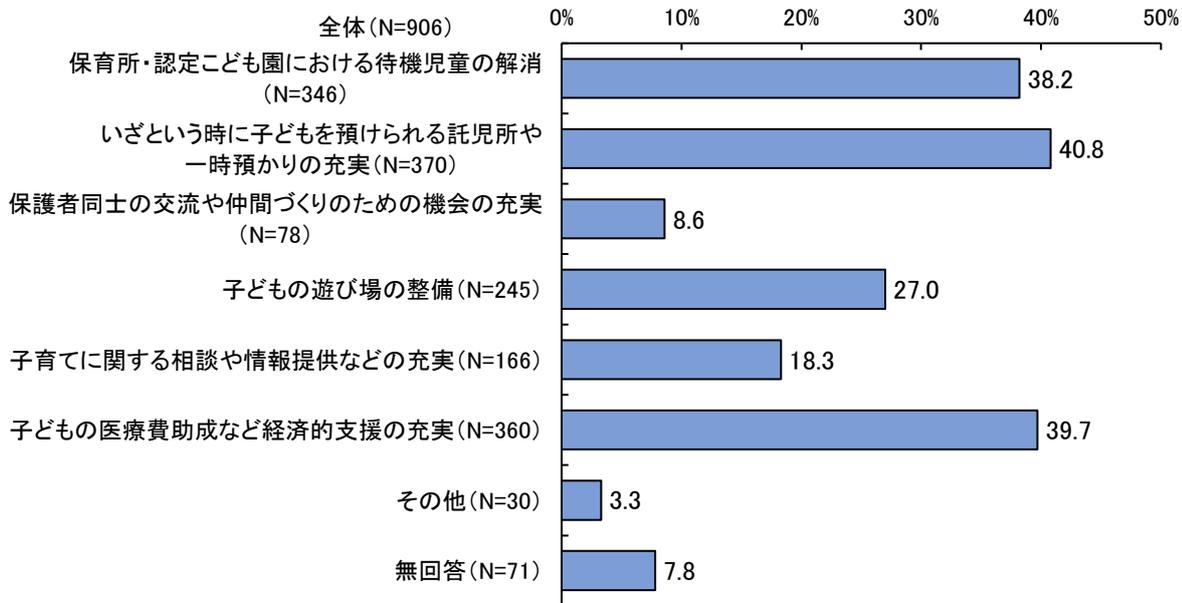
全体(N=906)	家計の状況 (所得や消費)	就業状況(仕事 の有無・安定)	健康状態	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり
0～3点:不幸(N=70)	78.6	17.1	57.1	15.7	14.3	12.9	41.4
4～7点:普通(N=449)	68.6	18.5	78.0	9.6	6.9	6.7	34.5
8～10点:幸せ(N=337)	64.1	15.7	86.1	14.5	4.7	8.9	34.4
無回答(N=50)	36.0	10.0	42.0	6.0	6.0	6.0	16.0

全体(N=906)	趣味、社会貢献などの生きがい	人間(友人・職場)関係	安全・安心な生活環境	地域コミュニティとの関係	その他	無回答
0～3点:不幸(N=70)	4.3	14.3	20.0	2.9	1.4	0.0
4～7点:普通(N=449)	10.0	17.6	35.0	5.3	1.3	0.0
8～10点:幸せ(N=337)	15.7	23.7	25.8	3.3	2.7	0.0
無回答(N=50)	4.0	18.0	20.0	2.0	0.0	44.0

子育てしやすいまちづくりについて

Q11 子育て環境を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか(2つまで選択可能)

「いざという時に子どもを預けられる託児所や一時預かりの充実」が40.8%と最も高く、次いで「子どもの医療費助成など経済的支援の充実」が39.7%、「保育所・認定こども園における待機児童の解消」が38.2%となっています。



■子育て環境を充実させるために力を入れるべきこと(年代別割合)

年代別でみると、20歳代以上の広い年齢層で「いざという時に子どもを預けられる託児所や一時預かりの充実」が3割以上となっており、40歳代以下では「子どもの医療費助成など経済的支援の充実」が4割半ばから5割台と高い割合を占め、50歳代と60歳代では「保育所・認定こども園における待機児童の解消」が4割台となっています。

全体 (N=906)	保育所・認定こども園における待機児童の解消	いざという時に子どもを預けられる託児所や一時預かりの充実	保護者同士の交流や仲間づくりのための機会の充実	子どもの遊び場の整備	子育てに関する相談や情報提供などの充実	子どもの医療費助成など経済的支援の充実	その他	無回答
15～19歳 (N=23)	39.1	17.4	4.3	43.5	13.0	47.8	8.7	4.3
20歳代 (N=56)	32.1	39.3	10.7	42.9	16.1	44.6	5.4	3.6
30歳代 (N=68)	27.9	36.8	0.0	45.6	14.7	55.9	5.9	1.5
40歳代 (N=130)	33.1	40.0	6.9	36.9	17.7	50.0	2.3	3.1
50歳代 (N=159)	44.7	39.6	4.4	21.4	20.8	40.3	5.7	3.8
60歳代 (N=155)	47.7	47.1	11.0	21.3	18.1	38.7	1.9	4.5
70歳代 (N=175)	36.6	42.3	10.9	16.6	23.4	37.1	1.1	12.6
80歳以上 (N=105)	34.3	41.0	12.4	22.9	16.2	22.9	3.8	19.0
無回答 (N=35)	34.3	40.0	17.1	34.3	5.7	22.9	0.0	22.9

■子育て環境を充実させるために力を入れるべきこと(校區別割合)

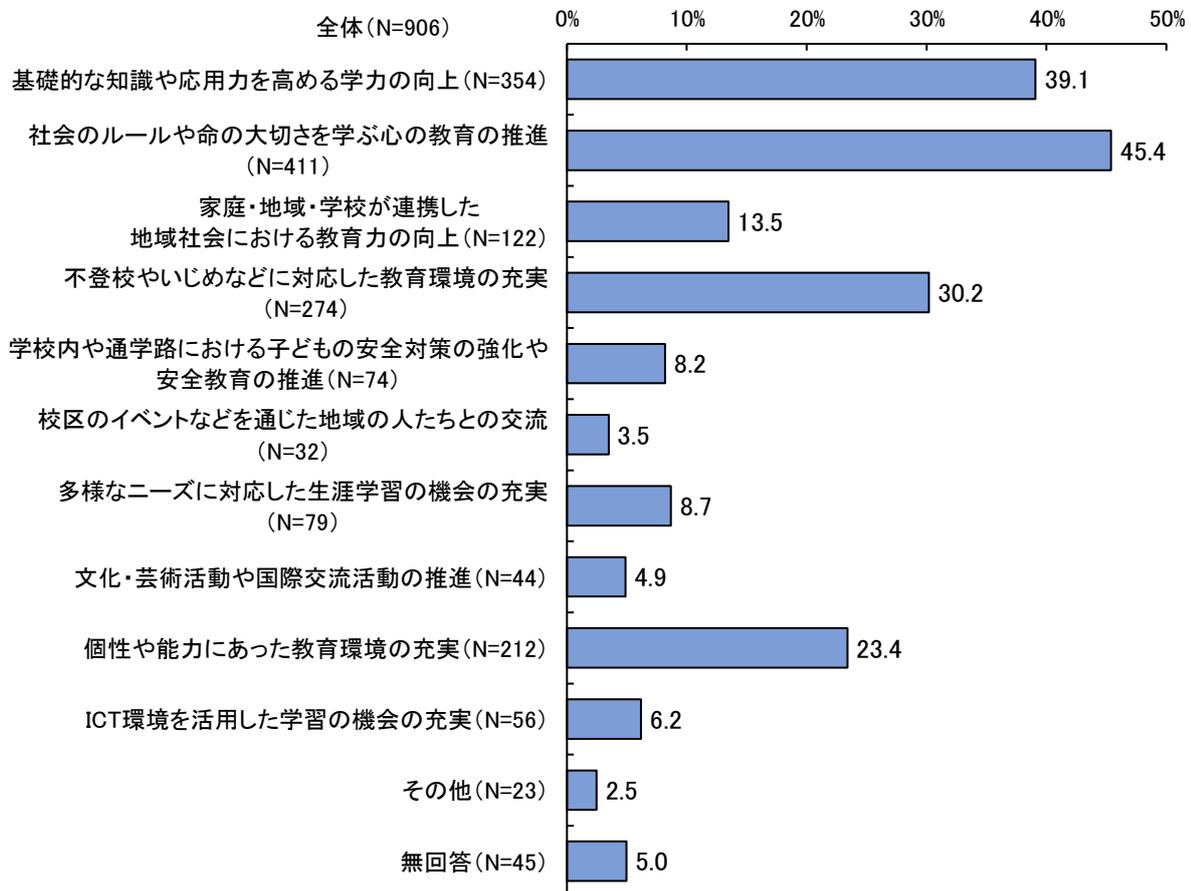
全体(N=906)	保育所・認定こども園における待機児童の解消	いざという時に子どもを預けられる託児所や一時預かりの充実	保護者同士の交流や仲間づくりのための機会の充実	子どもの遊び場の整備	子育てに関する相談や情報提供などの充実	子どもの医療費助成など経済的支援の充実	その他	無回答
東小学校区(N=96)	42.7	40.6	13.5	28.1	19.8	42.7	4.2	4.2
西小学校区(N=122)	39.3	37.7	7.4	27.9	20.5	37.7	4.1	8.2
南小学校区(N=135)	43.7	39.3	11.1	25.9	18.5	37.8	3.7	6.7
北小学校区(N=79)	40.5	49.4	7.6	21.5	20.3	44.3	0.0	6.3
津田小学校区(N=43)	25.6	30.2	9.3	41.9	7.0	34.9	4.7	14.0
中央小学校区(N=120)	35.0	42.5	5.0	30.8	13.3	39.2	5.8	7.5
木島小学校区(N=96)	32.3	43.8	8.3	20.8	24.0	44.8	1.0	6.3
東山小学校区(N=31)	35.5	22.6	3.2	32.3	12.9	61.3	6.5	9.7
葛城小学校区(N=33)	33.3	57.6	3.0	27.3	12.1	42.4	0.0	9.1
永寿小学校区(N=10)	20.0	50.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
二色小学校区(N=51)	45.1	39.2	3.9	23.5	29.4	47.1	3.9	0.0
不明(N=46)	43.5	41.3	6.5	28.3	21.7	32.6	2.2	6.5
無回答(N=44)	34.1	38.6	18.2	29.5	9.1	22.7	2.3	20.5

■子育て環境を充実させるために力を入れるべきこと(定住意向別割合)

全体(N=906)	保育所・認定こども園における待機児童の解消	いざという時に子どもを預けられる託児所や一時預かりの充実	保護者同士の交流や仲間づくりのための機会の充実	子どもの遊び場の整備	子育てに関する相談や情報提供などの充実	子どもの医療費助成など経済的支援の充実	その他	無回答
住み続けたいと思う(N=572)	40.0	41.1	9.8	24.3	19.6	39.7	3.5	7.0
住み続けたいとは思わない(N=66)	37.9	42.4	9.1	34.8	16.7	42.4	6.1	3.0
どちらともいえない(N=228)	34.2	39.9	4.4	30.7	17.5	42.5	2.6	8.3
その他(N=3)	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
無回答(N=37)	35.1	40.5	16.2	32.4	5.4	21.6	0.0	24.3

Q12 教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか(2つまで選択可能)

「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が45.4%と最も高く、次いで「基礎的な知識や応用力を高める学力の向上」が39.1%、「不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実」が30.2%となっています。



■教育を充実させるために力を入れるべきこと(年代別割合)

年代別で見ると、いずれの年齢においても「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」「基礎的な知識や応用力を高める学力の向上」がそれぞれ高い割合となっています。また、20歳代、30歳代、60歳代、70歳代では「不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実」が3割台となっています。

全体(N=906)	基礎的な知識や応用力を高める学力の向上	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力の向上	不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実	学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の推進	校区のイベントなどを通じた地域の人たちとの交流	多様なニーズに対応した生涯学習の機会の充実
15～19歳(N=23)	43.5	30.4	21.7	26.1	17.4	0.0	0.0
20歳代(N=56)	33.9	46.4	10.7	30.4	10.7	3.6	12.5
30歳代(N=68)	45.6	44.1	10.3	30.9	19.1	1.5	7.4
40歳代(N=130)	38.5	47.7	6.9	27.7	9.2	5.4	10.8
50歳代(N=159)	51.6	46.5	16.4	25.8	5.0	1.3	8.8
60歳代(N=155)	36.1	45.2	14.2	36.1	7.1	3.9	9.7
70歳代(N=175)	33.7	45.1	13.7	32.6	9.1	1.7	6.9
80歳以上(N=105)	33.3	44.8	19.0	26.7	3.8	7.6	8.6
無回答(N=35)	34.3	45.7	8.6	34.3	0.0	8.6	8.6

全体(N=906)	文化・芸術活動や国際交流活動の推進	個性や能力にあった教育環境の充実	ICT環境を活用した学習の機会の充実	その他	無回答
15～19歳(N=23)	4.3	26.1	13.0	0.0	0.0
20歳代(N=56)	7.1	23.2	3.6	5.4	3.6
30歳代(N=68)	8.8	22.1	2.9	0.0	2.9
40歳代(N=130)	3.1	32.3	12.3	5.4	1.5
50歳代(N=159)	4.4	21.4	7.5	3.1	1.9
60歳代(N=155)	5.2	24.5	6.5	1.3	1.3
70歳代(N=175)	3.4	22.3	5.1	2.3	8.0
80歳以上(N=105)	3.8	18.1	1.9	1.0	14.3
無回答(N=35)	11.4	17.1	0.0	2.9	14.3

■教育を充実させるために力を入れるべきこと(校区別割合)

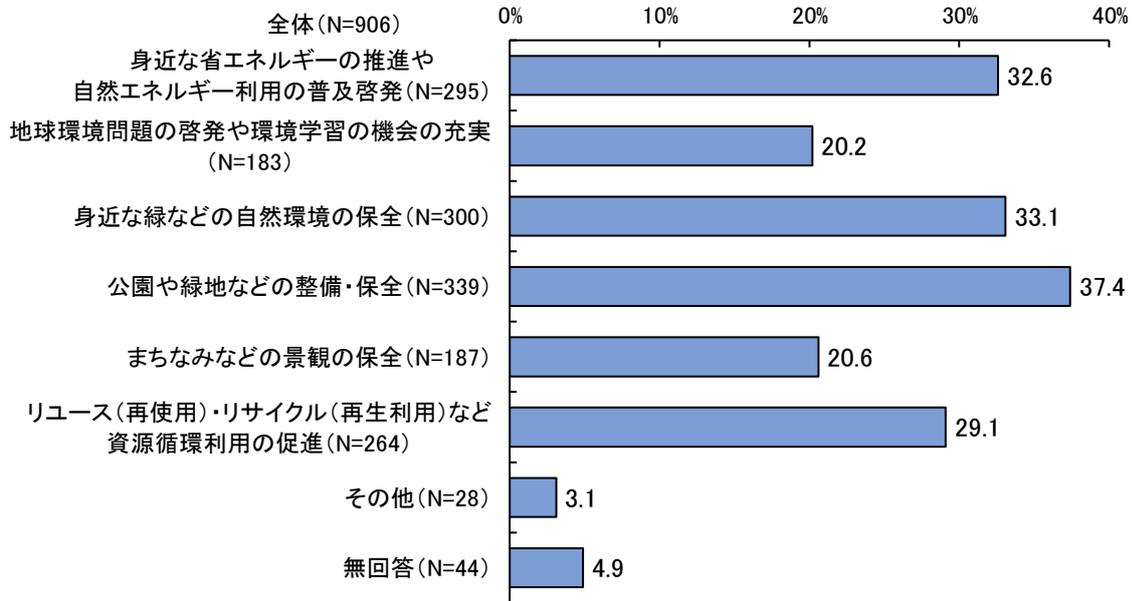
全体 (N=906)	基礎的な知識や応用力を高める学力の向上	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力の向上	不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実	学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の推進	校区のイベントなどを通じた地域の人たちとの交流	多様なニーズに対応した生涯学習の機会の充実
東小学校区 (N=96)	42.7	45.8	13.5	29.2	10.4	7.3	5.2
西小学校区 (N=122)	36.9	45.1	16.4	32.0	6.6	4.9	6.6
南小学校区 (N=135)	35.6	50.4	15.6	27.4	11.9	3.7	6.7
北小学校区 (N=79)	40.5	41.8	15.2	26.6	10.1	3.8	10.1
津田小学校区 (N=43)	53.5	41.9	14.0	32.6	4.7	0.0	16.3
中央小学校区 (N=120)	40.0	45.8	14.2	27.5	8.3	0.8	9.2
木島小学校区 (N=96)	38.5	39.6	13.5	32.3	7.3	3.1	12.5
東山小学校区 (N=31)	54.8	45.2	9.7	32.3	6.5	0.0	9.7
葛城小学校区 (N=33)	39.4	48.5	3.0	33.3	3.0	3.0	9.1
永寿小学校区 (N=10)	0.0	50.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
二色小学校区 (N=51)	37.3	45.1	9.8	31.4	3.9	2.0	9.8
不明 (N=46)	34.8	50.0	8.7	30.4	13.0	2.2	10.9
無回答 (N=44)	34.1	43.2	11.4	36.4	0.0	9.1	6.8

全体 (N=906)	文化・芸術活動や国際交流活動の推進	個性や能力にあった教育環境の充実	ICT環境を活用した学習の機会の充実	その他	無回答
東小学校区 (N=96)	3.1	26.0	6.3	0.0	5.2
西小学校区 (N=122)	3.3	23.0	8.2	2.5	4.1
南小学校区 (N=135)	5.9	23.7	7.4	3.0	3.0
北小学校区 (N=79)	5.1	34.2	3.8	3.8	3.8
津田小学校区 (N=43)	0.0	11.6	4.7	4.7	7.0
中央小学校区 (N=120)	5.8	18.3	8.3	5.0	3.3
木島小学校区 (N=96)	5.2	27.1	6.3	1.0	5.2
東山小学校区 (N=31)	6.5	19.4	3.2	3.2	3.2
葛城小学校区 (N=33)	3.0	12.1	6.1	3.0	9.1
永寿小学校区 (N=10)	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
二色小学校区 (N=51)	3.9	39.2	5.9	2.0	2.0
不明 (N=46)	8.7	13.0	6.5	0.0	6.5
無回答 (N=44)	9.1	20.5	0.0	2.3	13.6

貝塚ならではのまちづくりについて

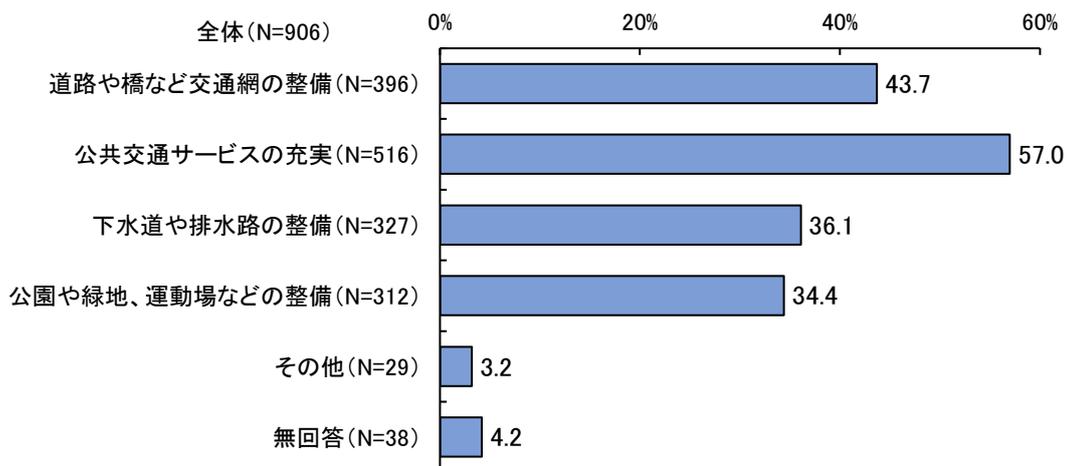
Q13 環境をよくするためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか(2つまで選択可能)

「公園や緑地などの整備・保全」が37.4%と最も高く、次いで「身近な緑などの自然環境の保全」が33.1%、「身近な省エネルギーの推進や自然エネルギー利用の普及啓発」が32.6%となっています。



Q14 生活を充実させる都市基盤の取組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか(2つまで選択可能)

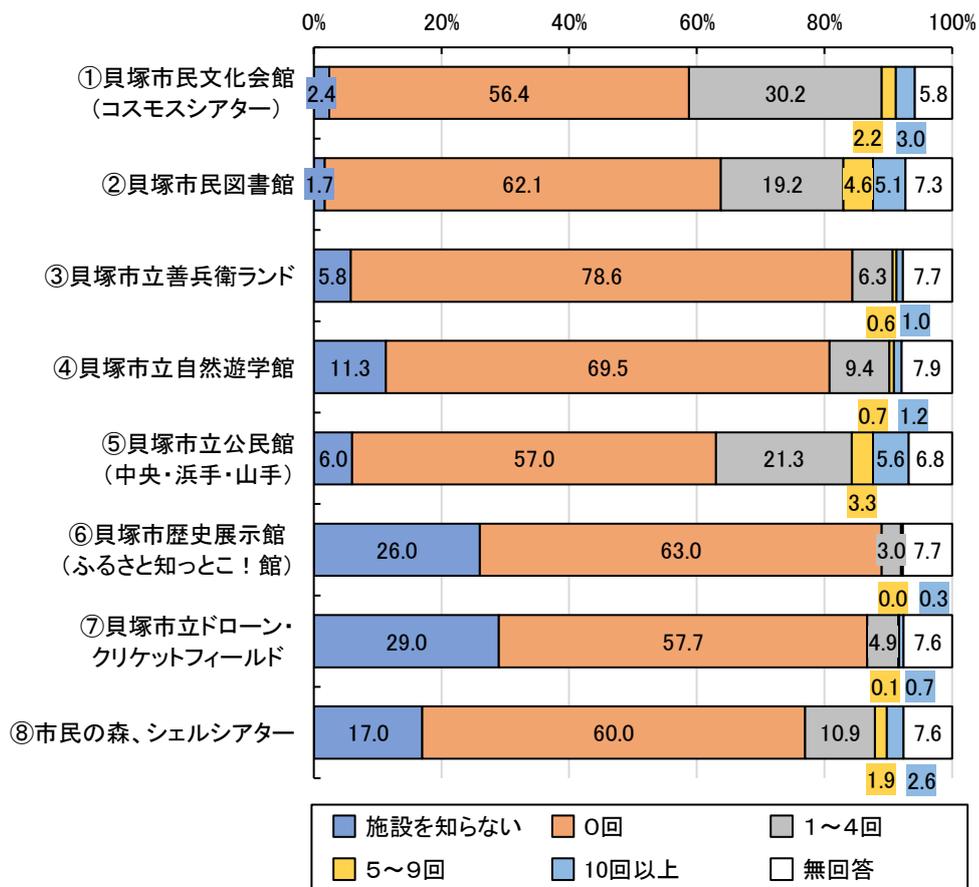
「公共交通サービスの充実」が57.0%と最も高く、次いで「道路や橋など交通網の整備」が43.7%、「下水道や排水路の整備」が36.1%となっています。



Q15 あなたは、令和4年中に市の施設等にどの程度行かれましたか(各施設における利用回数を
選択)

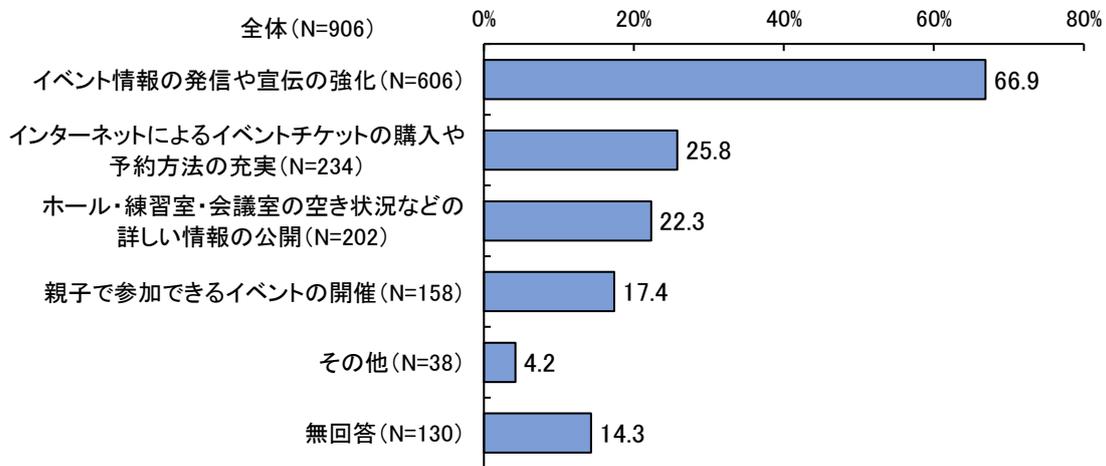
令和4年中に訪れた市の施設等の利用状況(「1~4回」「5~9回」「10回以上」の合計)は、「貝塚市民文化会館(コスモシアター)」が35.4%、「貝塚市民図書館」では28.9%、「貝塚市立善兵衛ランド」では7.9%、「貝塚市立自然遊学館」では11.3%、「貝塚市立公民館(中央・浜手・山手)」では30.2%、「貝塚市歴史展示館(ふるさと知っとこ!館)」では3.3%、「貝塚市立ドローン・クリケットフィールド」では5.7%、「市民の森、シェルシアター」では15.4%となっています。

一方、「施設を知らない」と回答された方が25%を超えた施設は、「貝塚市歴史展示館(ふるさと知っとこ!館)」26.0%、「貝塚市立ドローン・クリケットフィールド」29.0%と他の施設と比較して高い割合となっています。



Q16 貝塚市民文化会館（コスモシアター）をより利用していただくためには、どのようなものを求められますか(2つまで選択可能)

「イベント情報の発信や宣伝の強化」が66.9%と最も高く、次いで「インターネットによるイベントチケットの購入や予約方法の充実」が25.8%、「ホール・練習室・会議室の空き状況などの詳しい情報の公開」が22.3%となっています。



■貝塚市民文化会館をより利用していただくための方策(年代別割合)

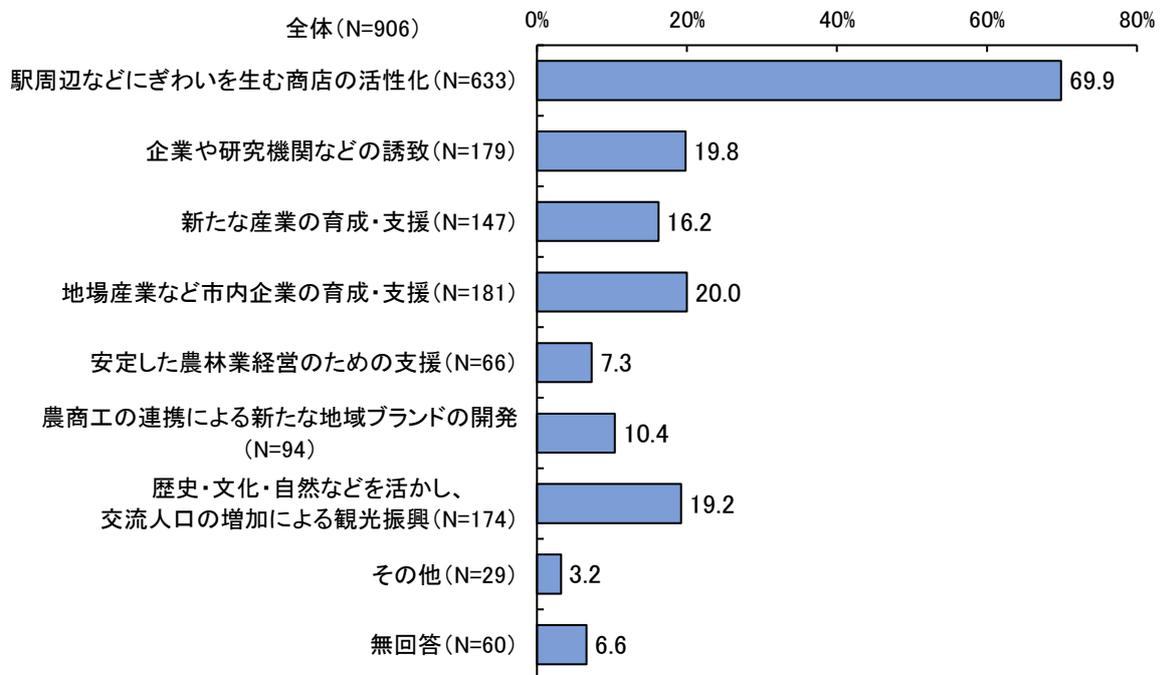
「イベント情報の発信や宣伝の強化」がいずれの年代でも高い割合となっており、イベント等の情報が届いていないことが考えられます。

全体 (N=906)	イベント情報の発信や宣伝の強化	インターネットによるイベントチケットの購入や予約方法の充実	ホール・練習室・会議室の空き状況などの詳しい情報の公開	親子で参加できるイベントの開催	その他	無回答
15～19歳 (N=23)	87.0	30.4	21.7	26.1	4.3	0.0
20歳代 (N=56)	57.1	32.1	28.6	32.1	1.8	8.9
30歳代 (N=68)	61.8	35.3	17.6	36.8	2.9	8.8
40歳代 (N=130)	62.3	40.0	27.7	25.4	5.4	5.4
50歳代 (N=159)	72.3	32.7	26.4	10.1	5.0	10.7
60歳代 (N=155)	76.8	25.2	21.9	10.3	4.5	9.7
70歳代 (N=175)	66.3	16.6	18.3	14.3	4.0	21.1
80歳以上 (N=105)	58.1	7.6	16.2	14.3	2.9	30.5
無回答 (N=35)	57.1	14.3	22.9	11.4	5.7	31.4

にぎわいのあるまちづくりについて

Q17 産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか(2つまで選択可能)

「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」が69.9%と最も高く、次いで「地場産業など市内企業の育成・支援」が20.0%、「企業や研究機関などの誘致」が19.8%となっています。



■産業振興・活性化のために力を入れるべきこと(年代別割合)

「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」がいずれの年代においても最も高くなっています。

全体(N=906)	駅周辺などに ぎわいを生む 商店の活性化	企業や研究機 関などの誘致	新たな産業の 育成・支援	地場産業など 市内企業の育 成・支援	安定した農林 業経営のため の支援	農商工の連携 による新たな 地域ブランド の開発	歴史・文化・自 然などを活か し、交流人口の 増加による観 光振興
15～19歳 (N=23)	87.0	17.4	17.4	0.0	8.7	17.4	26.1
20歳代(N=56)	82.1	12.5	19.6	14.3	17.9	7.1	5.4
30歳代(N=68)	76.5	19.1	20.6	19.1	8.8	4.4	17.6
40歳代(N=130)	76.2	23.8	17.7	23.1	6.2	13.8	16.9
50歳代(N=159)	64.2	22.0	17.0	20.1	9.4	6.9	23.3
60歳代(N=155)	68.4	26.5	16.8	17.4	7.7	12.3	15.5
70歳代(N=175)	68.6	14.3	16.0	23.4	4.6	12.0	23.4
80歳以上 (N=105)	63.8	12.4	9.5	21.9	3.8	9.5	23.8
無回答(N=35)	60.0	28.6	11.4	20.0	2.9	11.4	11.4

全体(N=906)	その他	無回答
15～19歳 (N=23)	0.0	4.3
20歳代(N=56)	5.4	1.8
30歳代(N=68)	2.9	2.9
40歳代(N=130)	4.6	1.5
50歳代(N=159)	3.8	5.0
60歳代(N=155)	1.3	4.5
70歳代(N=175)	2.9	9.7
80歳以上 (N=105)	2.9	15.2
無回答(N=35)	5.7	17.1

■産業振興・活性化のために力を入れるべきこと(校区別割合)

「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」がいずれの校区においても最も高くなっています。

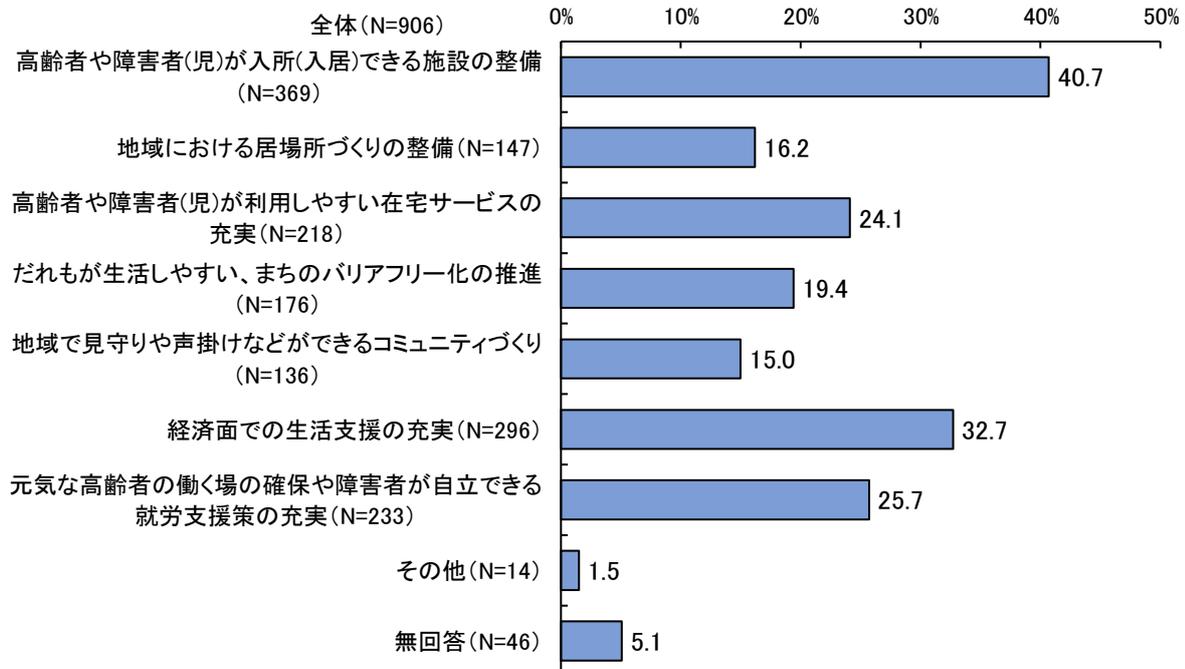
全体(N=906)	駅周辺などに ぎわいを生む 商店の活性化	企業や研究機 関などの誘致	新たな産業の 育成・支援	地場産業など 市内企業の育 成・支援	安定した農林 業経営のため の支援	農工商の連携 による新たな 地域ブランド の開発	歴史・文化・自 然などを活か し、交流人口の 増加による観 光振興
東小学校区 (N=96)	70.8	14.6	26.0	18.8	8.3	6.3	19.8
西小学校区 (N=122)	73.8	17.2	13.9	12.3	9.0	11.5	26.2
南小学校区 (N=135)	63.7	25.9	16.3	25.2	3.0	8.9	21.5
北小学校区 (N=79)	78.5	16.5	15.2	19.0	3.8	11.4	27.8
津田小学校区 (N=43)	79.1	18.6	14.0	14.0	9.3	2.3	14.0
中央小学校区 (N=120)	70.8	21.7	15.8	25.8	4.2	9.2	14.2
木島小学校区 (N=96)	67.7	17.7	14.6	18.8	8.3	10.4	16.7
東山小学校区 (N=31)	77.4	29.0	19.4	16.1	6.5	16.1	6.5
葛城小学校区 (N=33)	54.5	15.2	12.1	21.2	12.1	21.2	15.2
永寿小学校区 (N=10)	50.0	0.0	10.0	30.0	10.0	20.0	20.0
二色小学校区 (N=51)	72.5	23.5	9.8	15.7	9.8	15.7	25.5
不明(N=46)	71.7	15.2	21.7	21.7	21.7	8.7	13.0
無回答(N=44)	59.1	27.3	13.6	25.0	2.3	11.4	11.4

全体(N=906)	その他	無回答
東小学校区 (N=96)	3.1	8.3
西小学校区 (N=122)	3.3	4.9
南小学校区 (N=135)	2.2	5.2
北小学校区 (N=79)	1.3	8.9
津田小学校区 (N=43)	4.7	2.3
中央小学校区 (N=120)	3.3	5.0
木島小学校区 (N=96)	5.2	7.3
東山小学校区 (N=31)	3.2	3.2
葛城小学校区 (N=33)	3.0	12.1
永寿小学校区 (N=10)	10.0	20.0
二色小学校区 (N=51)	2.0	3.9
不明(N=46)	2.2	4.3
無回答(N=44)	4.5	15.9

いつまでも元気で、安全安心に暮らせるまちづくりについて

Q18 福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか(2つまで選択可能)

「高齢者や障害者(児)が入所(入居)できる施設の整備」が40.7%と最も高く、次いで「経済面での生活支援の充実」が32.7%、「元気な高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」が25.7%となっています。



■福祉を充実させるために力を入れるべきこと(年代別割合)

年代別で見ると、いずれの年代においても「高齢者や障害者(児)が入所(入居)できる施設の整備」が3～4割台となっており、30歳代以下では「経済面での生活支援の充実」が他の年代よりも高い割合となっています。

全体(N=906)	高齢者や障害者(児)が入所(入居)できる施設の整備	地域における居場所づくりの整備	高齢者や障害者(児)が利用しやすい在宅サービスの充実	だれもが生活しやすい、まちのバリアフリー化の推進	地域で見守りや声掛けなどができるコミュニティづくり	経済面での生活支援の充実	元気な高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実
15～19歳(N=23)	39.1	8.7	13.0	39.1	0.0	47.8	17.4
20歳代(N=56)	33.9	17.9	17.9	25.0	10.7	55.4	10.7
30歳代(N=68)	35.3	16.2	19.1	36.8	22.1	38.2	19.1
40歳代(N=130)	36.9	16.9	21.5	17.7	17.7	32.3	32.3
50歳代(N=159)	41.5	15.7	22.6	21.4	9.4	37.7	28.9
60歳代(N=155)	36.8	20.6	26.5	16.1	14.2	27.7	31.0
70歳代(N=175)	46.9	14.9	28.0	12.6	20.0	26.9	24.0
80歳以上(N=105)	48.6	12.4	30.5	21.0	13.3	23.8	20.0
無回答(N=35)	37.1	17.1	17.1	5.7	17.1	31.4	31.4

全体(N=906)	その他	無回答
15～19歳(N=23)	4.3	4.3
20歳代(N=56)	1.8	5.4
30歳代(N=68)	1.5	1.5
40歳代(N=130)	3.1	2.3
50歳代(N=159)	1.3	3.1
60歳代(N=155)	1.9	3.9
70歳代(N=175)	1.1	5.7
80歳以上(N=105)	0.0	10.5
無回答(N=35)	0.0	17.1

■福祉を充実させるために力を入れるべきこと(校區別割合)

校區別でみると、葛城小学校区、永寿小学校区では「高齢者や障害者(児)が利用しやすい在宅サービスの充実」の割合が他の地区よりも高い割合となっています。

全体(N=906)	高齢者や障害者(児)が入所(入居)できる施設の整備	地域における居場所づくりの整備	高齢者や障害者(児)が利用しやすい在宅サービスの充実	だれもが生活しやすい、まちのバリアフリー化の推進	地域で見守りや声掛けなどができるコミュニティづくり	経済面での生活支援の充実	元気な高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実
東小学校区(N=96)	41.7	11.5	27.1	17.7	15.6	36.5	31.3
西小学校区(N=122)	37.7	18.9	17.2	24.6	17.2	31.1	27.9
南小学校区(N=135)	39.3	13.3	25.9	20.7	16.3	33.3	31.9
北小学校区(N=79)	45.6	19.0	25.3	15.2	16.5	30.4	20.3
津田小学校区(N=43)	32.6	20.9	18.6	30.2	11.6	30.2	27.9
中央小学校区(N=120)	42.5	15.8	28.3	22.5	9.2	33.3	19.2
木島小学校区(N=96)	41.7	15.6	20.8	18.8	17.7	31.3	24.0
東山小学校区(N=31)	41.9	9.7	12.9	22.6	19.4	41.9	29.0
葛城小学校区(N=33)	36.4	15.2	39.4	9.1	18.2	27.3	21.2
永寿小学校区(N=10)	40.0	20.0	40.0	30.0	0.0	10.0	10.0
二色小学校区(N=51)	41.2	25.5	33.3	15.7	13.7	27.5	23.5
不明(N=46)	45.7	10.9	19.6	13.0	13.0	45.7	23.9
無回答(N=44)	40.9	20.5	15.9	9.1	15.9	29.5	27.3

全体(N=906)	その他	無回答
東小学校区(N=96)	1.0	3.1
西小学校区(N=122)	1.6	2.5
南小学校区(N=135)	0.0	3.7
北小学校区(N=79)	3.8	7.6
津田小学校区(N=43)	4.7	2.3
中央小学校区(N=120)	2.5	3.3
木島小学校区(N=96)	1.0	6.3
東山小学校区(N=31)	0.0	3.2
葛城小学校区(N=33)	0.0	9.1
永寿小学校区(N=10)	0.0	20.0
二色小学校区(N=51)	2.0	3.9
不明(N=46)	2.2	6.5
無回答(N=44)	0.0	15.9

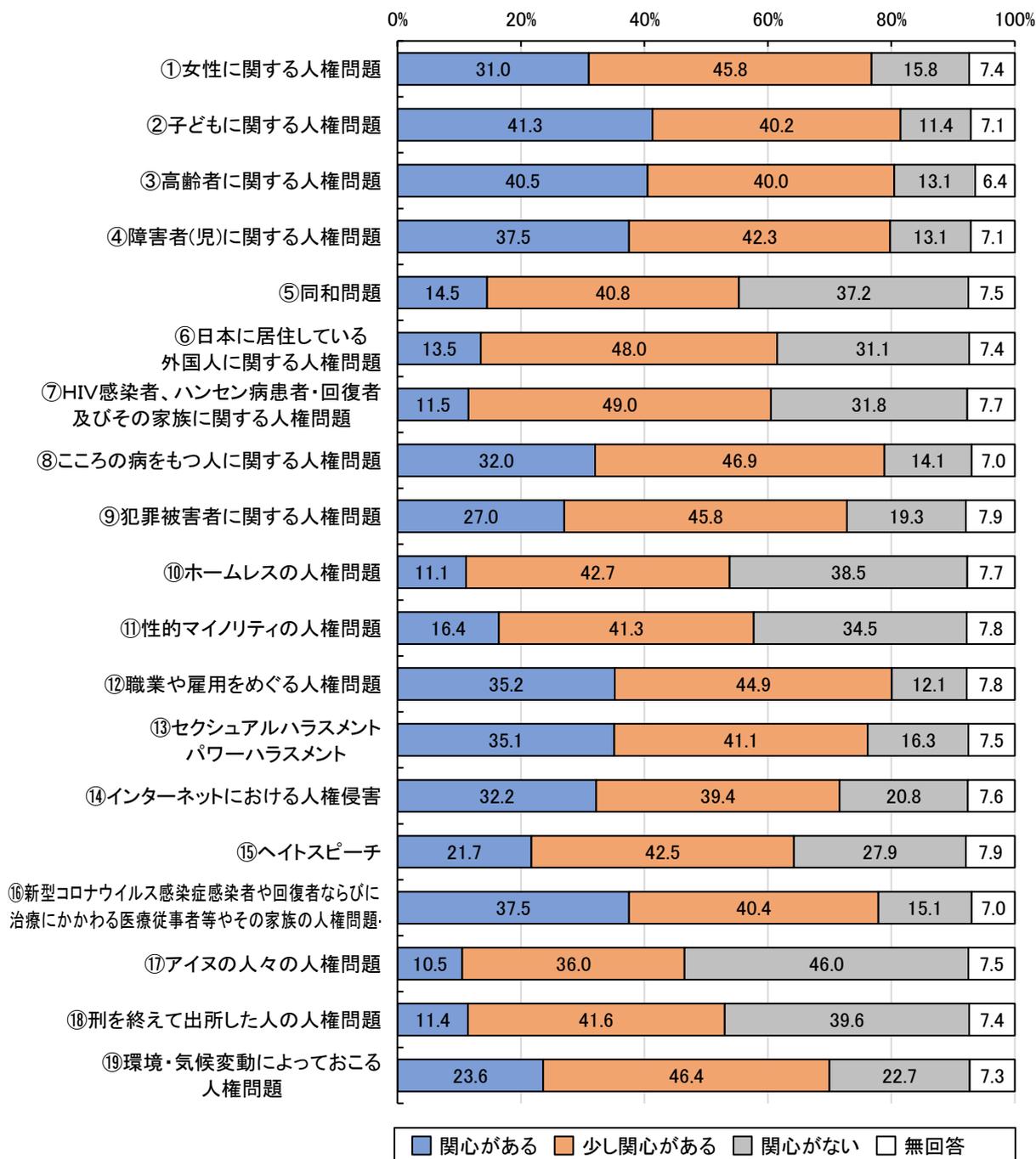
■福祉を充実させるために力を入れるべきこと(居留意向別割合)

全体 (N=906)	高齢者や障害者(児)が入所(入居)できる施設の整備	地域における居場所づくりの整備	高齢者や障害者(児)が利用しやすい在宅サービスの充実	だれもが生活しやすい、まちのバリアフリー化の推進	地域で見守りや声掛けなどができるコミュニティづくり	経済面での生活支援の充実	元気な高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実
住み続けたいと思う(N=572)	43.2	18.2	23.3	18.4	17.1	30.4	24.7
住み続けたいとは思わない(N=66)	33.3	10.6	25.8	31.8	9.1	37.9	28.8
どちらともいえない(N=228)	37.7	13.2	26.8	21.1	11.4	37.7	26.8
その他(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答(N=37)	37.8	16.2	18.9	5.4	16.2	29.7	29.7

全体 (N=906)	その他	無回答
住み続けたいと思う(N=572)	0.9	4.2
住み続けたいとは思わない(N=66)	3.0	4.5
どちらともいえない(N=228)	2.6	4.4
その他(N=3)	33.3	66.7
無回答(N=37)	0.0	18.9

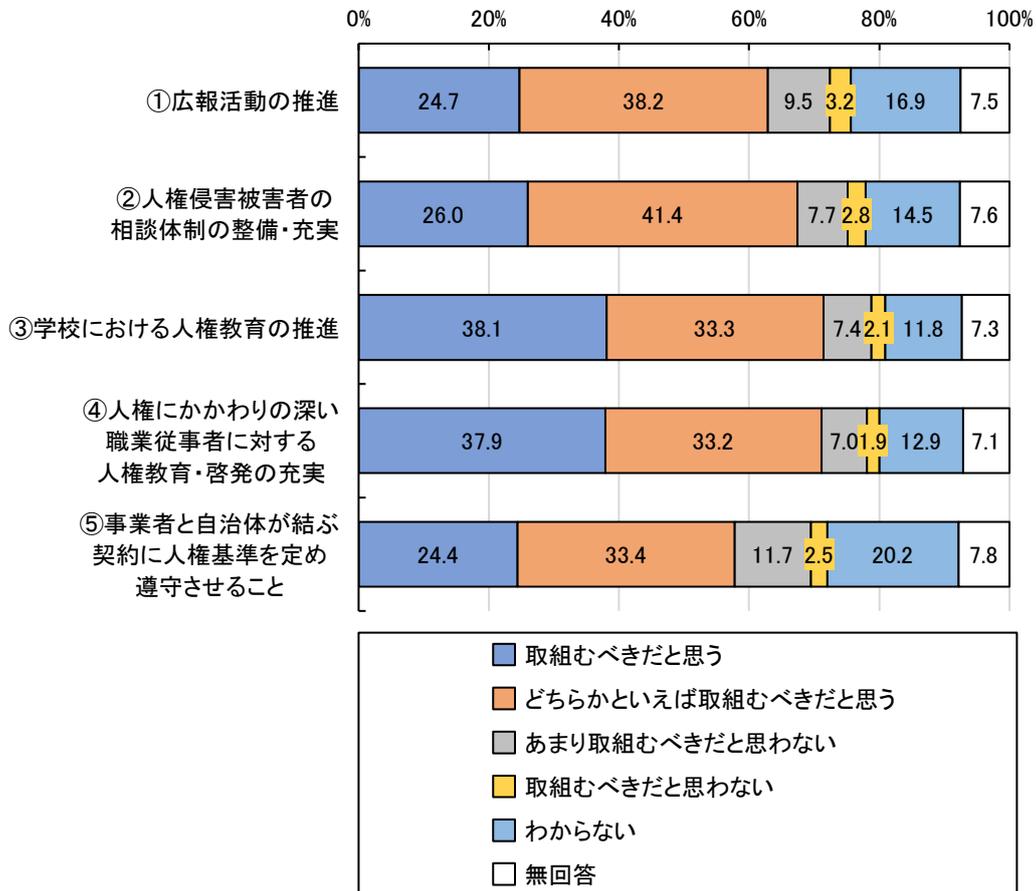
Q19 人権問題への関心の程度(①～⑱各項目それぞれ単数回答)

様々な人権問題について、アイヌの人々の人権問題を除いて5割以上の方が「関心あり」(「少し関心がある」「関心がある」の合計)と回答しています。特に子どもに関する人権問題、高齢者に関する人権問題、職業や雇用をめぐる人権問題では8割以上が「関心あり」となっています。



Q20 貝塚市が人権問題の解決に向けて取組むべきこと(単数回答)

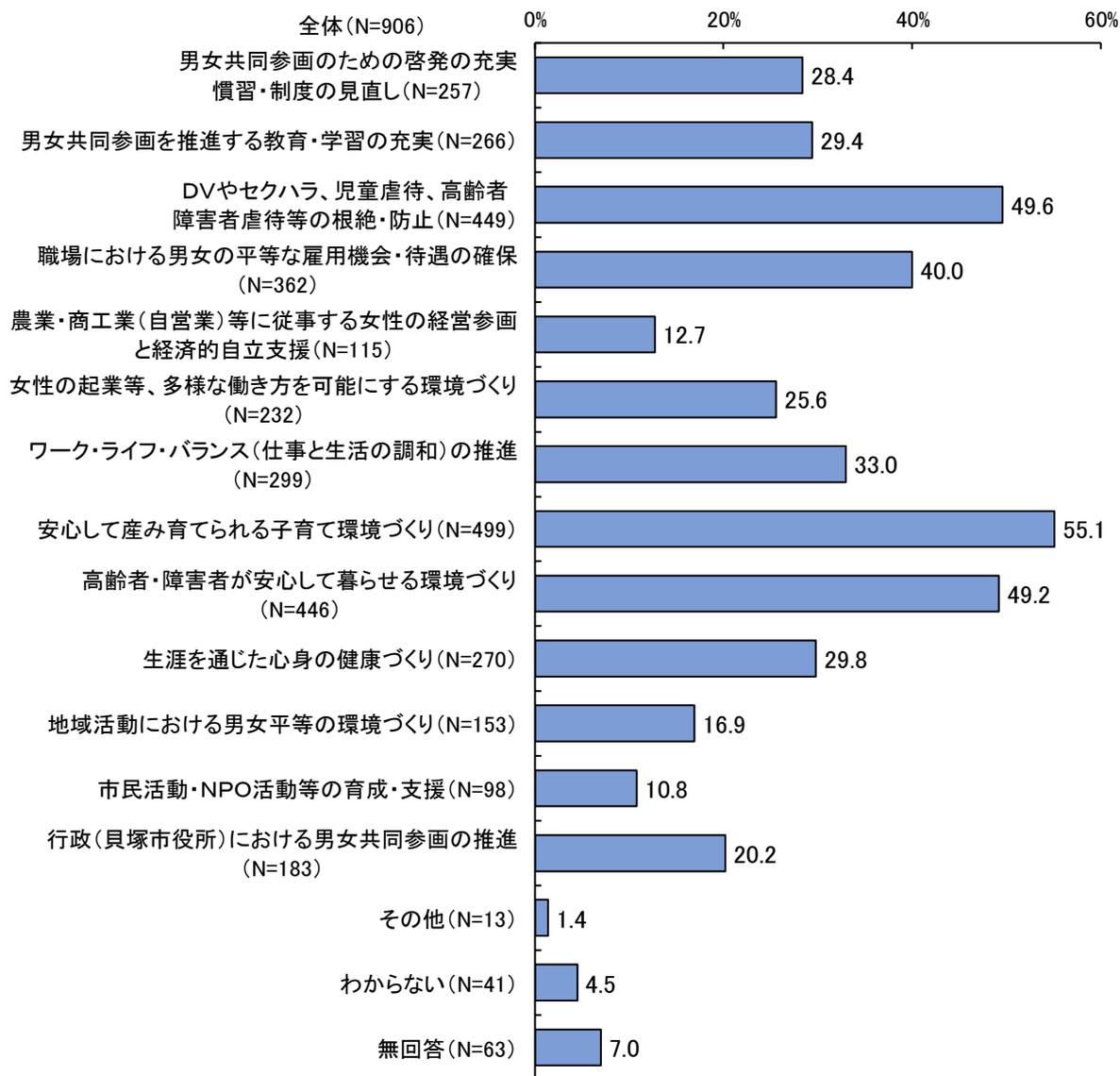
すべての項目において『取組むべき』(「どちらかといえば取組むべきだと思う」「取組むべきだと思う」の合計)が5割以上となっており、①広報活動の推進では62.9%、②人権侵害被害者の相談体制の整備・充実では67.4%、③学校における人権教育の推進では71.4%、④人権にかかわりの深い職業従事者に対する人権教育・啓発の充実では71.1%、⑤事業者と自治体が結ぶ契約に人権基準を定め遵守させることでは57.8%となっています。



※④の項目は【④市の職員や教職員、社会教育関係職員、保健・医療・福祉・介護関係者等、人権にかかわりの深い職業従事者に対する人権教育・啓発の充実】を省略しています。

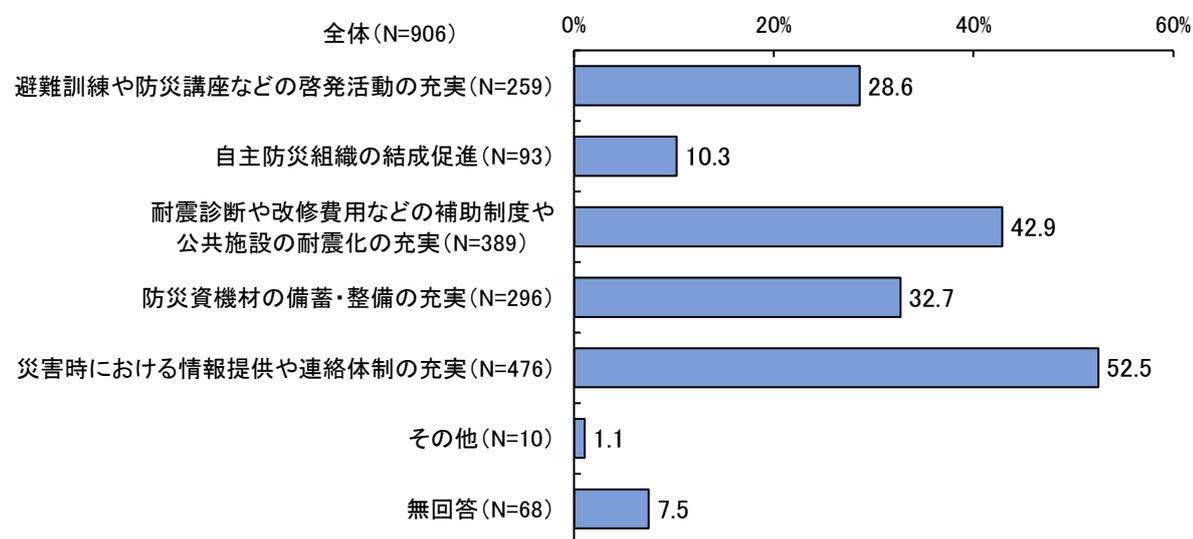
Q21 男女共同参画をすすめるために、貝塚市が特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか(あてはまるものすべて選択)

「安心して産み育てられる子育て環境づくり」が55.1%と最も高く、次いで「DVやセクハラ、児童虐待、高齢者、障害者虐待等の根絶・防止」が49.6%、「高齢者・障害者が安心して暮らせる環境づくり」が49.2%となっています。



Q22 防災に対する取組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか(2つまで選択可能)

「災害時における情報提供や連絡体制の充実」が52.5%と最も高く、次いで「耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実」が42.9%、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が32.7%となっています。



■防災に対する取組みとして力を入れるべきこと(年代別割合)

年代別でみると、15～19歳では「避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実」「防災資機材の備蓄・整備の充実」が、20歳代では「耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実」が、30歳代では「防災資機材の備蓄・整備の充実」がそれぞれ最も高くなっています。40歳代以上では「災害時における情報提供や連絡体制の充実」が5～6割台と最も高くなっています。

全体 (N=906)	避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実	自主防災組織の結成促進	耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実	防災資機材の備蓄・整備の充実	災害時における情報提供や連絡体制の充実	その他	無回答
15～19歳 (N=23)	52.2	13.0	43.5	52.2	26.1	0.0	4.3
20歳代 (N=56)	33.9	17.9	44.6	39.3	30.4	1.8	5.4
30歳代 (N=68)	39.7	8.8	48.5	50.0	39.7	0.0	1.5
40歳代 (N=130)	30.0	5.4	42.3	39.2	60.8	2.3	2.3
50歳代 (N=159)	26.4	8.8	47.8	32.7	57.9	1.3	4.4
60歳代 (N=155)	29.0	9.7	42.6	29.7	54.2	1.3	7.7
70歳代 (N=175)	22.9	16.0	44.0	26.3	53.1	0.6	8.6
80歳以上 (N=105)	26.7	8.6	34.3	20.0	59.0	0.0	17.1
無回答 (N=35)	20.0	2.9	31.4	34.3	45.7	2.9	22.9

■防災に対する取組みとして力を入れるべきこと(校區別割合)

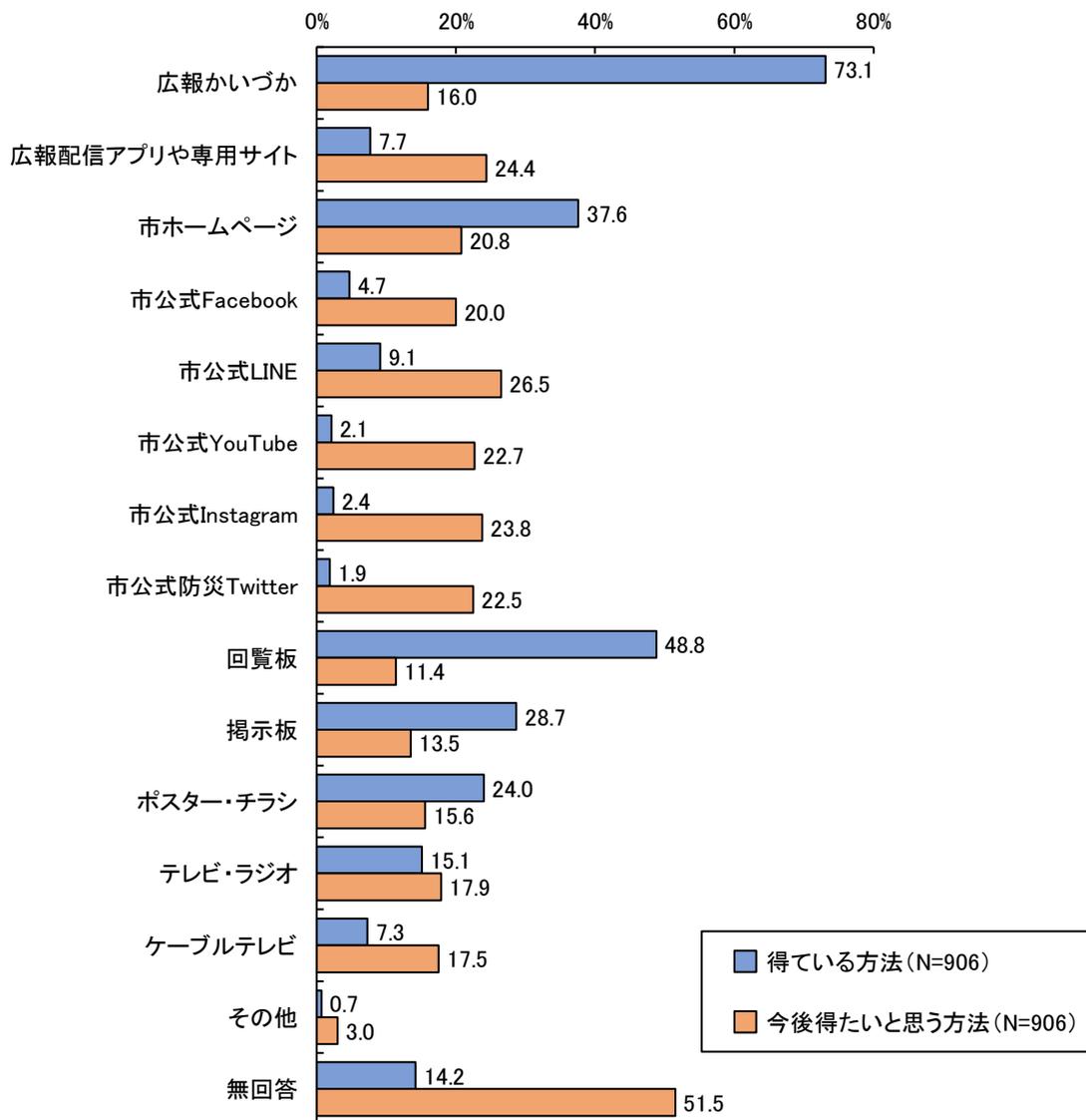
全体 (N=906)	避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実	自主防災組織の結成促進	耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実	防災資機材の備蓄・整備の充実	災害時における情報提供や連絡体制の充実	その他	無回答
東小学校区 (N=96)	26.0	11.5	43.8	36.5	57.3	1.0	7.3
西小学校区 (N=122)	32.0	11.5	44.3	32.8	47.5	2.5	6.6
南小学校区 (N=135)	25.2	11.9	44.4	31.9	59.3	0.0	3.7
北小学校区 (N=79)	32.9	10.1	45.6	22.8	45.6	2.5	15.2
津田小学校区 (N=43)	25.6	9.3	37.2	20.9	67.4	0.0	7.0
中央小学校区 (N=120)	28.3	6.7	41.7	32.5	51.7	1.7	6.7
木島小学校区 (N=96)	28.1	13.5	45.8	31.3	45.8	0.0	6.3
東山小学校区 (N=31)	32.3	6.5	54.8	45.2	48.4	0.0	3.2
葛城小学校区 (N=33)	27.3	9.1	36.4	42.4	45.5	3.0	9.1
永寿小学校区 (N=10)	40.0	20.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0
二色小学校区 (N=51)	21.6	11.8	45.1	41.2	58.8	0.0	3.9
不明 (N=46)	39.1	10.9	34.8	37.0	56.5	0.0	8.7
無回答 (N=44)	25.0	2.3	29.5	31.8	50.0	2.3	20.5

市からの情報について

Q23 どのような方法で情報を得ていますか(あてはまるものすべて選択)

「広報かいつか」が73.1%と最も高く、次いで「回覧板」が48.8%、「市ホームページ」が37.6%となっています。

また、今後得たいと思う方法では「市公式LINE」が26.5%と最も高く、次いで「広報配信アプリや専用サイト」が24.4%、「市公式Instagram」が23.8%となっています。



■情報を得ている方法(年代別割合)

年代別で見ると、各年代においてばらつきはあるものの、「広報配信アプリや専用サイト」「市公式LINE」「市公式YouTube」「市公式Instagram」「市公式防災Twitter」の割合が高くなっており、情報取得方法のデジタル化が進んでいます。

得ている方法 (N=906)	広報かいつか	広報アプリや 専用サイト	市 ホームページ	市公式 Facebook	市公式 LINE	市公式 YouTube	市公式 Instagram
15～19歳 (N=23)	39.1	13.0	30.4	13.0	17.4	8.7	8.7
20歳代(N=56)	35.7	8.9	30.4	1.8	3.6	3.6	1.8
30歳代(N=68)	54.4	5.9	47.1	10.3	8.8	1.5	1.5
40歳代(N=130)	71.5	10.0	56.2	12.3	17.7	2.3	6.2
50歳代(N=159)	78.0	11.3	50.3	6.3	13.8	3.8	3.1
60歳代(N=155)	80.6	6.5	43.2	0.0	4.5	0.6	1.3
70歳代(N=175)	85.7	4.6	22.9	1.7	4.0	1.7	0.6
80歳以上 (N=105)	77.1	1.9	14.3	1.0	3.8	1.0	1.0
無回答(N=35)	65.7	20.0	28.6	5.7	20.0	0.0	2.9

得ている方法 (N=906)	市公式 防災Twitter	回覧板	掲示板	ポスター チラシ	テレビ ラジオ	ケーブル テレビ	その他	無回答
15～19歳 (N=23)	4.3	34.8	26.1	34.8	30.4	8.7	0.0	26.1
20歳代(N=56)	3.6	19.6	16.1	14.3	10.7	7.1	0.0	30.4
30歳代(N=68)	1.5	23.5	16.2	17.6	2.9	4.4	0.0	19.1
40歳代(N=130)	1.5	41.5	20.8	20.8	4.6	5.4	2.3	9.2
50歳代(N=159)	2.5	44.0	25.8	18.9	10.7	6.3	0.0	11.3
60歳代(N=155)	0.6	62.6	34.8	22.6	14.8	7.1	0.0	11.6
70歳代(N=175)	1.1	64.0	40.6	38.3	22.9	11.4	1.1	9.1
80歳以上 (N=105)	3.8	58.1	31.4	21.0	28.6	7.6	1.0	19.0
無回答(N=35)	0.0	37.1	22.9	22.9	17.1	2.9	0.0	25.7

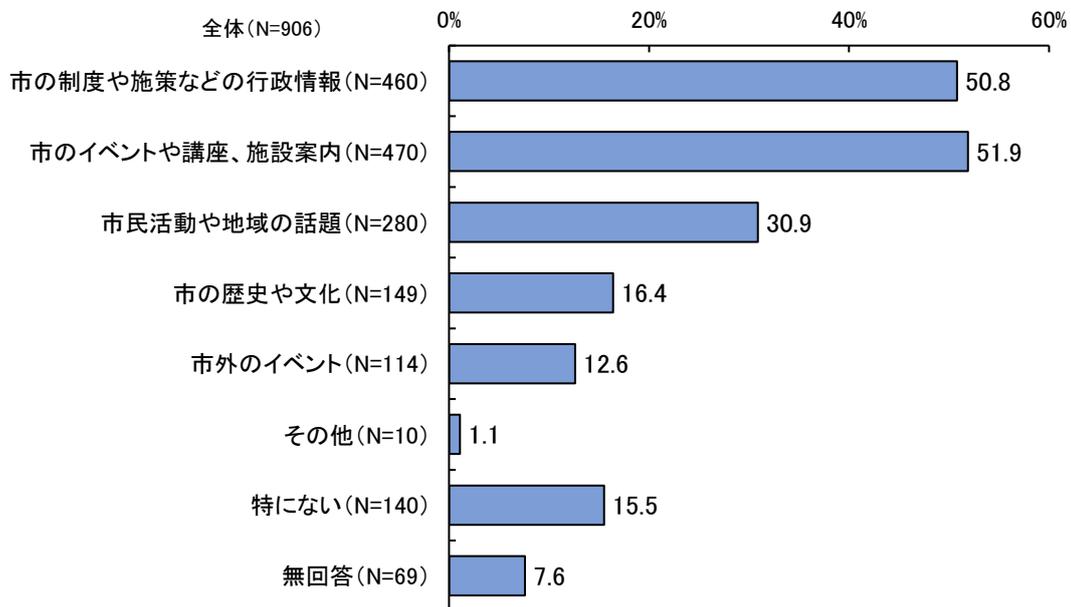
■今後情報を得たいと思う方法(年代別割合)

今後得たいと思う方法(N=906)	広報かいつか	広報アプリや専用サイト	市ホームページ	市公式Facebook	市公式LINE	市公式YouTube	市公式Instagram
15～19歳(N=23)	43.5	47.8	43.5	43.5	43.5	43.5	47.8
20歳代(N=56)	30.4	30.4	28.6	30.4	37.5	26.8	37.5
30歳代(N=68)	27.9	30.9	20.6	27.9	39.7	33.8	41.2
40歳代(N=130)	18.5	27.7	18.5	16.2	32.3	22.3	26.2
50歳代(N=159)	16.4	23.3	22.6	18.2	22.0	23.3	21.4
60歳代(N=155)	11.0	25.8	23.2	23.2	29.0	24.5	21.9
70歳代(N=175)	7.4	21.1	17.7	17.7	21.1	19.4	18.3
80歳以上(N=105)	14.3	14.3	12.4	11.4	12.4	11.4	11.4
無回答(N=35)	11.4	20.0	22.9	17.1	28.6	22.9	28.6

今後得たいと思う方法(N=906)	市公式防災Twitter	回覧板	掲示板	ポスターチラシ	テレビラジオ	ケーブルテレビ	その他	無回答
15～19歳(N=23)	52.2	39.1	52.2	34.8	26.1	39.1	8.7	34.8
20歳代(N=56)	33.9	21.4	17.9	17.9	23.2	23.2	8.9	39.3
30歳代(N=68)	30.9	17.6	20.6	23.5	26.5	26.5	7.4	35.3
40歳代(N=130)	26.9	9.2	15.4	18.5	17.7	16.9	3.8	45.4
50歳代(N=159)	22.0	10.1	15.7	17.0	18.9	16.4	3.1	51.6
60歳代(N=155)	20.6	9.0	10.3	14.2	14.2	18.7	1.3	47.1
70歳代(N=175)	18.3	8.6	5.1	8.6	14.9	14.3	1.1	62.3
80歳以上(N=105)	9.5	10.5	11.4	13.3	18.1	11.4	1.0	65.7
無回答(N=35)	22.9	5.7	11.4	14.3	14.3	14.3	0.0	60.0

Q24 広報かいつかの掲載内容について充実してほしいと思うものをお答えください(あてはまるものすべて選択)

「市のイベントや講座、施設案内」が 51.9%と最も高く、次いで「市の制度や施策などの行政情報」が 50.8%、「市民活動や地域の話題」が 30.9%となっています。



■広報かいつかの掲載内容の充実について(年代別割合)

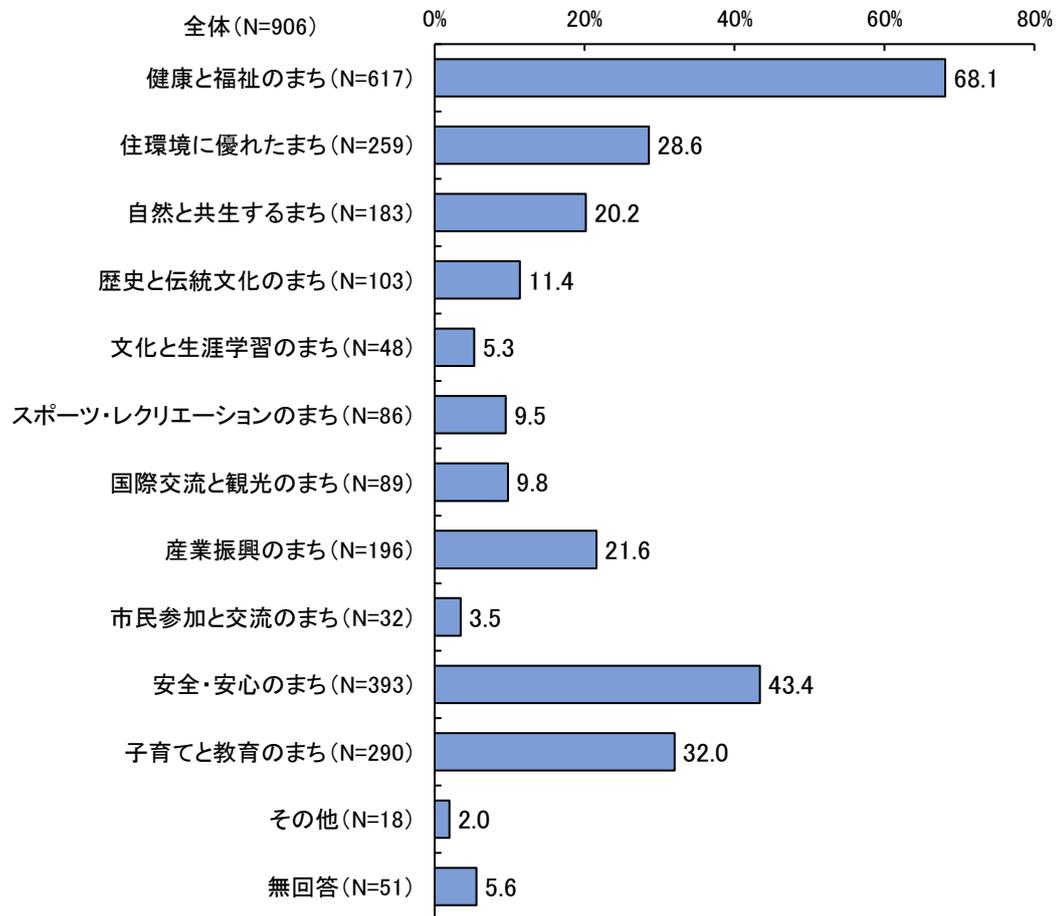
「市の制度や施策などの行政情報」「市のイベントや講座、施設案内」がいずれの校区においても高くなっています。

年代	市の制度や施策などの行政情報	市のイベントや講座、施設案内	市民活動や地域の話題	市の歴史や文化	市外のイベント	その他	特にない	無回答
全体 (N=906)								
15～19歳 (N=23)	47.8	47.8	21.7	21.7	26.1	0.0	17.4	0.0
20歳代 (N=56)	41.1	42.9	25.0	10.7	16.1	0.0	19.6	5.4
30歳代 (N=68)	45.6	57.4	26.5	11.8	8.8	0.0	16.2	5.9
40歳代 (N=130)	58.5	58.5	33.8	13.8	16.2	2.3	13.8	5.4
50歳代 (N=159)	47.2	57.2	23.9	13.8	11.9	1.3	17.0	4.4
60歳代 (N=155)	53.5	59.4	31.6	18.7	13.5	0.0	12.9	5.8
70歳代 (N=175)	56.0	50.3	40.0	18.9	10.9	2.3	12.6	10.9
80歳以上 (N=105)	44.8	33.3	32.4	21.9	7.6	1.0	18.1	14.3
無回答 (N=35)	45.7	40.0	22.9	14.3	14.3	0.0	22.9	14.3

貝塚市のまちづくりの方向性について

Q25 これからの貝塚市をどのようなまちにしたいですか(3つまで選択可能)

「健康と福祉のまち」が68.1%と最も高く、次いで「安全・安心のまち」が43.4%、「子育てと教育のまち」が32.0%となっています。



■貝塚市のまちづくりの方向性について(年代別割合)

年代別にみると、すべての年齢層において子どもからお年寄りまで、健康に暮らせて福祉が充実した「健康と福祉のまち」が高い割合となっており、20歳代から40歳代においては、子育てと教育環境が充実した「子育てと教育のまち」がおよそ5割～6割と他の年齢層よりも高い割合となっています。

全体(N=906)	健康と福祉のまち	住環境に優れたまち	自然と共生するまち	歴史と伝統文化のまち	文化と生涯学習のまち	スポーツ・レクリエーションのまち	国際交流と観光のまち
15～19歳(N=23)	52.2	26.1	21.7	13.0	13.0	8.7	34.8
20歳代(N=56)	58.9	33.9	25.0	12.5	0.0	17.9	8.9
30歳代(N=68)	63.2	35.3	27.9	7.4	4.4	4.4	13.2
40歳代(N=130)	60.8	38.5	23.1	10.8	3.1	10.8	11.5
50歳代(N=159)	65.4	29.6	21.4	10.7	4.4	9.4	9.4
60歳代(N=155)	76.8	31.0	18.7	9.0	6.5	11.0	8.4
70歳代(N=175)	72.6	20.0	18.3	11.4	8.6	7.4	8.0
80歳以上(N=105)	72.4	20.0	14.3	17.1	3.8	7.6	8.6
無回答(N=35)	68.6	25.7	14.3	14.3	5.7	11.4	2.9

全体(N=906)	産業振興のまち	市民参加と交流のまち	安全・安心のまち	子育てと教育のまち	その他	無回答
15～19歳(N=23)	17.4	4.3	34.8	17.4	4.3	0.0
20歳代(N=56)	12.5	3.6	23.2	53.6	1.8	3.6
30歳代(N=68)	11.8	2.9	41.2	63.2	1.5	1.5
40歳代(N=130)	16.9	0.8	40.0	49.2	3.1	4.6
50歳代(N=159)	23.9	3.1	42.1	27.0	3.8	5.0
60歳代(N=155)	23.9	1.9	49.7	27.7	1.3	4.5
70歳代(N=175)	24.6	6.9	50.9	21.7	1.7	6.9
80歳以上(N=105)	28.6	4.8	43.8	15.2	0.0	10.5
無回答(N=35)	20.0	2.9	37.1	25.7	0.0	11.4

■貝塚市のまちづくりの方向性について(校区别割合)

全体(N=906)	健康と福祉の まち	住環境に 優れたまち	自然と 共生するまち	歴史と伝統 文化のまち	文化と生涯 学習のまち	スポーツ・レク リエーションの まち	国際交流と 観光のまち
東小学校区 (N=96)	70.8	26.0	15.6	14.6	3.1	5.2	7.3
西小学校区 (N=122)	64.8	34.4	28.7	8.2	3.3	13.1	9.0
南小学校区 (N=135)	70.4	26.7	20.7	9.6	12.6	8.1	7.4
北小学校区 (N=79)	73.4	29.1	15.2	25.3	2.5	6.3	8.9
津田小学校区 (N=43)	58.1	32.6	25.6	14.0	7.0	11.6	7.0
中央小学校区 (N=120)	65.8	28.3	16.7	7.5	5.8	10.8	15.8
木島小学校区 (N=96)	65.6	24.0	18.8	7.3	3.1	13.5	11.5
東山小学校区 (N=31)	64.5	19.4	6.5	3.2	3.2	12.9	12.9
葛城小学校区 (N=33)	75.8	21.2	15.2	21.2	0.0	3.0	3.0
永寿小学校区 (N=10)	70.0	30.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0
二色小学校区 (N=51)	76.5	43.1	29.4	9.8	7.8	9.8	11.8
不明(N=46)	58.7	30.4	30.4	10.9	4.3	0.0	19.6
無回答(N=44)	72.7	22.7	15.9	11.4	4.5	13.6	2.3

全体(N=906)	産業振興の まち	市民参加と 交流のまち	安全・安心の まち	子育てと 教育のまち	その他	無回答
東小学校区 (N=96)	28.1	3.1	42.7	38.5	3.1	7.3
西小学校区 (N=122)	17.2	3.3	38.5	24.6	0.8	6.6
南小学校区 (N=135)	20.0	4.4	46.7	33.3	0.7	3.0
北小学校区 (N=79)	32.9	3.8	43.0	29.1	2.5	8.9
津田小学校区 (N=43)	14.0	7.0	46.5	25.6	0.0	4.7
中央小学校区 (N=120)	16.7	4.2	39.2	28.3	4.2	3.3
木島小学校区 (N=96)	24.0	3.1	44.8	39.6	5.2	5.2
東山小学校区 (N=31)	19.4	0.0	45.2	64.5	0.0	3.2
葛城小学校区 (N=33)	18.2	3.0	42.4	27.3	0.0	12.1
永寿小学校区 (N=10)	40.0	0.0	50.0	10.0	0.0	0.0
二色小学校区 (N=51)	17.6	3.9	45.1	37.3	2.0	2.0
不明(N=46)	21.7	2.2	52.2	26.1	0.0	6.5
無回答(N=44)	25.0	2.3	40.9	25.0	0.0	11.4

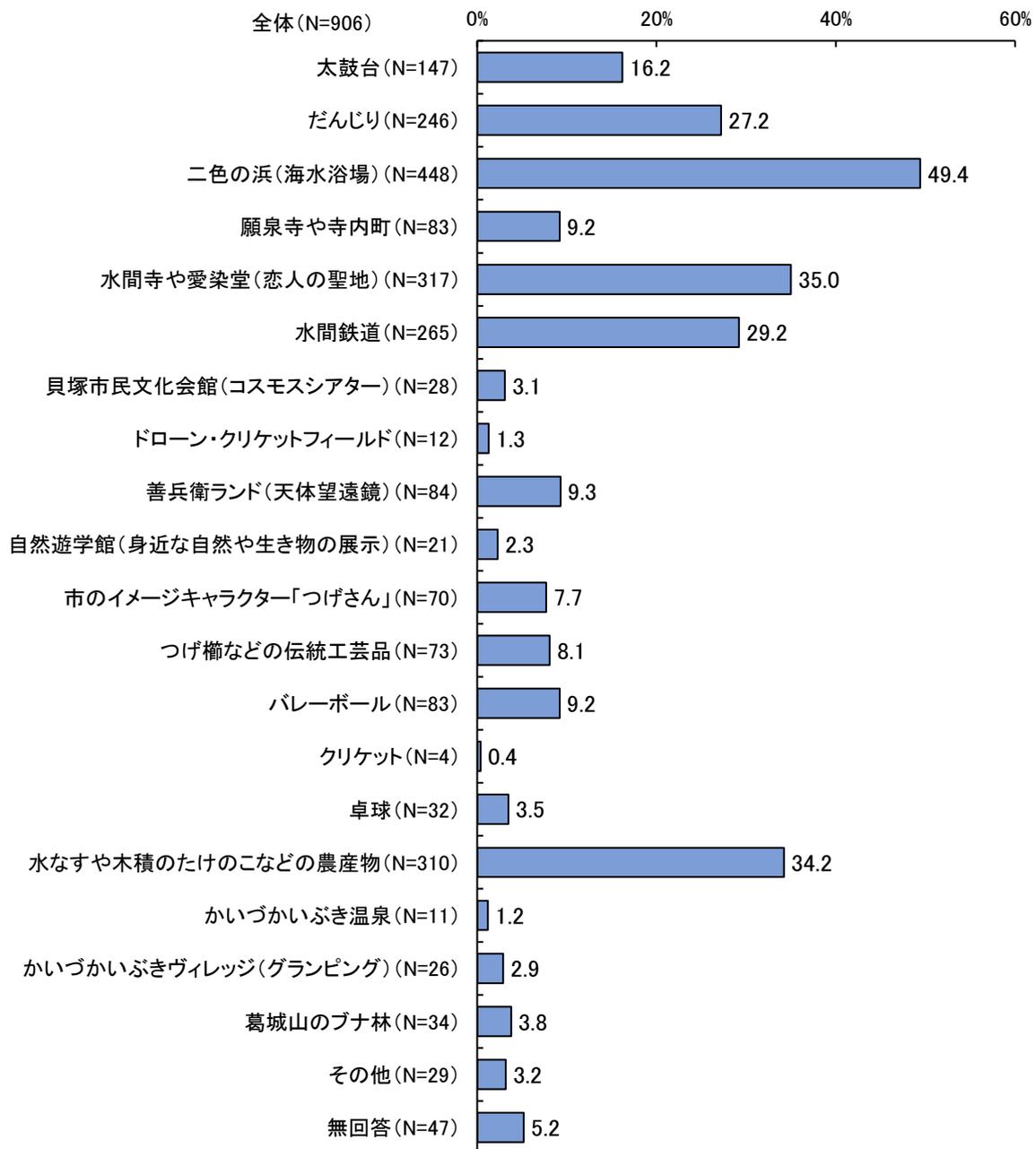
■貝塚市のまちづくりの方向性について(定住意向別割合)

全体(N=906)	健康と福祉の まち	住環境に 優れたまち	自然と 共生するまち	歴史と伝統 文化のまち	文化と生涯 学習のまち	スポーツ・レク リエーションの まち	国際交流と 観光のまち
住み続けたいと 思う(N=572)	71.7	25.9	21.0	12.8	5.1	8.4	9.4
住み続けたいと は思わない (N=66)	53.0	34.8	10.6	6.1	3.0	15.2	18.2
どちらともいえ ない(N=228)	63.6	34.2	22.4	8.8	6.1	10.5	9.6
その他(N=3)	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
無回答(N=37)	70.3	24.3	13.5	13.5	5.4	10.8	2.7

全体(N=906)	産業振興の まち	市民参加と 交流のまち	安全・安心の まち	子育てと 教育のまち	その他	無回答
住み続けたいと 思う(N=572)	22.0	3.7	45.3	34.1	1.6	5.9
住み続けたいと は思わない (N=66)	16.7	1.5	39.4	28.8	6.1	4.5
どちらともいえ ない(N=228)	22.4	3.1	41.7	29.4	1.8	3.9
その他(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
無回答(N=37)	21.6	5.4	35.1	24.3	0.0	10.8

Q26 貝塚市のことをあまり知らない人に紹介するとき、どのようなことを話題にしますか。あるいは、貝塚市を象徴するものは何だと思いますか(〇は3つまで)

「二色の浜(海水浴場)」が49.4%と最も高く、次いで「水間寺や愛染堂(恋人の聖地)」が35.0%、「水なすや木積のたけのこなどの農産物」が34.2%となっています。



■貝塚市を紹介する時の話題や貝塚市を象徴するもの(年代別割合)

年代別にみると、70歳代以下において「二色の浜(海水浴場)」が最も高く、30歳代以下では「だんじり」が、40歳代では「水間鉄道」が、50歳代では「水間寺や愛染堂(恋人の聖地)」が、60歳代以上では「水なすや木積のたけのこなどの農産物」の割合が比較的高くなっています。

全体(N=906)	太鼓台	だんじり	二色の浜(海水浴場)	願泉寺や寺内町	水間寺や愛染堂(恋人の聖地)	水間鉄道	貝塚市民文化会館(コスモシアター)
15~19歳(N=23)	26.1	43.5	47.8	0.0	34.8	8.7	8.7
20歳代(N=56)	19.6	42.9	60.7	3.6	23.2	25.0	0.0
30歳代(N=68)	22.1	44.1	66.2	2.9	22.1	30.9	0.0
40歳代(N=130)	18.5	32.3	59.2	1.5	34.6	37.7	1.5
50歳代(N=159)	10.1	22.0	54.7	5.0	41.5	32.7	3.1
60歳代(N=155)	15.5	20.6	54.8	10.3	35.5	23.2	1.9
70歳代(N=175)	17.7	20.6	37.1	17.7	34.9	26.9	5.7
80歳以上(N=105)	16.2	27.6	31.4	18.1	40.0	35.2	5.7
無回答(N=35)	8.6	22.9	31.4	8.6	34.3	20.0	0.0

全体(N=906)	ドローン・クリケットフィールド	善兵衛ランド(天体望遠鏡)	自然遊学館(身近な自然や生き物の展示)	市のイメージキャラクター「つげさん」	つげ櫛などの伝統工芸品	バレーボール	クリケット
15~19歳(N=23)	4.3	13.0	8.7	21.7	8.7	8.7	0.0
20歳代(N=56)	1.8	3.6	1.8	12.5	8.9	5.4	1.8
30歳代(N=68)	0.0	7.4	2.9	22.1	4.4	10.3	0.0
40歳代(N=130)	1.5	5.4	2.3	13.8	4.6	6.2	0.8
50歳代(N=159)	1.9	8.8	1.9	3.8	6.3	7.5	0.0
60歳代(N=155)	1.9	5.8	0.6	5.2	7.7	12.9	1.3
70歳代(N=175)	1.1	14.3	3.4	4.0	10.3	9.7	0.0
80歳以上(N=105)	0.0	13.3	2.9	1.9	13.3	10.5	0.0
無回答(N=35)	0.0	14.3	0.0	5.7	8.6	8.6	0.0

全体(N=906)	卓球	水なすや木積のたけのこなどの農産物	かいづかいづき温泉	かいづかいづきヴィレッジ(グランピング)	葛城山のブナ林	その他	無回答
15~19歳(N=23)	4.3	21.7	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0
20歳代(N=56)	0.0	16.1	1.8	5.4	1.8	1.8	3.6
30歳代(N=68)	4.4	30.9	1.5	5.9	1.5	2.9	1.5
40歳代(N=130)	0.8	28.5	0.8	2.3	0.0	3.1	4.6
50歳代(N=159)	4.4	37.1	1.3	1.3	2.5	5.7	3.8
60歳代(N=155)	4.5	36.1	0.0	3.9	3.9	3.9	3.2
70歳代(N=175)	4.0	37.1	1.1	2.3	6.9	2.3	6.9
80歳以上(N=105)	3.8	43.8	2.9	1.0	7.6	1.0	9.5
無回答(N=35)	5.7	34.3	0.0	5.7	5.7	2.9	14.3

■貝塚市を紹介する時の話題や貝塚市を象徴するもの(校區別割合)

校區別でみると、東小学校区では「だんじり」、西小学校区では「二色の浜（海水浴場）」、南小学校区では「二色の浜（海水浴場）」、北小学校区では「太鼓台」、津田小学校区では「二色の浜（海水浴場）」、中央小学校区では「二色の浜（海水浴場）」、木島小学校区では「水間寺や愛染堂（恋人の聖地）」、東山小学校区では「二色の浜（海水浴場）」「水間寺や愛染堂（恋人の聖地）」、葛城小学校区では「水間寺や愛染堂（恋人の聖地）」、永寿小学校区では「水間寺や愛染堂（恋人の聖地）」、二色小学校区では「二色の浜（海水浴場）」がそれぞれ高い割合となっています。

全体(N=906)	太鼓台	だんじり	二色の浜(海水浴場)	願泉寺や寺内町	水間寺や愛染堂(恋人の聖地)	水間鉄道	貝塚市民文化会館(コスモシアター)
東小学校区(N=96)	24.0	52.1	42.7	4.2	28.1	19.8	6.3
西小学校区(N=122)	13.1	17.2	72.1	8.2	25.4	22.1	1.6
南小学校区(N=135)	11.1	30.4	61.5	7.4	41.5	25.9	2.2
北小学校区(N=79)	46.8	20.3	45.6	32.9	20.3	21.5	8.9
津田小学校区(N=43)	18.6	25.6	53.5	9.3	32.6	20.9	2.3
中央小学校区(N=120)	12.5	25.8	41.7	8.3	40.8	39.2	2.5
木島小学校区(N=96)	12.5	30.2	25.0	9.4	50.0	45.8	1.0
東山小学校区(N=31)	9.7	22.6	45.2	3.2	45.2	41.9	0.0
葛城小学校区(N=33)	6.1	33.3	15.2	0.0	57.6	30.3	0.0
永寿小学校区(N=10)	10.0	10.0	20.0	10.0	50.0	40.0	0.0
二色小学校区(N=51)	7.8	3.9	78.4	5.9	27.5	25.5	3.9
不明(N=46)	10.9	37.0	58.7	0.0	21.7	39.1	6.5
無回答(N=44)	13.6	20.5	34.1	11.4	31.8	20.5	0.0

全体 (N=906)	ドローン・クリケットフィールド	善兵衛ランド (天体望遠鏡)	自然遊学館 (身近な自然や生き物の展示)	市のイメージキャラクター「つげさん」	つげ櫛などの伝統工芸品	バレーボール	クリケット
東小学校区 (N=96)	2.1	8.3	1.0	3.1	7.3	20.8	0.0
西小学校区 (N=122)	2.5	8.2	5.7	5.7	9.0	6.6	0.0
南小学校区 (N=135)	3.0	5.9	1.5	11.9	8.1	8.9	0.7
北小学校区 (N=79)	0.0	6.3	2.5	6.3	6.3	6.3	1.3
津田小学校区 (N=43)	0.0	4.7	2.3	11.6	9.3	11.6	0.0
中央小学校区 (N=120)	0.8	10.0	2.5	6.7	5.0	10.8	0.0
木島小学校区 (N=96)	1.0	10.4	2.1	8.3	11.5	4.2	0.0
東山小学校区 (N=31)	0.0	19.4	0.0	3.2	0.0	12.9	0.0
葛城小学校区 (N=33)	0.0	12.1	0.0	3.0	12.1	6.1	0.0
永寿小学校区 (N=10)	0.0	30.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0
二色小学校区 (N=51)	0.0	7.8	3.9	15.7	11.8	9.8	2.0
不明 (N=46)	2.2	13.0	2.2	10.9	4.3	2.2	2.2
無回答 (N=44)	0.0	13.6	0.0	4.5	9.1	9.1	0.0

全体 (N=906)	卓球	水なすや木積のたけのこなどの農産物	かいづかいぶき温泉	かいづかいぶきヴィレッジ (グランピング)	葛城山のブナ林	その他	無回答
東小学校区 (N=96)	8.3	26.0	0.0	2.1	2.1	5.2	6.3
西小学校区 (N=122)	2.5	40.2	0.8	2.5	3.3	5.7	5.7
南小学校区 (N=135)	0.7	29.6	0.7	0.7	4.4	4.4	1.5
北小学校区 (N=79)	3.8	40.5	1.3	1.3	2.5	3.8	7.6
津田小学校区 (N=43)	11.6	44.2	7.0	2.3	11.6	2.3	7.0
中央小学校区 (N=120)	1.7	38.3	0.8	3.3	2.5	0.8	3.3
木島小学校区 (N=96)	2.1	29.2	3.1	3.1	4.2	2.1	3.1
東山小学校区 (N=31)	9.7	22.6	0.0	9.7	0.0	3.2	6.5
葛城小学校区 (N=33)	0.0	54.5	0.0	12.1	12.1	0.0	9.1
永寿小学校区 (N=10)	0.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
二色小学校区 (N=51)	3.9	33.3	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0
不明 (N=46)	2.2	26.1	2.2	2.2	0.0	0.0	8.7
無回答 (N=44)	4.5	34.1	0.0	4.5	4.5	4.5	13.6

自由意見・提言

Q27. 貝塚市のまちづくりや行政についてのご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください

自由回答にて、239名よりご意見をいただきました。

まちの活性化、交通、行政サービス、福祉、教育、アンケートの6つの大項目に分けて整理しています。なお、個人を特定することができるご意見等については割愛させていただきました。

◇◆◇ まちの活性化 ◇◆◇

駅前周辺整備

- 南海貝塚駅東口周辺の駅前整備をすべきである。
- 南海貝塚駅西口の駐車場の整備をすべきである（TAXI 優先）。
- 南海線貝塚駅前の活性化（他5件）
- 貝塚駅は急行が停まる駅なのに、活気がないと別地域の方々に言われます。
- 駅（東口）周辺から整備して欲しいと思います。
- 南海貝塚駅周辺整備、道路拡大拡充、JR・南海線共に高架整備。
- 駅東出口（南海）の早期の再開発。
- 駅前整備も早期でお願いしたい。
- 南海貝塚駅前を元気な貝塚にふさわしい玄関にして欲しいです。
- 南海貝塚駅前商店街がびっくりするほど廃れている。もっと活気ある街づくりをしてほしい。
- 貝塚駅周辺に空き地・店舗が目立ちます。その辺りを再開発まで視野を広げて考えていただきたいと思います。
- 南海貝塚駅山側の整理、空き地対策。駅移動も含め根本的な計画を！
- 駅前の送迎スペースが小さく、夜になると塾の送迎の車でいっぱいになり、駅への送迎が困難になる。
- 駅前がさびれすぎている。他の各停の停車駅の方がよっぽど栄えている。
- 駅前は特に何もなく、不便に感じています。
- 和泉橋本駅前の道路整備をして欲しい。道幅が狭くて歩きにくい。駅の近くにコンビニなどもなく、まるで活気のないさびれた場所なので、和泉橋本駅周辺の再開発をして欲しい。
- 阪和線東貝塚駅前の整備
- 他市に比べ JR 東貝塚駅前の貧弱さは悲しくなります。
- JR の2駅の開発が遅れている。地主の協力がなければ駅を動かしたら。
- JR 東貝塚周辺の魅力が全くないです。貝塚市民が利用する駅なので、環境を変えるべきだと思います。
- JR 2駅整備（再開発）。
- JR 東貝塚駅の再開発、楽しみにしております。
- JR 駅前の活性化

商業関係

- 駅前に居酒屋を増やして欲しい。
- 商業施設が少し少ないかなと思います。
- 北校区は店も次々と潰れていきますし商売も出来ないと思います。泉佐野市のシェアキッチンなど視察してはどうでしょうか。
- ショッピングセンターやカフェが少ないので充実して欲しいです（スターバックスなど）。
- 近木町の古い街並みを生かした商業施設づくりを期待致します。
- 娯楽施設が少ない。
- 商品券等が配布されても、使える店が少ない。店を増やして欲しい。
- 中央校区での食品以外なかなかお買い物に行きにくい。近隣でお金を落とすことが多いので、商業施設が出来れば嬉しい。
- 貝塚駅周辺（駅下り）、昔は賑やかな商店街であったが、今は寂れてしまっている。人が集まるような店（飲食店でも良い）が来て魅力のある駅になって欲しい。昔はケンタッキーがあったが今はない。ミスドもない。ケーキ屋さんもない。
- 若者向きなおしゃれなカフェ等があると、貝塚市の1つのアピールになると思う。全体的に飲食店が少ない。朝モーニング、夜カフェなどあれば、SNSでも注目になると魅力の1つになる。
- 貝塚の商店街ももっと活気づけて欲しいと、商店街を通るたびに思います。
- 東山にスーパーマーケットを誘致して欲しい。
- 駅付近に商業施設が少ない。
- 岸和田、佐野みたいにQRコード決済の充実。
- 子育て応援券や市の商品券などがもっと色々なところで使えるようになってほしいです。
- 商店街など活気がなくて淋しく思います。
- 大型商業施設が貝塚市にもあればいいなと思います。
- 山手側にも公園やスーパーを検討していただきたいです。
- イオンモールやららぼーのような、そこに行くだけでショッピング、食事などいろいろ楽しめるスポットがあればもっと楽しいのに…。
- 駅前商店街、寂れまくっていますけれど、空き店舗等をうまく利用して若い方々が新しいお店を始められる取り組みも大事！水茄子も泉州の名産であって、貝塚名産とはあまり言われない。これぞ貝塚というものを育て、もっとアピールするべき！
- 葛城小地域にドラッグストア等の買い物できる店があれば助かります。
- 和泉橋本駅近くにコンビニなど、少し立ち寄れるところが欲しいです。
- 貝塚駅前の商店等充実させてほしい。
- せっかくできた新しいお店が、続かない町だと認識しています。
- 商店支援策において、ポイント50%還元とプレミアム券全市民配布では、効果に雲泥の差があると感じる。

空き地・空き家関係

- 増えている空き家の有効活用
- 貝塚駅周辺の廃屋を早く整理して、東出口をもっと開けた場所にして欲しい。
- 空き家等きれいに更地に
- 南海貝塚駅前、主に東側の空き地、空き家の整備。活気がない原因の一つになっている。
- 市内の空き地、空き家の所有者の管理の義務付け、その指導を行政に希望します。
- 空き家の処理。
- 貝塚駅周辺に空き地・店舗が目立ちます。その辺りを再開発まで視野を広げて考えていただきたいと思います。

貝塚市の魅力

- 市内を走る鉄道がある希な自治体であることを、最近はある意味「誇り」に思うことがある。
- 貝塚は海に面しているが、漁港のイメージが一切ない。馬場ナスを始めとする地元の野菜から地魚まで自然豊かな食生活と、スポーツ（バレーからマラソン、サイクルスポーツ）、そして食やスポーツ産業、事業企業誘致、ゆとりのある時間を楽しく過ごせる、サンセットビーチも楽しめるように整備した方が良い。
- 貝塚市には古くからの歴史遺産が埋もれています。それらを発掘して、貝塚市とはこんなに歴史のある町だと広報してほしい。

施設整備

- 善兵衛ランドは、無料で素晴らしい体験ができ感謝しています。子どもを産んで、育てやすさも実感しています（公園、サポート etc）。
- 貝塚人工島での釣り場の整備をして欲しい。
- 貝塚人工島を海釣公園化にして活性を図る。小便の悪臭等でイメージダウン。トイレの設置。トットパーク小島、小島漁港を見習うべし。
- 地域の道路、下水、駅前整備も早期でお願いしたい。落差が大きくなりますよ！学力向上にも取り組んで欲しい。

政策

- 岸和田、泉佐野に挟まれ、何もない市だと思われている。他のスポーツも考えてみては？（ロードバイクレース、MTBのコース、山手や浜の工業地帯を活かす。）
- 山手にも人が行き交う仕組みを作ってほしい。なぜか海方面が中心になっている。
- プレミアム商品券はととてもありがたいが、店が少なく使い勝手が悪い。
- プレミアム商品券の配布はすごくうれしかったです！電子マネーキャンペーンを貝塚で実施してほしい。

- 大きな企業を集めて働く人を多くし、住宅開発に力を入れ、交通面の充実を図り、人口増対策を早急に検討するべきだと思います。
- 大企業や学校等の誘致を考える等して人口流出を防いでほしいと思います。
- ハイレベルな私学は多少不便な場所でも通学バスを利用するなどして、学生を確保しています。貝塚駅前に特色のある私学を設置し、子育て環境を充実させてほしい。
- 市政について気になることがあったら早く気軽に意見・要望が届くようにスーパー、ドラッグストア、コンビニ、学校内などに病院にある設置箱（小さいポスト）のようなものを置いておき、スマホを持たない人でも声が届くような意見箱があると良いです。
- 市内でのイベントを種々な方法で発信して欲しい。

観光

- JRの駅でも貝塚市をPR出来るものを用意できたらいいかな。パンフレット、専用の掲示板など。山でも海でも遊べてきれいな夕日が見られて申し分ない町ですけどね。
- 水間寺
- 南海本線貝塚駅のまちなかの駅かいつかは便利。おまんじゅうなどお菓子も一つずついろんな種類が買える。もっと特産品を揃えてほしい。広報でももっと宣伝してみればと思う。
- 二色の浜はとても素晴らしい所ですが、歩いていけない。
- 二色の浜（海水浴場）をもっと整備して、海水をきれいにしては如何でしょうか？貝塚の海水浴ですよ…と有名にして欲しいです。
- 馬場ナスを始めとする地元の野菜から地魚まで自然豊かな食生活と、スポーツ（バレーからマラソン、サイクルスポーツ）、そして食やスポーツ産業、事業企業誘致、ゆとりのある時間を楽しく過ごせる、サンセットビーチも楽しめるように整備した方が良い。
- 二色の浜公園（海岸）の利用を考える。
- 二色の浜公園も広くていろいろできそうなのに、活用不足です！水上スポーツのイベントや教室、花火大会、二色の浜公園マラソンとか…。オートキャンプ場等の宿泊施設などが併設されていれば遠方からももっと人が集まるのでは？
- 歴史ある街だからもっと歴史をアピールすべき、例えば寺内町に、見た目は昔ながらの建物だけ、中は何か商業施設にするとか。水間寺などはもっと交通手段を増やすべき。
- 二色の浜の海水浴場も汚く、駐車場までの道もわかりづらく狭い、渋滞になる、公園の遊具が少ない、海水浴場や公園のすぐそばに歩いていけるコンビニや飲食店がなく、遠方からは利用しにくいと感じました。

◇◆◇ 交通 ◇◆◇

バス運行

- コミュニティバスをもっと便利にして欲しい。
- 貝塚市内のバスの本数が少なくなったので、車を使えない世代は動きにくいと思う。
- 年を取っても、どこへでも行けるようなバスとか乗り物等があったら、外へ出て行ける

と思います。

- バスの本数が少なく利用しにくい。
- 山手から貝塚駅や貝塚市民病院へ直接（乗り換えなし）行けるバス。
- 公民館で開催する事業に、バスで連れて行って欲しかったら良いのにと考えています。
- ハーモニーバスの増便は検討して欲しい。
- JR と南海貝塚駅を結ぶバスの便が少なく不便。
- 現在のコミュニティバスでは、東貝塚駅、貝塚病院、貝塚市役所、一番行きたいところへ行けない。特に病院は乗り継ぎしても時間に間に合わない。
- 公園墓地：おまいりバス…なぜ水間観音駅⇔墓地なのか。例）南海貝塚駅、阪和線和泉橋本駅等（コミュニティバス乗り場）
- は一もに一バスではなく、南海バスのように夜も走っているとありがたいです。
- バスを小型化し、ルートや本数を増やして利用しやすくしてほしい。
- 東山から JR 東岸和田駅まで南海バスを走らせてもらいたい。
- コミュニティバスしか走っていないので、路線バスの誘致をしてほしいです。貝塚病院行のバスがあれば良いのと思います。
- 南海駅前開発・バス、レンタル自転車、駐車場などの交通網の拡充・地域活動に繋がる。

水間鉄道

- 水間鉄道をもう少し木積の方面に延ばして欲しい。
- 私は通学で水間線を利用しています。運行便が減り仕方ないのですが、その分夏は暑く、冬は寒い中、次の電車を待たないといけません。待合室は小さく座る場所も3～4名しかないことが残念です。
- 水間鉄道の運賃が高すぎる。運行本数が少ないのに高いのは納得がいかない。

道路整備

- 歩道のデコボコ、細い道の改修。
- 鳥羽～石才にかけての松源のある道が、歩行者と車の距離がとても近く、危険に思うので整備して欲しい。
- 道路幅が狭く、歩行者が安全に歩ける道が少ない。
- 貝塚駅東出口から信号までの側道左側の樹木が、道路まではみ出して、歩いている時とても危ないです。側溝が見えるように切って欲しい。
- 泉州山手線の早期開通。
- 溝が多く、子どもたちが危ない目に遭っています。歩道がない所だけでも溝が塞げたらと思っています。
- 道が狭く、通学にも年寄りにも危険があると思われる所があります。
- 東貝塚駅周辺の道路整備（歩道がない）。
- 中央線（清見の湯、ローソン）交差点の信号を以前の状態に戻してほしい！渋滞が酷い。
- 旧市内の道路が狭い。

- 点字ブロックで歩道がガタガタ。乳母車や老人の手押し車のことももっと考えて整備してほしい。盲人のためには大切だが、手押し車のハンドルを取られたりして苦勞されているのを見かけると残念です。
- 旧市街の道が狭く車が通りにくい。高齢化で住んでいない家も多く、再開発したらどうか。
- スクールゾーンですら街灯が少なすぎる。特に冬が暗いです。
- 感田神社前の踏切をぜひ高架にしてください。お願いします。
- 交通量が多いのに道幅が狭いところが多いので改善してほしい。
- 街灯も暗くほんとに危険だと思います。
- 道路設備、街灯設備を充実させて欲しいです。
- 用水路が多く、通学の時危険。

公共交通全般

- 交通機関（バス、電車）の割引パスポートのようなものが欲しい。
- 交通（乗り物）が便利な町に。
- レンタル自転車、駐車場などの交通網の拡充。
- 山手地区の公共交通機関の充実（JR へのアクセス）。

◇◆◇ 行政サービス ◇◆◇

人権

- 困っていることに対して“努力”をしている人に支援の手を差しのべられる行政であってほしいと思います。人権問題に関心が薄いのは、今はむしろ“そこどけ、そこどけ、人権被害者が通る”のような風潮ができつつあるのが気になります。これは違うと思います。
- 人権を守る。
- 同性愛者の結婚が難しいとしても、少しでも保障や同性愛者と平等のまちにします。

防災

- 防災無線が聞き取りにくい。
- 避難場所が遠い。高齢者はよく福祉センターを利用していた。畳や毛布があり、身体に優しい場所だった。
- 南海トラフ地震になった時の避難場所は、学校、公共の場所だけで大丈夫なのでしょう？子ども達の誘拐、老人の認知症による行方知れず、防犯も気になります。
- 災害時、ラジオは必要不可欠な手段となるので、ラジオによる情報発信が必要。
- 市民に対して防災士の資格の補助を是非してもらいたい。

職員

- 職員の接遇改善
- 職員が多い、デジタル化を進めて職員数を減らす。
- 市職員も市民の要望に寄り添う姿勢も感じとれない。

医療

- 貝塚市民病院の午後の診察を増やして欲しい。
- 市立貝塚病院の、病床稼働率やコロナ患者の受け入れ体制など、新しい機器導入ばかりでなく、市民が安心して利用できる病院にして欲しいと思います。
- 市立貝塚病院をもっと利用したいのですが、先生方の充実をお願いしたいです。
- 今年の9月にコロナウイルスに感染しました。その時に貝塚市のほとんどの病院に電話をしましたが、すべて断られました（診察）。すべてたらい回しにされた。本当に医療体制だけしっかりして欲しいと切に願います。
- 貝塚は医療をどうかしてください。救急で運ばれても市外に運ばれ、私は堺まで行きました。
- 健康診断受診医療機関を充実してほしい。
- 市民病院について、お金と人員については、手厚く措置してほしい。

環境衛生

- 田畑がそのまま何もされず、草むら化となって虫、蚊など発生している所がある。
- 保護猫活動への行政支援や広報活動
- 河川をもう少しきれいにしていただけたら嬉しいです。
- 町の落書きを消してほしい。
- 園芸用古土の回収をしてほしい。
- せんごくの杜自体にも開発がされて、自然が更に縮小されないようにお願いします。
- 下水道を普及して欲しい

新庁舎やその他行政施設

- 市役所入口辺りに椅子が欲しい。
- 市役所建設について、良いとは思わない。広すぎて不便。前より行きにくくなった。
- 火葬場の建替え
- 室内プールのさらなる整備

農業

- 農地区分の見直し・改善による有効利用で農地従事者をサポートし、土地有効利用で企業・新産業を誘致する。
- JA 農産物販売所を！（泉佐野こーたりーな、岸和田道の駅を利用する市民多数）

議会

- 市議会議員がもっと頑張れ。
- 議員定数の削減（人口の割に多いのでは?）。
- 市議会議員の活動実績が伝わらない。なので、市職員も市民の要望に寄り添う姿勢も感じとれない。

高齢者

- 高齢者の入所施設を増やす。
- 高齢者（100歳以上）にも色々な面で免除して欲しい（医療費、デイサービスの利用他）。
- 高齢者が市内で休憩できるベンチの設置
- 元気な高齢者をもっとボランティア活動に参加する仕掛けづくり。
- 高齢者が利用する公園が貝塚市にはないこと！
- 年金暮らし高齢者にも支援をして欲しい。低所得高齢者もいます。コロナ禍で大変苦しい生活を送っています。
- 高齢者が車に乗るのは危険です。バスやタクシーの券などを発行してほしい。
- スーパーや病院の無料のバスの送り迎えをして欲しい。
- 老健や特養などの施設内の質の底上げ。
- 高齢者向け住宅の充実

子育て

- 遊具が古くなっている公園が多いので、新しい遊具に変えるなど検討して欲しいです。
- 公園はたくさんあるけど、もう少しきれいに整備して欲しいです（トイレや草刈りなど）。
- ボール遊びが出来る広場などを東校区に設けてほしい。
- 公園が少なく、園児くらいの子が遊べるような公園がもう少し歩いて行ける範囲で欲しいなと思っています。小さい公園（住宅街の一角）などがありますが、ボール禁止だったりするので、大きい公園まで一人で自転車に乗れない子を何人か連れて行くのは大変。
- 子どもが放課後に安心して遊べる場が少なすぎる。
- 遊具も3歳くらいの子どもが遊べるような公園が欲しい。保育施設や子育てサービスはとて充実していて有り難いです。
- 山手にも公園の整備をして欲しい。
- 公園の整備に力を入れて欲しい。公園が少なすぎて他市まで行かないといけない。
- 子どもたちの遊べる公園が非常に少ないと感じます。岸和田や熊取のようにスケボーパークやとんぼ池公園、中央公園、えいらく夢の森公園のような、大きな公園もないので、ほしいです。
- 気軽に一時預かりを使いたい。
- 一人親家庭優先に、子どもを預けられる場所が欲しい。小学校だと夏休みは特に。学童も待機があるので困ります。金額もほどほどで。

- 子どもを産み育てる環境づくり
- 子どもがいる世帯にもう少し助成があると助かります。ひとり親の方も大変だと思いますが、両親が揃っていても金銭的に大変です。なので子どもにかかるお金がかなり必要なので、助成があればまたもう1人産みたいなと思えるようになっていくと思います。
- 安心して、子ども達が元気に遊びまわる声のひびく町になるよう、金銭面だけでなく、市民の意識が温かいものになっていくよう、その視点で色々な活動を行っていただきたいと思います。
- 子ども医療の充実。
- ひとり親の支援充実、塾や学費などやっぱり厳しいため、レジャーや衣料費などは我慢させてきた。学校で使うものはなるべく安く、無料など、柔道着や水着などほんの数回しか使わないため、リサイクルや譲ってあげるなどの機会を作ってほしい。
- 子ども達が「自分たちは大切な存在だ」と自覚し、成長することこそが貝塚市の明るい未来につながり、特色ある町づくりになると信じている。
- コロナ禍の妊婦への給付金の規定日以降に妊娠・出産した人へも10万円の給付金がありましたが、なぜ貝塚は無かったのでしょうか？（同じ時期に産まれたのに、知り合いはもらえていなかったのが残念でした。）
- 母子・父子家庭への支援の充実
- 子供3人目からは保育料やなかよしのお金を無料にして欲しい。
- 子育てでお金がよくかかります。高齢者も大切ですが、子どものいる世帯にももっと充実した支援や援助をお願いしたいです。

雇用施策

- いつまでも働ける市であって欲しい。
- 大きな企業を集めて働く人を多くして欲しい。
- 市内給料アップ、経済支援を多くして欲しい。
- 60歳以上の市職員の外部採用を積極的に行って欲しい。

コロナ支援策

- 高校生以上の学生にも何か支援して欲しい。
- コロナ禍における大学生、短大生、実際に働いている世代に支援が必要ではないのかと毎回毎回感じる。
- 他市より市民に対して援助が少ない。他市は給付金などが時々ある。商品が高くなる。コロナ時代で生活を助けてくれている。貝塚は少ないと思う。
- コロナでの支援を母子家庭やシングル、非課税者に与えているが、納税者も正直困っている。貝塚市民全員を対象としたことをしてもらいたい。

教育

- 思いやりを持てる「教育」に力を入れて欲しい。
- 小学校の整備（廊下の清掃など）、机や椅子などを新しくしてもらいたいです。
- 貝塚図書館にビジネス書を増やして欲しい。
- 教育に力を入れてください。表面の教育ではなく…。
- 学校の校舎が古すぎる。
- 体育館や図書館、市民が使いやすいようにきれいにして欲しい。
- 図書館の催しをもっと楽しく工夫してほしいです。
- プールを壊すことの決定が、知らない間にされていたことが残念でした。学校プールの回数が減り、スイミングスクールに通っているのが前提のようなカリキュラムにも疑問を感じる。年に3～5回の学校プールで習得できるとは思えない。市民プールがあればプールの使用も分散でき、回数をもっと増やせたのでは？昔のように川や池で泳ぐことがない子どもには酷だと思えます。
- 小中学生に配布されている iPad も、親がスマホ使用を制限しても iPad を自由に使えるために、時間に関係なく使用している。すべての iPad に事前に時間制限をすることは必要と考える。
- 深夜まで出歩いている少年少女、中高生の喫煙を多く見かけます。市全体で子供達を守る取り組みをお願いいたします。
- 貝塚市は小中学校で人権学習に力を入れすぎている。強制的に学ばせているイメージが何年経っても変わらない。将来社会に出た時、役に立ったことがない。もっと世界に通用する学習に力を入れるべき。
- 不登校の子ども居場所づくり。
- 中学へ通う子ども達が安全に通学できるよう、距離が遠い家もあるので自転車通学を許可してほしい。
- 小学校の春夏冬休みの長期休暇の預かり時間を、もう少し早い時間からしてもらえると助かります。今の時間だと子どもを1時間ほど1人で家に居させなくてはならない時間があるのと、家を出たかがわからないので心配になります。
- 小中学校の統合や第五プールの閉鎖など、意思決定のプロセスにも不信感がある。

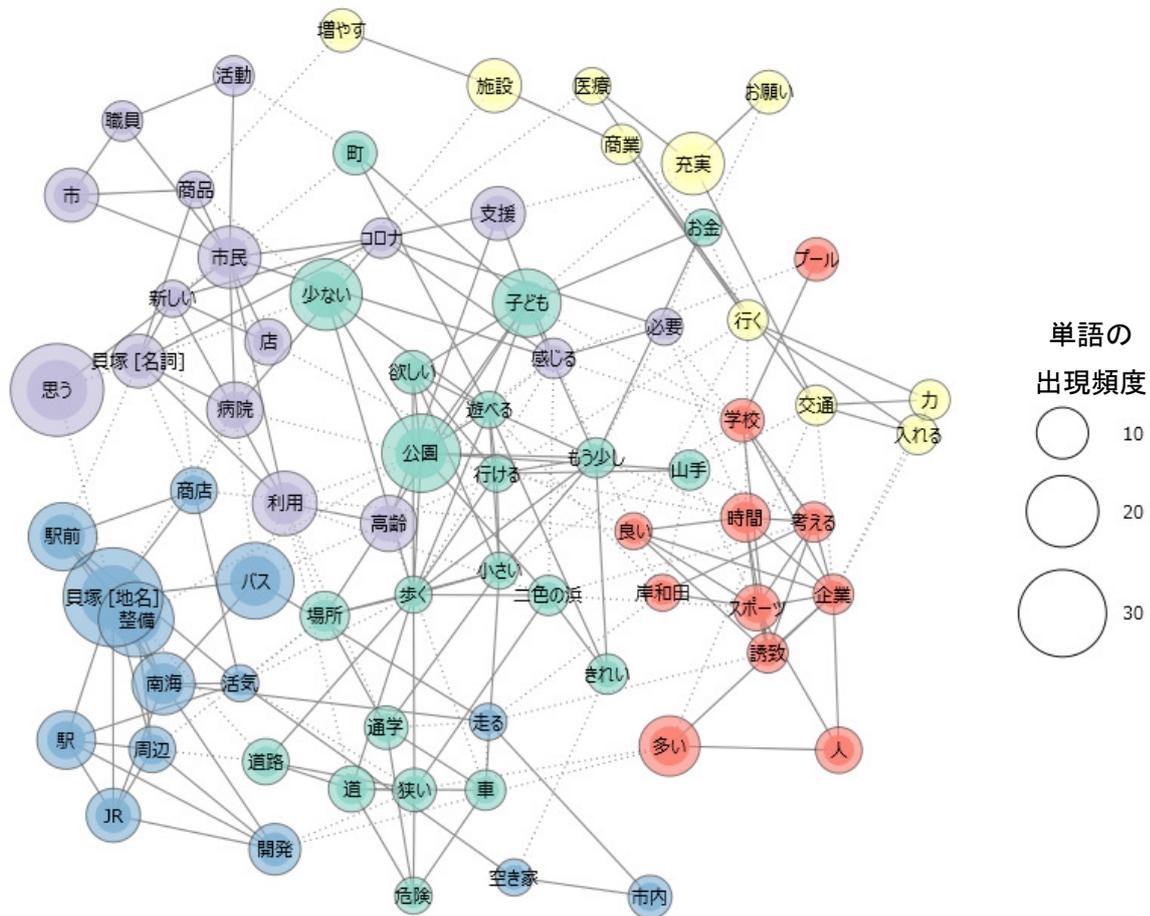
他機関等

- 通学路を走る車の速度超過の取り締まりを強化してもらいたい。
- 若い人の結婚、仲人をして欲しい。

◇◆◇アンケートについて◇◆◇

- それぞれ設問に答えて、今後どのように反映するのか分かるようにしてほしい。
- 回答するに当たり事前の情報が無いので明確な答えができないと思う。
- 返信用の封筒が小さすぎる。
- 問題回答の量が多すぎます。もっと減らすべきです。
- 分かりやすく、先に行政がやっていることを詳しく説明し、そこから回答を求めるべきだと思います。

■自由回答(テキストマイニング)



Ⅲ 調査結果の信頼度と標本誤差

1. 調査結果の信頼度について

本調査は標本調査であり、調査結果には統計上の誤差が生じることがあります。国の調査においては、信頼度 95%となることを基本としているため、本調査における信頼係数を確認し、国の実施する調査水準に達しているかを確認します。

※信頼度 95%の意味

同一母集団から標本調査を実施した際に、その平均から 95%信頼区間を求める、という作業を 100 回やったときに、95 回はその区間の中に母平均が含まれることを意味します。

◆信頼係数 95%の時の必要サンプル数を求める式◆

$$\text{必要サンプル数} \geq 1.96 \times \frac{\sqrt{\text{回答比率}(1 - \text{回答比率})}}{\text{許容誤差}} \approx 394.2$$

※許容誤差：5%、回答比率：0.5

本調査は、国が実施する調査と同水準である 95%の信頼度を満たすために必要なサンプル数約 395 件を超える 906 件の有効回答数が得られているため、信頼できる調査であることが確認できました。

2. 標本誤差

統計上の誤差を確認し回答結果の優位性（無作為抽出による正確性）を確認します。

◆標本誤差を求める式◆

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{貝塚市の人口} - \text{有効回答数}}{\text{貝塚市の人口} - 1} \times \frac{\text{回答比率}(1 - \text{回答比率})}{\text{有効回答数}}} \approx 3.24\%$$

※貝塚市の人口（令和 4 年 11 月末）：83,261 人、有効回答数：906 件、回答比率：0.5

本調査における標本誤差は 3.24%であり、国が実施する同水準の標本誤差率の 5%以内となっているため、本調査による誤差は許容範囲であることが確認できました。

令和 4 年度

貝塚市市民意識調査 ご協力をお願い



貝塚市では、これからの市政運営に役立てるために、「貝塚市市民意識調査」を実施します。この調査は、貝塚市をより住みやすく魅力的なまちにするため、貝塚市の政策やまちづくりについて、市民のみなさまからご意見をうかがうものです。

なお、集計結果は市のホームページや広報かいつかなどで公表する予定です。

【対象者】 市内在住で 15 歳以上の方 2,000 人（無作為抽出）

回答にあたってのお願い

- この調査は無記名で実施します。回答内容やご意見については、調査目的以外に使用することは一切ありません。是非、率直なご意見をお聞かせください。
- 回答は、宛名のご本人について **令和 4 年 12 月 1 日** 現在でご記入ください。
- 回答は、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。また、質問によっては文字を記入していただくものもあります。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和 5 年 1 月 10 日（火）** までにポストに投函してください。（切手は不要です）
- 視覚に障害がある方や大きな文字の調査票などサポートが必要な方は、貝塚市役所都市政策部広報交流課へご連絡ください。
- 調査票の上部に記載の ID は WEB で回答する際にご入力ください。当調査票での回答と WEB 回答との重複を避けるための管理番号であり、個人を特定するものではありません。

この調査票は WEB 上でも
回答可能です。

右にある二次元コードから専用のページにアクセスしてください。WEB で回答した場合は、この調査票の返信は不要です。



●調査のお問合せ先

貝塚市役所 都市政策部 広報交流課

電話：072-433-7231

メール：koryu@city.kaizuka.lg.jp

WEB 回答用 URL : <https://rsch.jp/eqt4/?kaizuka-shiminishiki>

Q6で「1 住み続けたいと思う」とお答えの方にお聞きします。

Q6-1. 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 海や山などの自然環境に恵まれている
2. 歴史的なまちなみや祭りなどの伝統がある
3. 今住んでいる住宅に満足している
4. ごみ処理や下水道などの衛生環境が良い
5. 通勤・通学に便利
6. 買物など生活に便利
7. 医療機関が充実している
8. 福祉サービスが充実している
9. 子育て支援サービスが充実している
10. 身近に公園や緑地が充実している
11. 公民館・集会所などのコミュニティ施設が充実している
12. 隣近所の人間関係が良い
13. 住み慣れており地域に愛着がある
14. その他 ()

Q6で「2 住み続けたいとは思わない」とお答えの方にお聞きします。

Q6-2. 住み続けたいとは思わない主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 文化・商業施設などの都市環境が充実していない
2. まちににぎわいや活気がない
3. 今住んでいる住宅に不満がある
4. ごみ処理や下水道などの衛生環境が良くない
5. 通勤・通学が不便
6. 買物など生活に不便
7. 医療機関が充実していない
8. 福祉サービスが充実していない
9. 子育て支援サービスが充実していない
10. 身近に公園や緑地が整っていない
11. 公民館・集会所などのコミュニティ施設が整っていない
12. 隣近所の人間関係がわずらわしい
13. 住み慣れておらず地域に愛着がない
14. その他 ()

Q7. あなたは、貝塚市に住み続けるために必要なことは何だと思いますか。(〇は2つまで)

1. 住宅環境が整っており住みやすいこと
2. 通勤可能な範囲に働く場所があること
3. 遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること
4. 福祉施設や医療施設が充実していること
5. 子育て支援施設が充実していること
6. 通勤や通学などの交通環境が充実していること
7. 犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること
8. 近隣住民の交流が盛んで、地域活動が充実していること
9. その他 ()



貝塚市の取組みについて

Q8. あなたは、貝塚市が行っている政策についてどの程度満足されていますか。
また、どの程度重要だと思われますか。

(①～⑳について、満足度と重要度にそれぞれ1つずつ○)

		満足度 (現状をどう感じるか)					重要度 (これから重要なこと)			
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度・高	重要度・中	重要度・低
①子育て支援の充実										
取組	子育てに係る経済支援 子育て相談体制	5	4	3	2	1	0	3	2	1
②待機児童解消										
取組	子育てと仕事の両立支援 健やかに成長できる環境整備 地域ぐるみの子育て支援	5	4	3	2	1	0	3	2	1
③確かな学力の習得と豊かな心の育成										
取組	質の高い教育環境 豊かな心・思いやりの心の育成	5	4	3	2	1	0	3	2	1
④青少年健全育成										
取組	青少年育成の指導者やボランティアの育成 子どもの居場所づくり	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑤生涯学習・ふるさとについての教育										
取組	生涯学習の推進、生きがいづくり 貝塚学の推進	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑥芸術・文化振興										
取組	芸術・文化活動への支援、イベントの開催 文化施設の活用促進	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑦スポーツ振興										
取組	スポーツを通じた健康づくり 生涯スポーツの推進	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑧生涯を通じた切れ目のない健康づくり										
取組	健康意識の向上、保健指導、国保特定検診 介護予防、後期高齢者保健事業 各種検診、予防接種	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑨地域医療体制の充実										
取組	医療機関との連携	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑩高齢者の生活支援										
取組	介護保険事業の推進 在宅介護支援、高齢者の社会参加	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑪障害のある方へのサポート										
取組	障害者(児)への障害福祉サービスの提供 障害者(児)の社会参加	5	4	3	2	1	0	3	2	1

		満足度					重要度			
		(現状をどう感じるか)					(これから重要なこと)			
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度・高	重要度・中	重要度・低
⑫地域のつながりの強化										
取組	相互に支え合う地域コミュニティの形成 ボランティア活動の推進	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑬各種相談支援・相談窓口の充実										
取組	法律相談、DV相談、女性相談等 相談員のスキルアップ	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑭生活困窮者へのサポート										
取組	生活困窮者への相談支援 早期発見・支援、給付金の支給 学習支援事業	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑮災害対応体制の強化										
取組	自主防災力の向上 公共施設等の耐震化	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑯緊急時の消防・救急体制										
取組	防火保安体制の強化 救急車の適切な利用 消防職員・消防団員の訓練 消防機械器具の整備、消防広域連携の推進	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑰防犯対策										
取組	犯罪にあわないための啓発活動 子どもの安全見まもり隊 防犯カメラやLED防犯灯の設置	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑱地域特性に即した都市づくり										
取組	公園等の公共空間の適切な管理・整備	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑲快適な住環境の整備										
取組	住宅取得や耐震化に伴う支援、開発行為 市営住宅等の長寿命化、空家対策	5	4	3	2	1	0	3	2	1
⑳安全で便利な道路交通環境										
取組	生活関連道路の改修・整備 交通安全意識の向上	5	4	3	2	1	0	3	2	1
㉑安全安心な水道水の供給										
取組	安全安心な水道水の確保 上水道管路や施設の耐震化・長寿命化	5	4	3	2	1	0	3	2	1
㉒下水道の整備										
取組	下水道整備の推進、合併処理浄化槽の普及 促進、下水道施設の適切な維持管理	5	4	3	2	1	0	3	2	1
㉓ごみの減量化とリサイクルの推進										
取組	ごみの適切な分別、不法投棄防止 リサイクルの推進	5	4	3	2	1	0	3	2	1
㉔自然環境・景観、生物多様性の保全										
取組	自然や生物多様性の保全 身近な自然環境・景観の保全	5	4	3	2	1	0	3	2	1



		満足度						重要度		
		(現状をどう感じるか)						(これから重要なこと)		
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度・高	重要度・中	重要度・低
②⑤省エネ・脱炭素の推進										
取組	省エネルギー意識の浸透 二酸化炭素の排出の抑制	5	4	3	2	1	0	3	2	1
②⑥商工業の活性化と商業施設の利便性向上										
取組	商業施設の誘導や商店街の活用	5	4	3	2	1	0	3	2	1
②⑦商工・農林業における後継者育成支援										
取組	従事者や後継者が不足している産業への就労支援	5	4	3	2	1	0	3	2	1
②⑧雇用機会の確保と就労支援										
取組	産業の活性化・企業誘致による雇用機会の確保	5	4	3	2	1	0	3	2	1
②⑨観光の振興										
取組	特産物のPR・新商品の開発 歴史・文化を活かした観光振興 観光施設間の連携	5	4	3	2	1	0	3	2	1
③⑩歴史や文化の継承と活用										
取組	寺内町などの歴史的景観に配慮したまちづくり、歴史や文化の継承と活用	5	4	3	2	1	0	3	2	1
③⑪人権尊重意識の高揚										
取組	すべての人の人権が尊重され、差別のない社会を実現するための啓発活動の推進	5	4	3	2	1	0	3	2	1
③⑫女性の活躍推進										
取組	家庭や地域、職場で女性が能力を活かし、活躍できる環境の整備	5	4	3	2	1	0	3	2	1
③⑬外国人にとっても住みやすい環境の整備										
取組	多言語表記や簡易な日本語の使用 交流による異文化の体験・理解の場づくり	5	4	3	2	1	0	3	2	1
③⑭協働のまちづくりの推進										
取組	町会・自治会への加入促進 企業・大学・市民団体等との連携	5	4	3	2	1	0	3	2	1
③⑮貝塚市の魅力発信										
取組	市の情報発信 歴史・文化を活かしたシティプロモーション	5	4	3	2	1	0	3	2	1

Q12. あなたは、教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(○は2つまで)

1. 基礎的な知識や応用力を高める学力の向上
2. 社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進
3. 家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力の向上
4. 不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実
5. 学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の推進
6. 校区のイベントなどを通じた地域の人たちとの交流
7. 多様なニーズに対応した生涯学習の機会の充実
8. 文化・芸術活動や国際交流活動の推進
9. 個性や能力にあった教育環境の充実
10. ICT環境を活用した学習の機会の充実
11. その他 ()

貝塚ならではのまちづくりについて

Q13. あなたは、環境をよくするためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(○は2つまで)

1. 身近な省エネルギーの推進や自然エネルギー利用の普及啓発
2. 地球環境問題の啓発や環境学習の機会の充実
3. 身近な緑などの自然環境の保全
4. 公園や緑地などの整備・保全
5. まちなみなどの景観の保全
6. リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）など資源循環利用の促進
7. その他 ()

Q14. あなたは、生活を充実させる都市基盤の取組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(○は2つまで)

1. 道路や橋など交通網の整備
2. 公共交通サービスの充実
3. 下水道や排水路の整備
4. 公園や緑地、運動場などの整備
5. その他 ()



Q15. あなたは、令和4年中に市の施設等にどの程度行かれましたか。

(①～⑧について、それぞれ1つずつ○)

	10 回 以上	5 ～ 9 回	1 ～ 4 回	0 回	施 設 を 知 ら な い
①貝塚市民文化会館（コスモシアター）	5	4	3	2	1
②貝塚市民図書館	5	4	3	2	1
③貝塚市立善兵衛ランド	5	4	3	2	1
④貝塚市立自然遊学館	5	4	3	2	1
⑤貝塚市立公民館（中央・浜手・山手）	5	4	3	2	1
⑥貝塚市歴史展示館（ふるさと知っとこ！館）	5	4	3	2	1
⑦貝塚市立ドローン・クリケットフィールド	5	4	3	2	1
⑧市民の森、シェルシアター	5	4	3	2	1

Q16. 貝塚市民文化会館（コスモシアター）をより利用していただくためには、どのようなものを求められますか。（○は2つまで）

1. イベント情報の発信や宣伝の強化
2. インターネットによるイベントチケットの購入や予約方法の充実
3. ホール・練習室・会議室の空き状況などの詳しい情報の公開
4. 親子で参加できるイベントの開催
5. その他（）

利用したことが無い方はその理由を教えてください。

（）



にぎわいのあるまちづくりについて

Q17. あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(〇は2つまで)

1. 駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化
2. 企業や研究機関などの誘致
3. 新たな産業の育成・支援
4. 地場産業など市内企業の育成・支援
5. 安定した農林業経営のための支援
6. 農商工の連携による新たな地域ブランドの開発
7. 歴史・文化・自然などを活かし、交流人口の増加による観光振興
8. その他 ()

いつまでも元気で、安全安心に暮らせる まちづくりについて

Q18. あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(〇は2つまで)

1. 高齢者や障害者(児)が入所(入居)できる施設の整備
2. 地域における居場所づくりの整備
3. 高齢者や障害者(児)が利用しやすい在宅サービスの充実
4. だれもが生活しやすい、まちのバリアフリー化の推進
5. 地域で見守りや声掛けなどができるコミュニティづくり
6. 経済面での生活支援の充実
7. 元気な高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実
8. その他 ()

Q19. 人権にかかわる問題はいろいろありますが、あなたは次の①～⑱の人権問題にどの程度関心をお持ちですか。(①～⑱について、それぞれ1つずつ○)

	関心がある	少し関心がある	関心がない
①女性に関する人権問題	3	2	1
②子どもに関する人権問題	3	2	1
③高齢者に関する人権問題	3	2	1
④障害者(児)に関する人権問題	3	2	1
⑤同和問題(部落差別)	3	2	1
⑥日本に居住している外国人に関する人権問題	3	2	1
⑦H I V感染者、ハンセン病患者・回復者及びその家族に関する人権問題	3	2	1
⑧こころの病(うつ病、依存症など)をもつ人に関する人権問題	3	2	1
⑨犯罪被害者に関する人権問題	3	2	1
⑩ホームレスの人権問題	3	2	1
⑪性的マイノリティ(性的指向の異なる人・性別違和など)の人権問題	3	2	1
⑫職業や雇用をめぐる人権問題 (差別待遇、職業や職種に対する偏り、過労死など)	3	2	1
⑬セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント	3	2	1
⑭インターネットにおける人権侵害	3	2	1
⑮ヘイトスピーチ (特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動)	3	2	1
⑯新型コロナウイルス感染症感染者や回復者ならびに治療にかかわる医療従事者等やその家族の人権問題	3	2	1
⑰アイヌの人々の人権問題	3	2	1
⑱刑を終えて出所した人の人権問題	3	2	1
⑲環境・気候変動によっておこる人権問題 (自然環境破壊による生活基盤を奪われる方に対する人権侵害)	3	2	1

Q20. 貝塚市が人権問題の解決に向けて取り組むべきことについて、次の①～⑤それぞれに対するあなたの考えをお聞かせください。(それぞれ1つずつ○)

	取り組むべきだ と思う	どちらかといえば 取り組むべきだ と思う	あまり 取り組むべきだ と思わない	取り組むべきだ と思わない	わからない
①広報活動の推進	5	4	3	2	1
②人権侵害被害者の相談体制の整備・充実	5	4	3	2	1
③学校における人権教育の推進	5	4	3	2	1
④市の職員や教職員、社会教育関係職員、保健・医療・福祉・介護関係者等、人権にかかわりの深い職業従事者に対する人権教育・啓発の充実	5	4	3	2	1
⑤事業者と自治体が結ぶ契約に人権基準を定め遵守させること	5	4	3	2	1

Q21. 男女共同参画をすすめるために、貝塚市が特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 男女共同参画のための啓発の充実、慣習・制度の見直し
2. 男女共同参画を推進する教育・学習の充実
3. DVやセクハラ、児童虐待、高齢者、障害者虐待等の根絶・防止
4. 職場における男女の平等な雇用機会・待遇の確保
5. 農業・商工業（自営業）等に従事する女性の経営参画と経済的自立支援
6. 女性の起業等、多様な働き方を可能にする環境づくり
7. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
8. 安心して産み育てられる子育て環境づくり
9. 高齢者・障害者が安心して暮らせる環境づくり
10. 生涯を通じた心身の健康づくり
11. 地域活動における男女平等の環境づくり
12. 市民活動・NPO活動等の育成・支援
13. 行政（貝塚市役所）における男女共同参画の推進
14. その他（)
15. わからない

Q22. あなたは、防災に対する取組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(○は2つまで)

1. 避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実
2. 自主防災組織の結成促進
3. 耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実
4. 防災資機材の備蓄・整備の充実
5. 災害時における情報提供や連絡体制の充実
6. その他 ()

市からの情報について

Q23. 市では広報紙やホームページなどで行政サービスの情報をお伝えしています。あなたは、どのような方法で情報を得ていますか、また、今後得たいと思いますか。それぞれあてはまる情報入手方法すべてに○をつけてください。

情報入手方法	得ている	得たいと思う
①広報かいつか	1	1
②広報配信アプリや専用サイト (マチイロ・マイ広報紙)	2	2
③市ホームページ	3	3
④市公式 Facebook	4	4
⑤市公式 LINE	5	5
⑥市公式 YouTube (市 YouTube 公式チャンネル)	6	6
⑦市公式 Instagram	7	7
⑧市公式防災 Twitter (市防災情報公式 Twitter)	8	8
⑨回覧板	9	9
⑩掲示板	10	10
⑪ポスター・チラシ	11	11
⑫テレビ・ラジオ	12	12
⑬ケーブルテレビ	13	13
上記以外で該当する内容がありましたら、下記 () 内に具体的な内容を記入の上、該当する欄に○をつけてください。		
()	14	14

Q24. 広報かいつかの掲載内容について充実してほしいと思うものをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市の制度や施策などの行政情報
2. 市のイベントや講座、施設案内
3. 市民活動や地域の話
4. 市の歴史や文化
5. 市外のイベント
6. その他 ()
7. 特にない

貝塚市のまちづくりの方向性について

Q25. あなたは、これからの貝塚市をどのようなまちにしたいですか。(○は3つまで)

1. 子どもからお年寄りまで、健康に暮らせて福祉が充実した「健康と福祉のまち」
2. 公園や緑が多く、暮らしやすい「住環境に優れたまち」
3. 海や山などの自然を生かした「自然と共生するまち」
4. 古い町並みや伝統的な祭りなどを大切に「歴史と伝統文化のまち」
5. 文化・芸術とふれあい、学習の機会に恵まれた「文化と生涯学習のまち」
6. 余暇をより健康で豊かに過ごせる「スポーツ・レクリエーションのまち」
7. 関西国際空港に近く、世界に開かれた「国際交流と観光のまち」
8. 地元の産業や商店街が活気にあふれた「産業振興のまち」
9. まちづくりの担い手として市民が参加し交流する「市民参加と交流のまち」
10. 防災・防犯対策が充実した「安全・安心のまち」
11. 子育てと教育環境が充実した「子育てと教育のまち」
12. その他 ()

令和4年度
貝塚市市民意識調査
結果報告書

発行:貝塚市 都市政策部 広報交流課
電話:072-433-7232
FAX:072-433-7233

発行年月:令和5年3月

